生物の資源調査編

生物の資源調査編　目 次

１　調査の概要 …… 生物-1
１－１　調査目的 …… 生物-1
１－２　調査の流れ …… 生物-1
１－３　調査地区 …… 生物-1

２　調査計画 …… 生物-3
２－１　調査地区の状況把握 …… 生物-3
２－２　各調査地区のみどりの区分別の状況 …… 生物-7
２－３　現地調査計画書の作成 …… 生物-14

３　現地調査 …… 生物-15
３－１　調査概要 …… 生物-15
３－２　各調査項目の調査方法 …… 生物-18
３－３　重要種および外来種の選定基準 …… 生物-27

４　調査結果 …… 生物-30
４－１　調査結果の概要 …… 生物-30
４－２　調査地区別のみどりと生物の台帳 …… 生物-31
４－３　各調査項目の調査結果 …… 生物-42

５　今後の課題 …… 生物-74
５－１　みどりと生物の関係 …… 生物-74
５－２　継続調査の検討 …… 生物-79

資料編

第 1 章　調査の概要

1-1　調査目的　・・・・・・・・生物-1
1-2　調査の流れ　・・・・・・・・生物-1
1-3　調査地区　・・・・・・・・生物-1

第1章　　調査の概要

1-1. 調査目的

世田谷は、国分寺崖線のまとまった樹林や、屋敷林、湧水など、23 区の中でも比較的、自然環境に恵まれている。一方で、宅地開発や農地転用などにより自然環境が減少し、そこで生活する生物の減少などが危惧されている。そこで、みどり行政の今後の施策の基礎資料とすることを目的として、区内の公園・緑地等における、生物の生育・生息調査を実施した。

1-2. 調査の流れ

調査の流れは図 1-1 に示すとおりである。

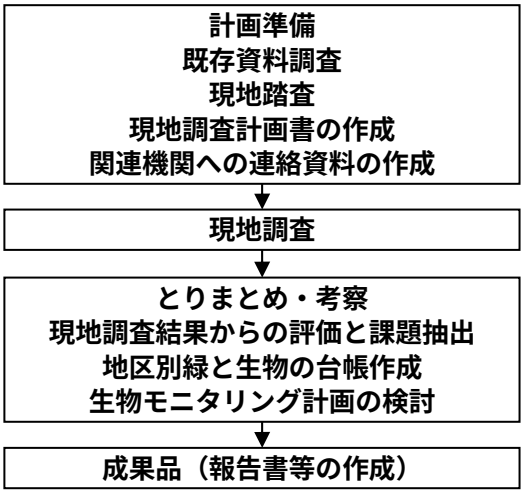


図 1-1　調査の流れ

1-3. 調査地区

調査地区は、表 1-1 および図 1-2 に示す世田谷区内の公園・緑地等、計 5 地区とした。

表 1-1　調査地区

調査地区番　号	地域区分[注)]	行政区域	調査地区名	環境要素
1	①みどりの連続性が高い地域	砧	都立砧公園	樹林、草地、河川（谷戸川）、池（サンクチュアリ）
2		玉川	等々力渓谷公園	樹林、河川、湧水
3	②住宅地の中に中・小規模緑地が点在する地域	烏山	給田四丁目緑地とその周辺	住宅地、街路樹
4		世田谷	烏山川緑道	樹林、草地
5	③市街化が進み比較的みどりが少ない地域	北沢	大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺	庭園、樹林、住宅地、街路樹

注）地域区分は、平成 28 年度策定「生きものつながる世田谷プラン」による。

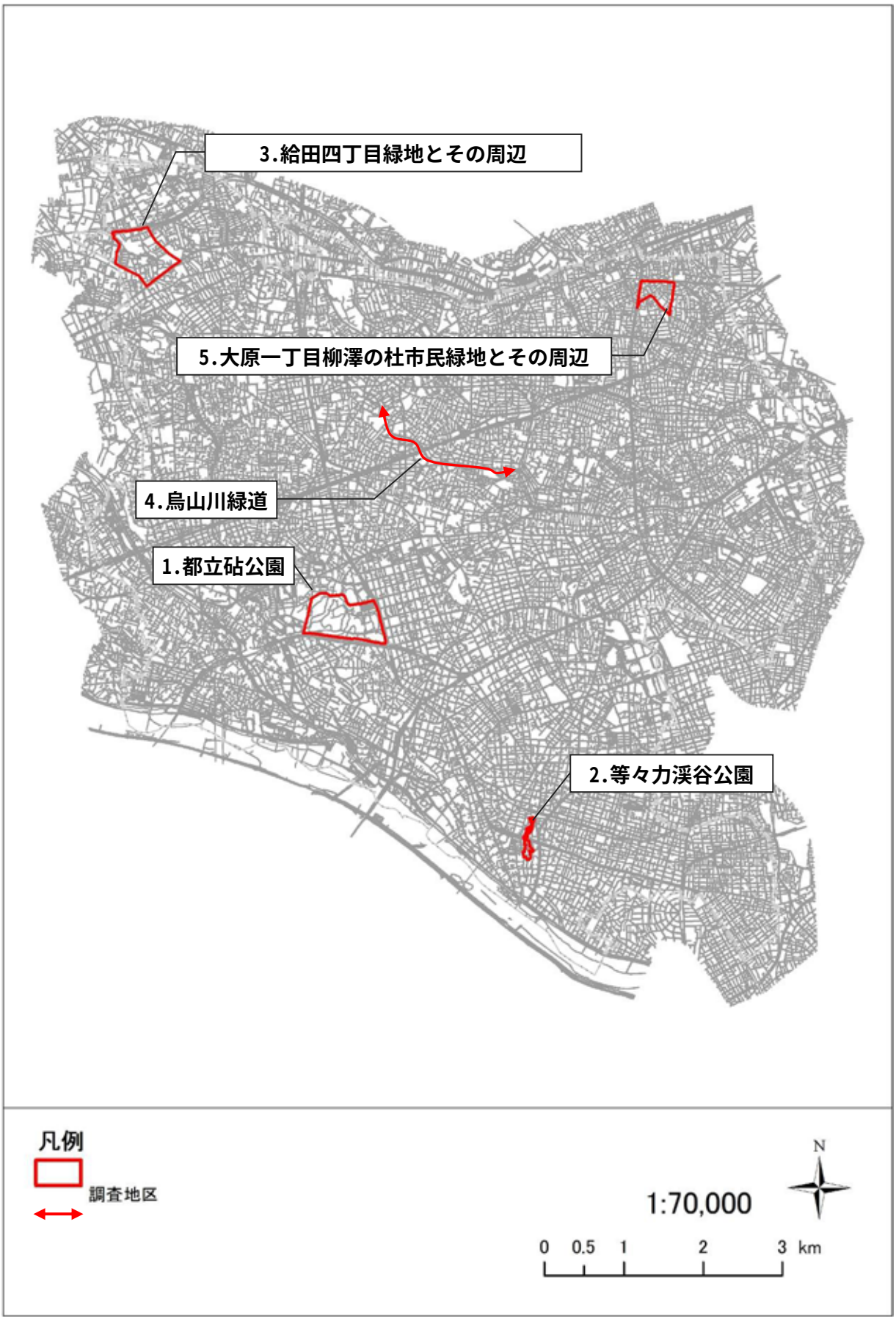

3.給田四丁目緑地とその周辺
5.大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺
4.烏山川緑道
1.都立砧公園
2.等々力渓谷公園
凡例
調査地区
1:70,000
N
0 0.5 1 2 3 km

図 1-2　調査地区

第 2 章　調査計画

2-1　調査地区の状況把握　・・・・・・・生物-3
(1) 既往資料調査
(2) 調査地区の設定
(3) 現地踏査
2-2　各調査地区のみどりの区分別の状況　・・・・・生物-7
(1) 都立砧公園
(2) 等々力渓谷公園
(3) 給田四丁目緑地とその周辺
(4) 烏山川緑道
(5) 大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺
2-3　現地調査計画書の作成　・・・・・・・生物-14

第2章　　調査計画

2-1. 調査地区の状況把握

（1）既往資料調査

現地調査計画の立案に先立ち既存資料調査を行い、区内の生物の生育・生息状況について整理した。

使用した資料は、表 2-1 に示すとおりである。

表 2-1　既存資料調査に使用した文献一覧

No	資料名	作成者	発行年度
1	「(仮称) 世田谷区生物多様性地域戦略」策定支援業務（平成 26 年度）報告書	世田谷区	平成 26 年度
2	まちの生きものしらべ 2015	世田谷区	平成 27 年度
3	平成 28 年度策定「生きものつながる世田谷プラン」	世田谷区	平成 28 年度

「（仮称）世田谷区生物多様性地域戦略」策定支援業務（平成 26 年度）報告書では、プラン策定のための基礎資料とするため、これまで世田谷区において実施された生物調査の資料を整理し、まとめられている。これによると、1979 年以前から鳥類を対象とした調査が継続的に実施されている。近年は植物、哺乳類、両生類等の調査も継続的に実施されているものの、調査箇所は区の西部に偏っている状況であった(図 2-2)。なお、多摩川では東京都建設局河川部による河川水辺の国勢調査が定期的に実施されている。

まちの生きものしらべ 2015 では、17 種を対象に区民による調査を実施した報告となっている。しかし、この成果は調査精度が確保されていない可能性があることから、参考程度に活用した。

平成 28 年度策定「生きものつながる世田谷プラン」では、世田谷区の成り立ちや地形、みどりや生きものの現状等から、世田谷区を①みどりの連続性が高い地域、②住宅地の中に中・小規模緑地が点在する地域、③市街化が進み比較的みどりが少ない地域の 3 地域に区分し、生物多様性地域戦略の策定を進めている（図 2-1）。

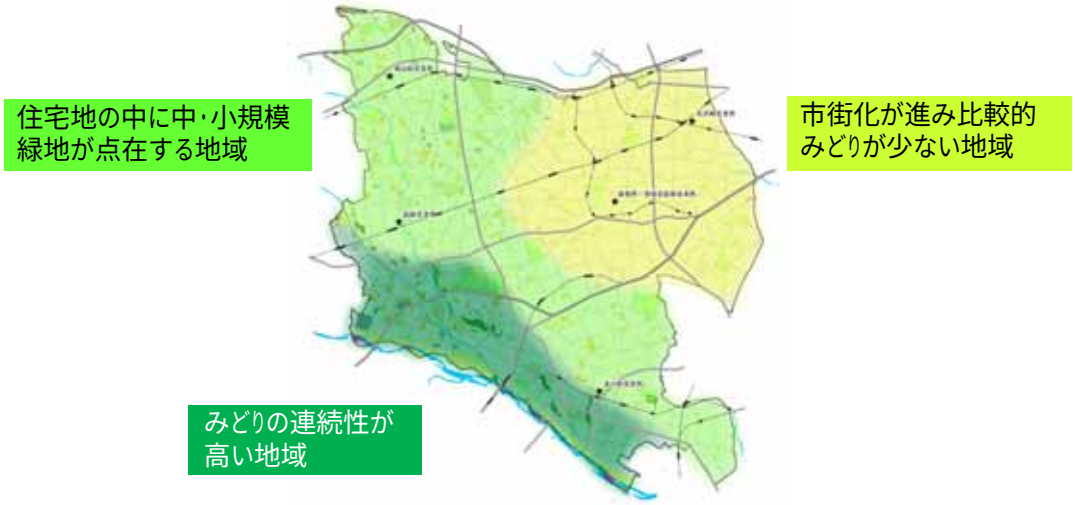


図 2-1　世田谷区の地域性区分

出典：平成 28 年度策定「生きものつながる世田谷プラン」

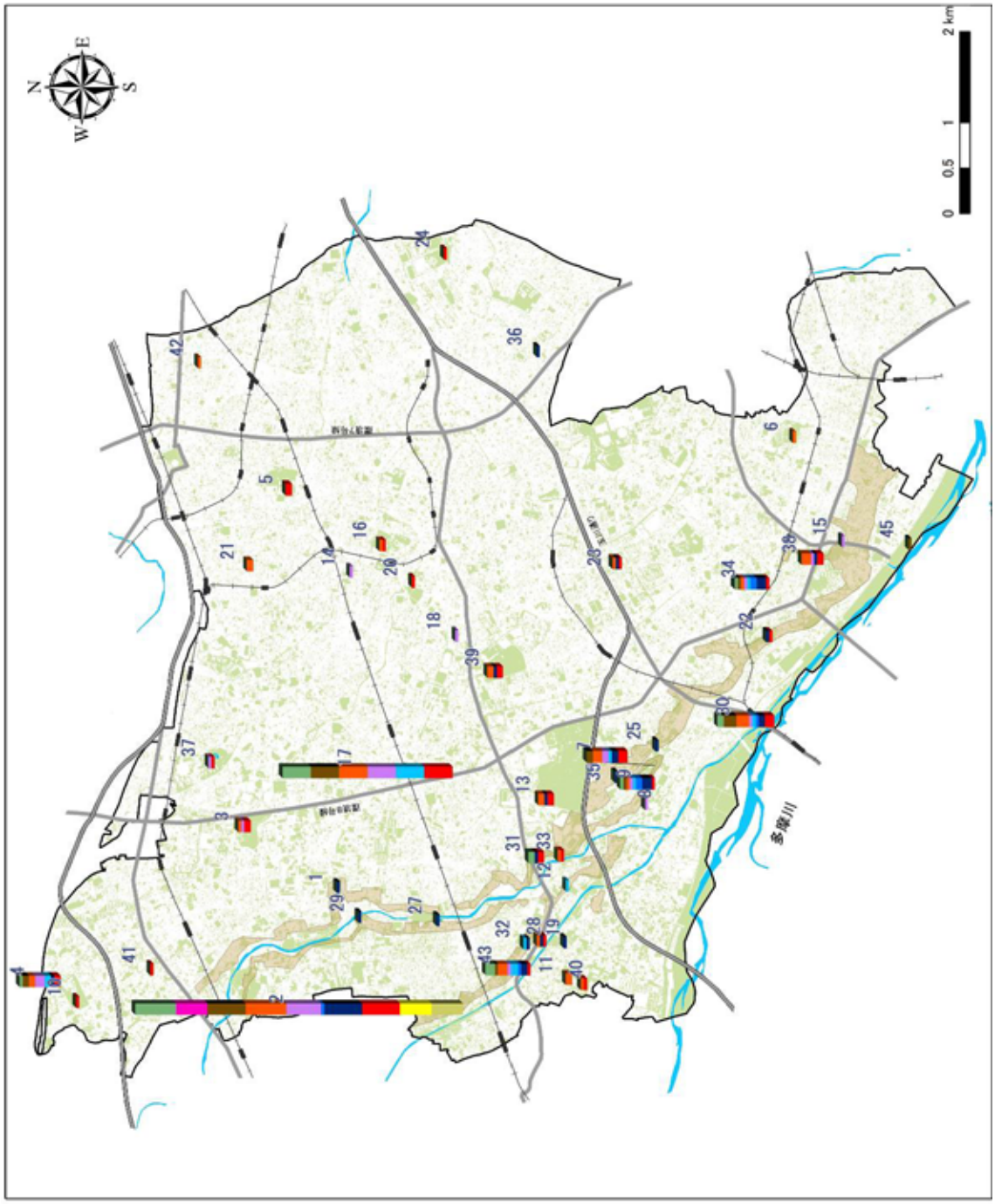


図 2-2　世田谷区における生物調査の実施箇所

出典：「（仮称）世田谷区生物多様性地域戦略」策定支援業務（平成 26 年度）報告書

（2）調査地区の設定

既往資料の整理結果を踏まえ、本調査では世田谷区の環境を代表させることができる調査地区を選定した。調査地区の選定フロー及び選定理由は、以下のとおりである。

平成２８年度策定「生きものつながる世田谷プラン」における
3 地域区分毎に 1～2 調査地区を設定

↓

地域区分内で、以下の基準から調査地区を選定
- 行政区域毎に 1 調査地区を設定
- 生物の生育・生息が期待でき、地域区分を代表するような環境となっている
- 区あるいは都が管理している場所がある（調査地区の中心）
- 大規模開発等で環境が大きく変化されることがないと想定され、これまでも調査が実施されている（今後も調査が継続できる環境）

図 2-3　調査地区の選定フロー

表 2-2　調査地区の選定理由

調査地区番号	地域区分[注)]	調査地区名	行政区域	環境要素	選定理由
1	①みどりの連続性が高い地域	都立砧公園	砧	樹林、草地、河川（谷戸川）、池（サンクチュアリ）	・みどりが多くみられ、地域区分を代表する地区 ・生物の生育・生息環境が多く存在
2		等々力渓谷公園	玉川	樹林、河川、湧水	・みどりが多くみられ、地域区分を代表する地区 ・生物の生育・生息環境が多く存在 ・湧水環境が存在
3	②住宅地の中に中･小規模緑地が点在する地域	給田四丁目緑地とその周辺	烏山	住宅地、街路樹	・中規模緑地となる給田四丁目緑地や他の公園緑地等がみられ、地域区分を代表する地区 ・生物の生育・生息環境が島状に存在
4		烏山川緑道	世田谷	樹林、草地	・小規模緑地が線状にみられ、地域区分を代表する地区 ・生物の生育・生息環境が線状に存在
5	③市街化が進み比較的みどりが少ない地域	大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺	北沢	庭園、樹林、住宅地、街路樹	・緑地（庭園）や街路樹を除くとほとんどが住宅地等の人工的な環境であり、地域区分を代表する地区 ・生物の生育・生息環境が点状に存在

注）地域区分は、平成 28 年度策定「生きものつながる世田谷プラン」による。

（3）現地踏査

現地調査計画の立案に先立ち現地踏査を実施した。現地踏査では、既往の調査計画による調査地点や既往調査の実施地点の現状の土地利用等の状況を把握するとともに、アプローチや調査実施の際の安全性等を確認した。

現地踏査実施状況（2016 年 4 月 13 日）

2-2. 各調査地区のみどりの区分別の状況

生物の資源調査と同時期に行ったみどりの資源調査において確認された、各調査地区のみどり区分別の状況を整理した。

（1）都立砧公園

主に樹木と草地により構成されている。そのうち、樹木と草地は同じ区分でも、サンクチュアリの中と外で階層構造や構成種などのみどりの質に違いがみられた。サンクチュアリ内は階層構造が豊かな樹林や、水生植物を交えた多様な構成種からなる草地が確認され、生物の生息・生育地として重要な箇所と考えられた。

表 2-3 に都立砧公園における各区分の確認状況を整理した。

表 2-3(1)　みどりの区分別の状況（都立砧公園）

区分				確認状況		面積 (ha)
自然面	緑被	樹木地	樹木	野鳥サンクチュアリの設定があり、フェンスで立ち入りが制限されている。 サンクチュアリ内では階層構造の豊かな樹林が確認された。 サンクチュアリ外は公園や公園内の施設の外周に植栽された樹木が多く、高木層のみの単調な階層構造となっていた。	 サンクチュアリ内の樹林 公園敷地内の樹林	33.3
			竹林	確認なし	－	0.0
		草地		野鳥サンクチュアリの設定があり、フェンスで立ち入りが制限されている。 サンクチュアリ内では水際の水性植物を含む多様な草本からなる草地が確認された。 サンクチュアリ外はほとんどが人工的に造成された芝生の草地となっていた。	 サンクチュアリ内の草地 公園敷地内の草地	7.9

表 2-3(2)　みどりの区分別の状況（都立砧公園）

区分			確認状況		面積 (ha)
自然面	緑被	屋上緑地	世田谷美術館の施設の屋上において確認された。		0.004
		農地	確認なし	－	0.0
		水面	サンクチュアリ内の池が確認された。なお、谷戸川は上部が樹林で覆われているため、水面として区分されなかった。		0.1
		裸地	主に競技場等の運動施設が確認された。		1.4
道路・建築物等			主に世田谷美術館や駐車場が確認された。		2.5
その他[注)]			公園内を流れる谷戸川の周囲にはフェンスが設置されており、ごく小さい破損個所が所々にあり、けもの道が周囲にみられる。一ノ橋より上流側は玉石護岸となっている。下流側は所々に護岸が設置され、一部では土崖が露出している。		－

注）上部が樹木で覆われているため区分はされなかったが、特徴的な環境であるため整理した。

（2）等々力渓谷公園

調査地区のほとんどを渓谷の斜面に形成された階層構造の豊かな樹林が占めていた。林冠は樹木で覆われており、林内はやや暗い環境となっていた。また、パッチ状に竹林の分布も確認された。

草地は区分されたものは人工的に造成された芝生がほとんどであったが、樹林の林床では湿性の草本やシダ類など多様な種から構成される草本層が形成されていた。

表 2-4 に等々力渓谷公園における各区分の確認状況を整理した。

表 2-4　みどりの区分別の状況（等々力渓谷公園）

区分				確認状況		面積 (ha)
自然面	緑被	樹木地	樹木	渓谷の周辺に階層構造の豊かな樹林が形成されていた。渓谷の両岸にはミズキ、エノキ、シラカシ等の大径木が生育する。林冠は高い被度で覆われており、林内はやや暗い環境となっている。 林床にはシダ類や湿性の草本からなる草本層が形成されているほか、崖下に湧水や、セキショウ等が繁茂する湿性草地がみられる。	 渓谷沿いの樹林	2.4
			竹林	調査地区の南側を中心にパッチ状に竹林が確認された。	 渓谷付近の竹林	0.1
		草地		公園内に人工的に造成された芝生が確認された。	 公園内の芝生	0.1
		屋上緑地		確認なし	－	0.0
		農地		確認なし	－	0.0
		水面		確認なし。 なお、谷沢川は上部が樹林で覆われているため、水面として区分されなかった。	－	0.0
		裸地		確認なし	－	0.0
道路・建築物等				主に高架橋や住宅が確認された。	 高架橋（写真上部）	0.2

（3）給田四丁目緑地とその周辺

道路・建築物が主であるが、多様な要素で構成されている。比較的市街地内に人為的に植栽された樹木や草地が多いが、屋敷林としては多様な種からなる階層構造の豊かな樹林や、空き地に自然侵入した複数の路傍雑草からなる草地なども確認された。

表 2-5 に給田四丁目緑地とその周辺における各区分の確認状況を整理した。

表 2-5(1)　みどりの区分別の状況（給田四丁目緑地とその周辺）

区分				確認状況		面積 (ha)
自然面	緑被	樹木地	樹木	屋敷林や学校や団地外周の植栽として小規模な樹林が点在していた。 屋敷林は調査地区全体からみると少ない面積であるが、階層構造が豊かで多様な種からなる樹林が形成されていた。北烏山九丁目屋敷林市民緑地では、大径木のケヤキ、シラカシが生育していたほか、エビネ等の重要種(植栽由来と考えられる)が生育している。 その他は街路樹や垣根などとして植栽されたものが多かった。これらは比較的単調な樹林となっていたが、林床が明るいため、植栽箇所に自然侵入した路傍雑草が生育する箇所が多くみられた。 なお、給田四丁目緑地は公園街灯のほか、隣接する小学校のグラウンド照明、人家の照明等、夜間に照明の影響を受ける可能性がある。	 屋敷林（樹林） 街路樹	5.6
			竹林	屋敷林の一部において竹林が確認された。	 屋敷林（竹林）	0.03
		草地		公園内や住居の庭先に人工的に造成された芝生が確認された。 また、空き地に自然侵入した路傍雑草からなる草地も点在していた。	 公園内の芝生 空き地に生育する路傍雑草	0.8

表 2-5(2)　みどりの区分別の状況（給田四丁目緑地とその周辺）

区分			確認状況		面積 (ha)
自然面	緑被	屋上緑地	学校の屋上を中心に確認された。		0.1
		農地	住宅地に隣接して一定規模の畑地や苗畑が点在していた。		2.4
		水面	学校内に造成された池が 1 箇所確認された。		0.002
		裸地	主に学校のグラウンドが確認された。また、住宅地内に空き地として点在していた。		2.0
道路・建築物等			主に住宅と学校校舎が確認された。		23.8

（4）烏山川緑道

歩道沿いに植栽された樹木がほとんどを占めていた。細長い形状の調査地区となっており、周辺は市街地のため樹林ではあるが明るい環境となっている。

そのため、樹木下や樹林地間の植栽空間には自然侵入した路傍雑草が繁茂していた。

表 2-6 に烏山川緑道における各区分の確認状況を整理した。

表 2-6　みどりの区分別の状況（烏山川緑道）

区分				確認状況		面積 (ha)
自然面	緑被	樹木地	樹木	歩道沿いに植栽された樹林が確認された。階層構造は主に高木層と低木層の 2 層となっていた。 市街地を通る緑道に沿った、細長い形状となっているため、林内は明るく、自然侵入した路傍雑草が林床を繁茂していた。ただし定期的に除草されている。	 緑道の様子	1.2
			竹林	確認なし	－	
		草地		歩道沿いの樹林間に点在していた。主に自然侵入した路傍雑草が生育していた。	 歩道沿いの草地	0.03
		屋上緑地		確認なし	－	
		農地		確認なし	－	
		水面		確認なし	－	
		裸地		緑道に造成された公園の広場が確認された。	 公園の広場	0.003
道路・建築物等				主に上部が樹木で覆われていない歩道が区分された。 なお、昼間の人の往来が多いほか、周辺に人家が隣接している。緑道には公園街灯が設置されている。	 歩道	0.4

（5）大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺

道路・建築物等がほとんどを占めているが、柳澤の杜市民緑地においては多様な種から構成される樹林や草地を確認した。

また、戸建て住宅の庭先や垣根に植栽された樹木が点在していた。

表 2-7 に大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺における各区分の確認状況を整理した。

表 2-7(1)　みどりの区分別の状況（大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺）

<table>
<tr><th colspan="4">区分</th><th>確認状況</th><th>面積
(ha)</th></tr>
<tr><td rowspan="5">自然面</td><td rowspan="4">緑被</td><td rowspan="2">樹木地</td><td>樹木</td><td>柳澤の杜市民緑地に階層構造の豊かな樹林が確認された。
なお、公開部分は草刈り、落葉かき等の管理が行われている。エビネ等の重要種(植栽由来と考えられる)が生育している。
また、住宅の庭先や垣根として植栽された樹木が点在していた。</td><td>
柳澤の杜市民緑地

住宅の植栽</td><td>1.1</td></tr>
<tr><td>竹林</td><td>柳澤の杜市民緑地で小規模な竹林が確認された。</td><td>
柳澤の杜市民緑地内の竹林</td><td>0.008</td></tr>
<tr><td colspan="2">草地</td><td>柳澤の杜市民緑地において、植栽および自然侵入した路傍雑草からなる草地を確認した。</td><td>
柳澤の杜市民緑地内の草地</td><td>0.05</td></tr>
<tr><td colspan="2">屋上緑地</td><td>数軒の住宅の屋上で小規模な緑地が確認された。</td><td>
平成 28 年度撮影空中写真</td><td>0.008</td></tr>
<tr><td colspan="2">農地</td><td>確認なし</td><td>－</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">水面</td><td>確認なし</td><td>－</td><td></td></tr>
</table>

表 2-7(2)　みどりの区分別の状況（大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺）

区分		確認状況		面積 (ha)
自然面	裸地	主に学校のグラウンドや公園内の広場が確認された。	公園内の広場	0.8
道路・建築物等		主に宅地が確認された。	住宅地	9.6

2-3. 現地調査計画書の作成

上記に基づき現地調査計画を立案した。なお、生物の確認種リスト等、結果の詳細は資料編に整理した。

第 3 章　現地調査

3-1　調査概要　・・・・・・・・生物-15
(1) 調査実施状況
(2) 調査実施期間の気象状況
3-2　各調査項目の調査方法　・・・・・・・・生物-18
(1) 植物調査
(2) 哺乳類・爬虫類・両生類調査
(3) 鳥類調査
(4) 昆虫類調査
(5) 魚類・底生動物調査
(6) 各調査項目の調査位置
3-3　重要種および外来種の選定基準　・・・・・・・・生物-27

第3章　　現地調査

3-1. 調査概要

調査概要は、表 3-1 に示すとおりである。

表 3-1　調査概要

調査項目	調査時期	調査方法	備考
植物	3 季 （春、夏、秋）	・目視確認	
哺乳類 爬虫類 両生類	2 季 （春、秋）	・目視確認 ・捕獲確認（爬虫類・両生類のみ） ・フィールドサイン法（哺乳類のみ） ・無人撮影法（哺乳類のみ）	無人撮影法は各調査地区で 2 地点設定
鳥類	2 季 （夏、冬）	・ラインセンサス法 ・任意確認	ラインセンサス法は各調査地区で 1 ライン設定
昆虫類	3 季 （春、夏、秋）	・任意採集法 ・ピットフォールトラップ法 ・ライトトラップ法 ・夜間灯火採集（烏山川緑道のみ）	各トラップ法は各調査地区でそれぞれ 1 地点設定 ピットフォールトラップ法は 1 地点あたり 10 個、ライトトラップ法は 1 地点あたり 1 個のトラップをそれぞれ設置
魚類 底生動物	2 季 （春、秋）	・任意採集法 （タモ網、投網、定置網）	定置網の設置は 1 晩

注）調査方法の詳細は、p. 生物-18 以降を参照

（1）調査実施状況

現地調査は、表 3-2 に示す日程で実施した。

表 3-2　調査実施状況

調査時期	調査日	調査時間	調査時天候	調査項目	調査地区
春季	5 月 11 日（水）	9:00～17:00	曇り	植物 哺乳類	都立砧公園
	5 月 12 日（木）	9:00～17:00 注) 19:00～20:00 （昆虫類 夜間灯火採集）	晴れ	爬虫類 両生類 昆虫類	等々力渓谷公園 給田四丁目緑地と
	5 月 13 日（金）	9:00～17:00	晴れ	魚類 底生動物	その周辺
夏季	6 月 6 日（月）	4:30～11:30	曇り	鳥類	烏山川緑道
	6 月 7 日（火）	4:30～11:30	曇り		
	6 月 8 日（水）	4:30～10:30	晴れ		大原一丁目柳澤の杜
	7 月 19 日（火）	9:00～17:00 19:00～20:00 （昆虫類 夜間灯火採集）	晴れ	植物 昆虫類	市民緑地とその周辺
	7 月 20 日（水）	9:00～17:00	晴れ		
	7 月 21 日（木）	9:00～16:00	雨		
	8 月 3 日（水）	9:00～16:00	晴れ		
秋季	10 月 24 日（月）	9:00～17:00 注) 19:00～20:00 （昆虫類 夜間灯火採集）	晴れ	植物 哺乳類 爬虫類	
	10 月 25 日（火）	9:00～17:00	晴れ	両生類 昆虫類	
	10 月 26 日（水）	9:00～16:00	晴れ	魚類 底生動物	
冬季	1 月 10 日（火）	7:00～14:30	晴れ	鳥類	
	1 月 11 日（水）	7:00～14:00	晴れ		
	1 月 12 日（木）	7:00～13:00	晴れ		

注)哺乳類調査のうち、約 1 か月間とした都立砧公園のサンクチュアリ内に設置した無人撮影装置の撮影期間は、5 月 12 日（木）～6 月 12 日（日）、10 月 24 日（月）～11 月 24 日（木）であった。

調査着手時の安全ミーティング（平成 28 年 10 月 26 日）

（2）調査実施期間の気象状況

調査実施期間中の気象状況として、調査地区の最寄りの観測所で測定された日合計降水量を図 3-1、日平均気温を図 3-2 に整理した。

世田谷区は、夏季は多雨多湿、冬季は少雨乾燥となる太平洋型の気候に属している。

調査は、7 月の昆虫類調査の一部を降雨により 8 月に変更した他は、悪天候等の影響を受けることなく実施した。

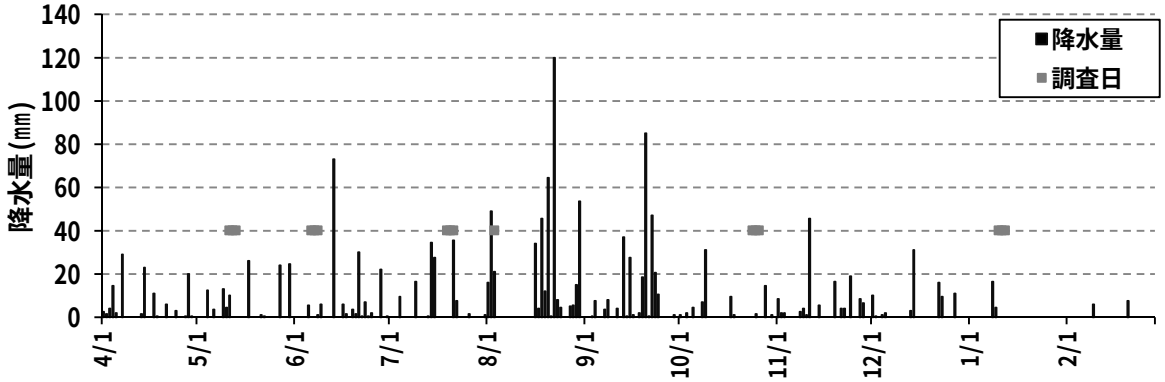


図 3-1　調査実施期間の降水量（世田谷アメダス）

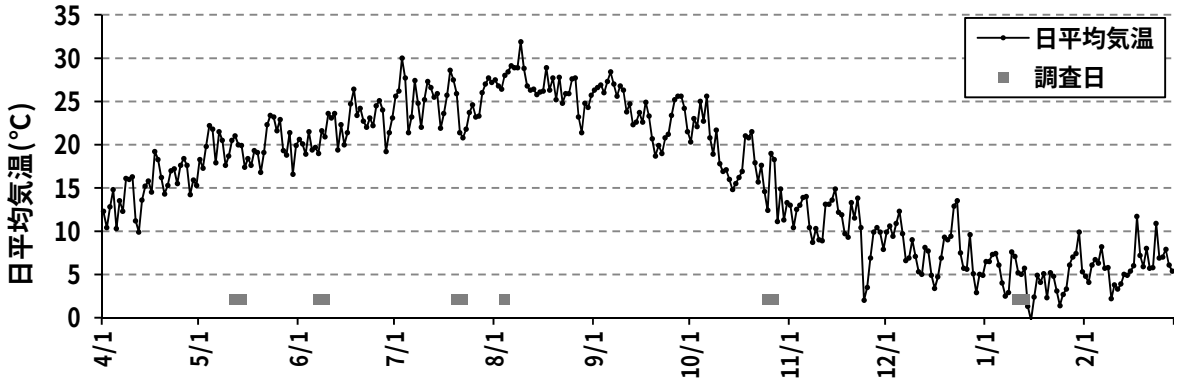


図 3-2　調査実施期間の日平均気温（府中気象観測所）

3-2. 各調査項目の調査方法

（1）植物調査

調査地区の様々な環境を網羅するよう踏査し、目視によって確認された植物種を記録した。対象はシダ植物以上の維管束植物とした。

なお、確認種の記録の際は、生育状況から「自生（栽培によらないで自然に生育している植物）」、「植栽（観賞などの目的で人為的に植えられた植物）」、「逸出（植栽された後に自力で野生化し、生育範囲を広げている植物）」も併せて記録した。植栽、逸出の判断の考え方は表 3-3 に示すとおりである。

調査実施状況

表 3-3　植栽・逸出の判断

区分	判断の考え方
植栽	・街路樹、生垣など、人の生活のための緑化を目的として植栽されたと考えられるもの。
逸出	・緑化、鑑賞、造園等の目的で利用されるが、その目的と異なると考えられる場所（民家や緑地付近の路傍など）で確認されたもの。 ・確認環境が自生環境とは異なるものの、基本的には確認箇所付近の緑地や民家で同種の確認があることから植栽地から野生化したものと考えられるもの。

（2）哺乳類・爬虫類・両生類調査

哺乳類・爬虫類・両生類は、表 3-4 に示す方法で調査を実施した。踏査範囲（調査地区）および自動撮影カメラの設置地点は、後述の図 3-3 に示す。

表 3-4　調査方法（哺乳類・爬虫類・両生類）

調査項目		調査方法	
哺乳類・爬虫類・両生類	目視確認	哺乳類、爬虫類、両生類を対象とし、調査地区を踏査し、成体、幼体、幼生、卵等の目視確認により種類を識別し、目撃した場所の状況と合わせ記録した。また、ヘビ類では抜け殻、カエル類では鳴き声、その他に死体等も結果として扱った。なお、両生類の卵、幼生等はその数量も記録した。	
	捕獲確認	爬虫類、両生類を対象とし、調査地区を踏査し、捕獲により爬虫類、両生類を確認した。	
	フィールドサイン法	哺乳類を対象とし、調査地区を踏査し、フィールドサイン（糞、足跡、食痕、巣、爪痕の生息痕跡等）により生息種を確認した。また、死体等も結果として扱った。	
	無人撮影法	哺乳類を対象とし、無人撮影装置を使用し、哺乳類の撮影を行い、撮影された写真により生息種を確認した。無人撮影装置(自動撮影カメラ)は人の往来の多い烏山川緑道を除く、各調査地区で 1～2 地点設置した。各調査地区における無人撮影草地の設置数と設置時間は以下に示すとおりである。 なお、都立砧公園のサンクチュアリ内については、人の往来がほとんどないことから、約 1 ヶ月間無人撮影装置を設置し、調査精度の向上に努めた。	

調査地区	設置数	設置時間
都立砧公園	2	サンクチュアリ内：約 1 ヶ月 谷戸川沿い：1 昼夜
等々力渓谷公園	2	1 昼夜
給田四丁目緑地とその周辺	1	1 昼夜
烏山川緑道	0	設置なし
大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺	1	1 昼夜

（3）鳥類調査

鳥類は、表 3-5 に示す方法で調査を実施した。調査ルートおよび踏査範囲（調査地区）は、後述の図 3-3 に示す。

表 3-5　調査方法（鳥類）

調査項目	調査方法	
ライン センサス法	調査地区に約 1 kmの距離で設定した調査ルート（ライン）において、時速 1.5km～2.5km 程度の速さで歩きながら双眼鏡等を用いて片側 25m、ルート両側で 50m の範囲に出現する鳥類を姿または鳴き声によって確認した。確認した鳥類はその位置を地図上に記録するとともに、種名、個体数、確認環境、繁殖行動等を記録した。調査ルートは地形、植生等を考慮し、さまざまな環境が調査対象となるように設定した。調査時間帯は鳥類の活動が活発な日の出～午前中とした。	
任意確認	調査地区を踏査し、双眼鏡等を用いて周辺に出現する鳥類を姿または鳴き声によって確認した。確認した鳥類は、種名、個体数、確認環境、繁殖行動等を記録した。	

（4）昆虫類調査

昆虫類調査は、表 3-6 に示す方法で調査を実施した。踏査範囲（調査地区）およびトラップ設置地点は、後述の図 3-3 に示す。

表 3-6　調査方法（昆虫類）

調査項目	調査方法	
任意採集法	調査地区を踏査し、スウィーピング、ビーティング等の方法で採集するか直接観察により種を確認した。 また、石や倒木を起こしての採集、樹木の蜜での採集等、見つけて採る方法も実施した。	
ピットフォールトラップ法	地上を徘徊する昆虫を採集する方法で、地面と同じレベルにくるように、プラスチックコップを埋めて、1 晩放置した後に落下した昆虫を採集した。1 地点に 10 個を 1 晩設置した。	
ライトトラップ法	夜行性の光に集まる昆虫を採集する方法で、夜間に、ブラックライト等の光源の下に捕虫用の容器を設置し、光に集まり容器に落ちた昆虫を採集した。1 地点に 1 個 1 晩設置した。 なお、通行人の往来の多い烏山川緑道は設置の対象外とした。	
夜間灯火採集	ライトトラップ法の対象外とした烏山川緑道において、日没後～夜間、調査地区を踏査し、公園街灯などの灯火に集まる昆虫類を任意に採集した。	

（5）魚類・底生動物調査

魚類・底生動物調査は、表 3-7 に示す方法で調査を実施した。調査範囲である調査地区の水域箇所は、後述の図 3-3 に示す。

表 3-7　調査方法（魚類・底生動物）

調査項目	調査方法	
タモ網等による採捕（魚類、底生動物）	タモ網を使用して魚類、底生動物を捕獲し確認した。	
投網による採捕（魚類）	水面が開けた投網が打てる場所では投網を使用して魚類を捕獲し確認した。	
定置網による採捕（魚類）	定置網を 1 晩設置し、翌日回収し捕獲された魚類を確認した。	

（6）各調査項目の調査位置

各調査項目の調査位置は、図 3-3 に示すとおりであった。

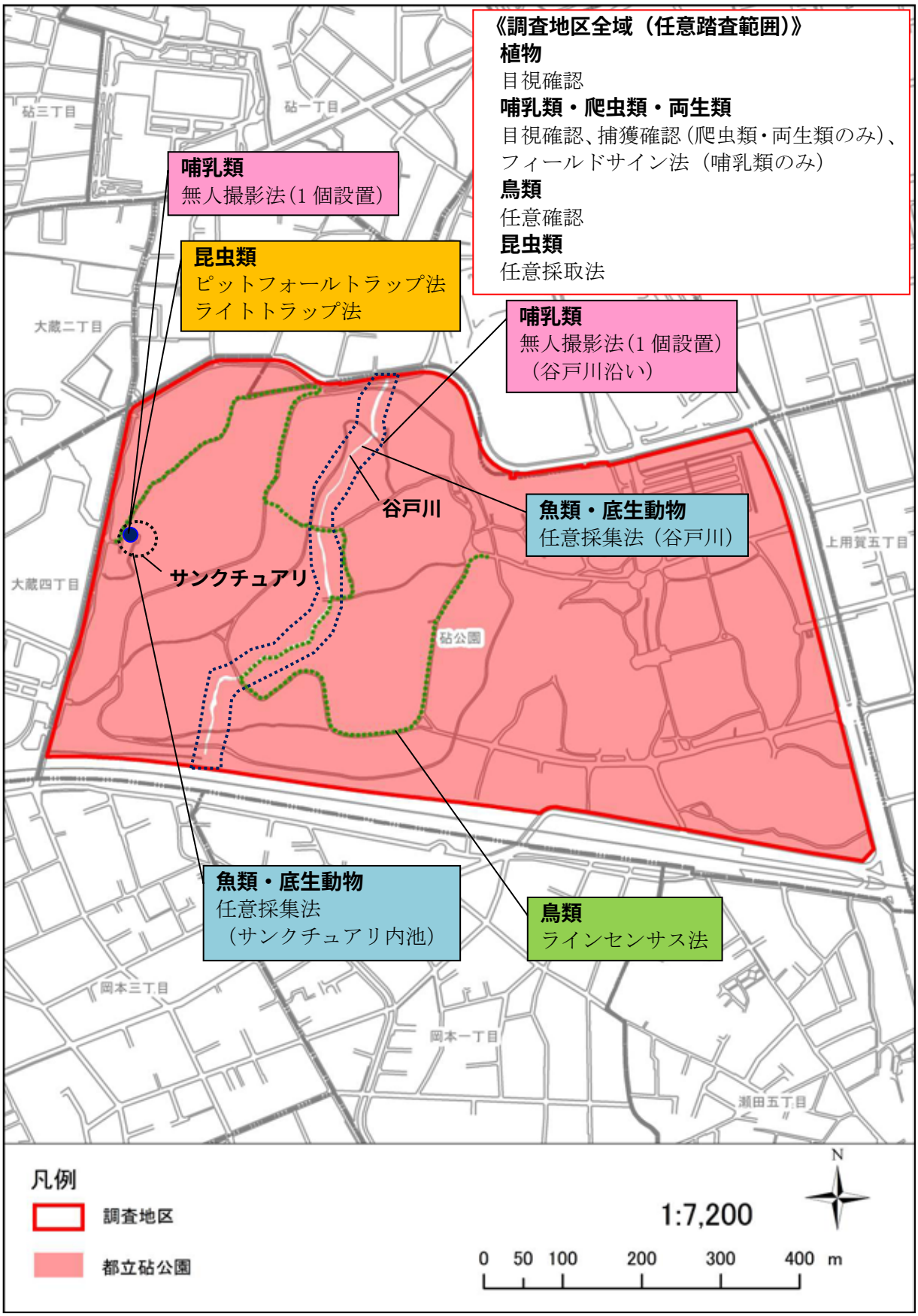


図 3-3(1)　調査位置図（都立砧公園）

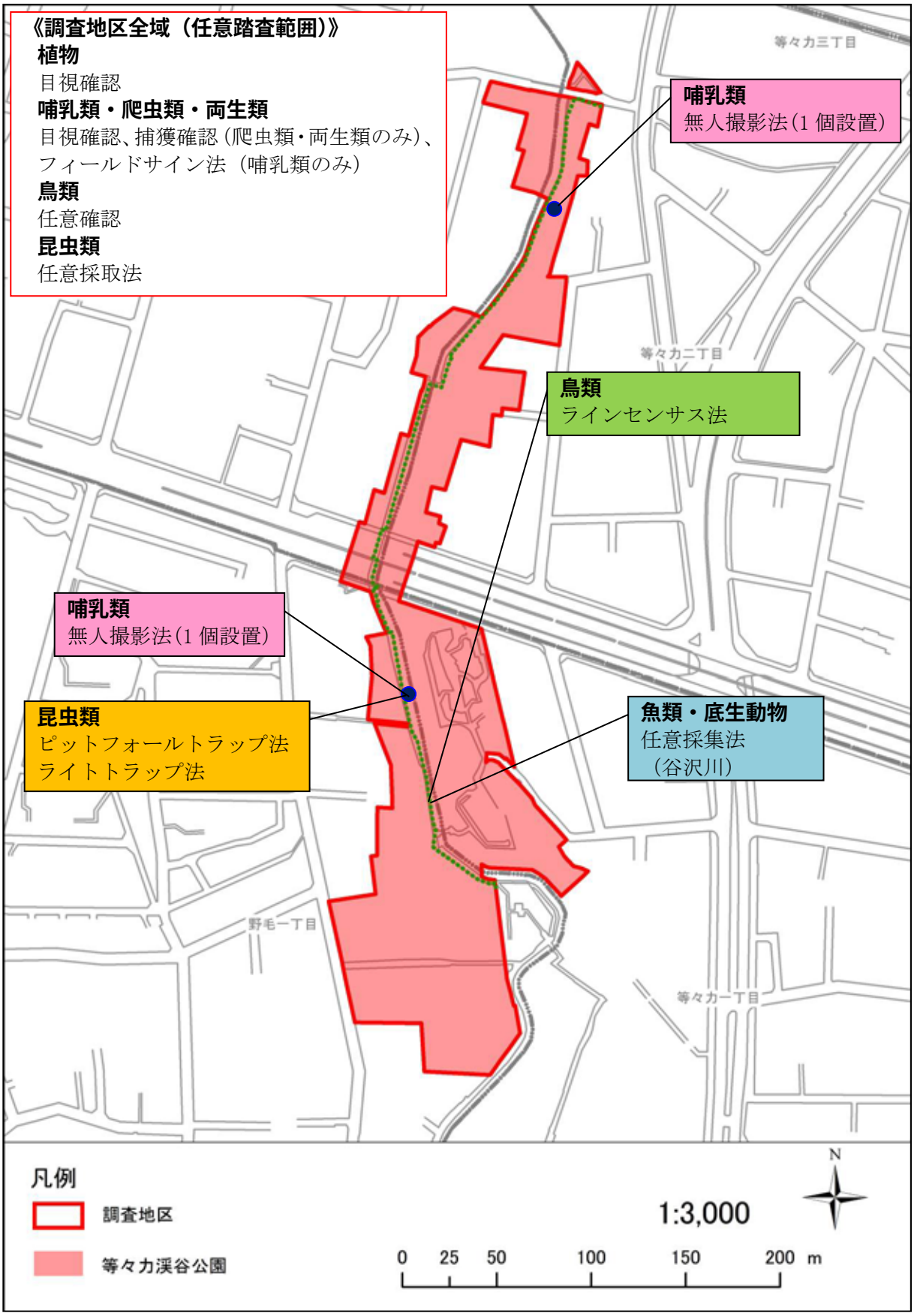


図 3-3(2)　調査位置図（等々力渓谷公園）

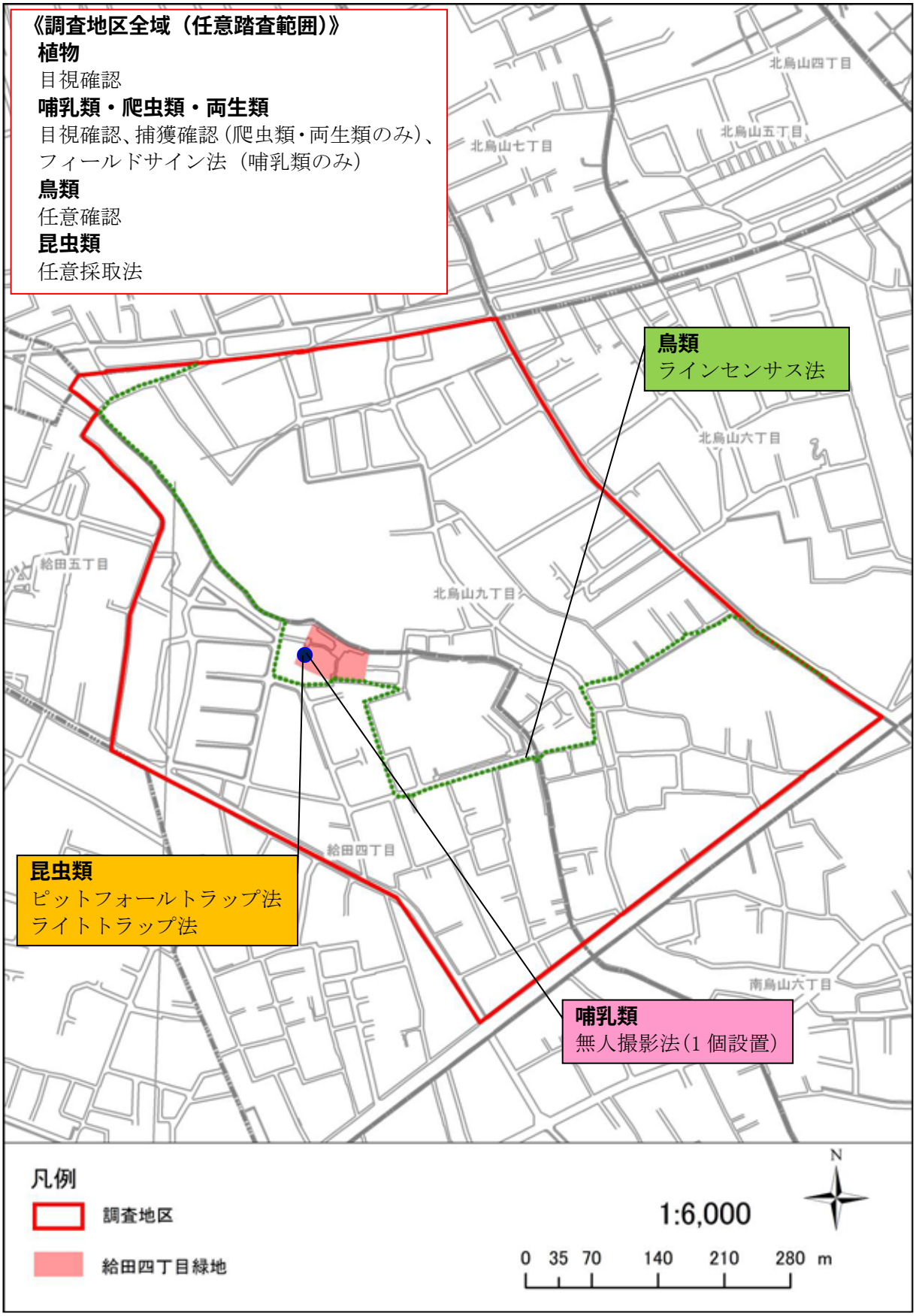


図 3-3(3)　調査位置図（給田四丁目緑地及びその周辺）

図 3-3(4)　調査位置図（烏山川緑道）

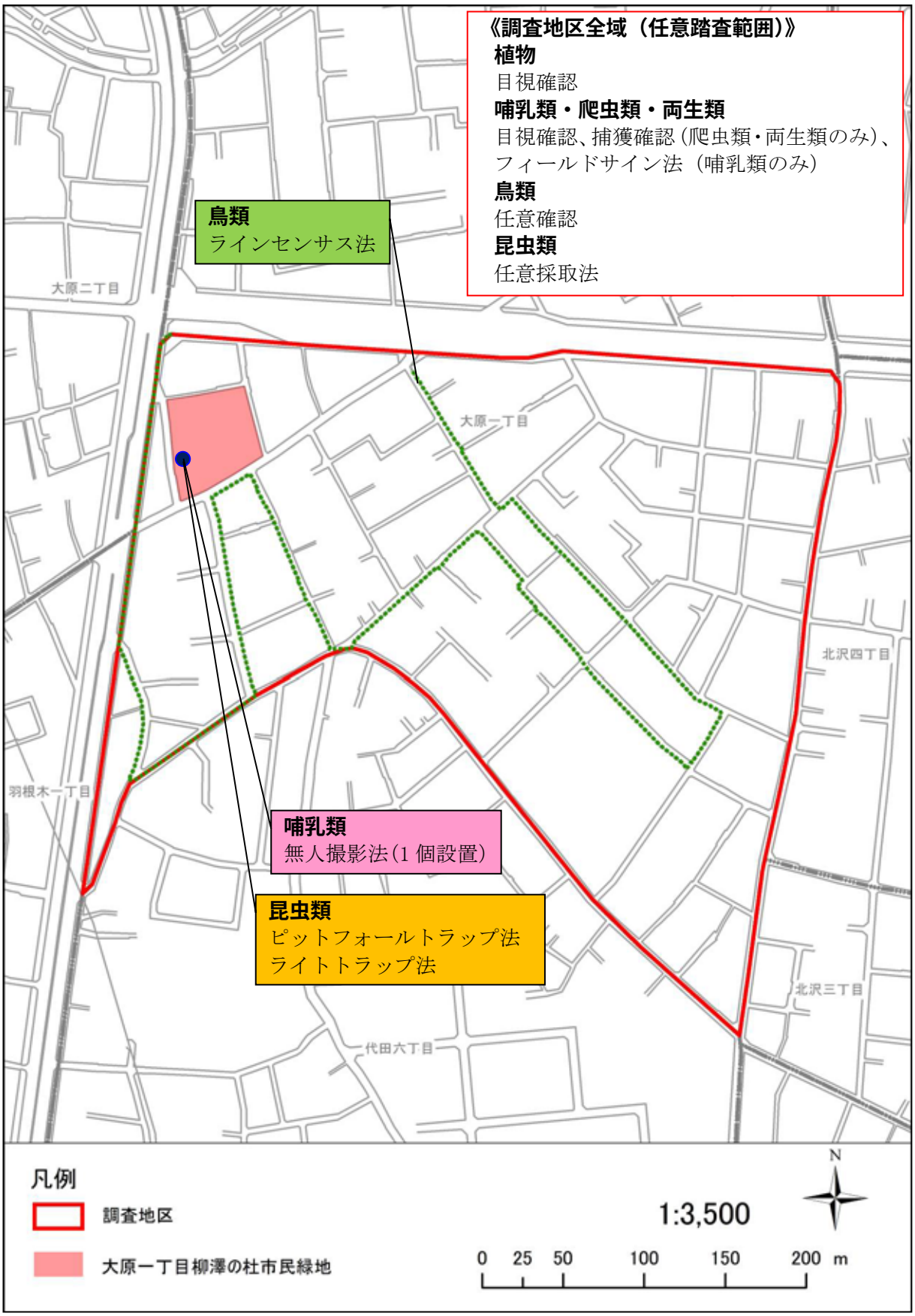


図 3-3(5)　調査位置図（大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺）

3-3. 重要種および外来種の選定基準

確認された種については、表 3-8～表 3-12 に示す基準により重要種及び外来種を選定した。

表 3-8　重要種の選定基準（植物）

No.	選定基準
1	「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日公布、同日施行)に基づく天然記念物・特別天然記念物
2	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 6 月 5 日公布、平成 5 年 4 月 1 日施行)における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
3	「環境省報道発表資料　第 4 次レッドリストの公表について」(平成 24 年、環境省)における選定種
4	「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」(平成 25 年、東京都)における選定種
5	その他学術上重要な種(有識者による指摘種等)

表 3-9　重要種の選定基準（動物）

No.	選定基準
1	「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日公布、同日施行)に基づく天然記念物・特別天然記念物
2	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 6 月 5 日公布、平成 5 年 4 月 1 日施行)における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
3	「環境省報道発表資料　第 4 次レッドリストの公表について」(平成 24 年から 25 年、環境省)における選定種
4	「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」(平成 25 年、東京都)における選定種
5	その他学術上重要な種(有識者による指摘種等)

表 3-10　外来種の選定基準（植物・動物）

No.	選定基準
1	「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004 年法律第 78 号　2004 年 6 月 2 日公布）による指定種
2	「生態系被害防止外来種リスト（環境省・農林水産省，2015 年)」における掲載種

表 3-11　重要種選定基準のカテゴリー（植物・動物）

文化財保護法[注)]	
天然記念物	動物（生息地、繁殖地及び渡来地を含む。）植物（自生地を含む。）で我が国にとって学術上価値の高いもののうち、重要なもの。
特別天然記念物	動物（生息地、繁殖地及び渡来地を含む。）植物（自生地を含む。）で我が国にとって学術上価値の高いもののうち、特に重要なもの。
絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律	
国際希少野生動植物種	国際的に協力して種の保存を図ることとされている絶滅のおそれのある野生動植物の種（国内希少野生動植物種を除く。）
国内希少野生動植物種	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律に基づき指定された、国内に生息・生育する絶滅のおそれのある野生生物のうち、人為的な影響により減少が見られる種等。
環境省第 4 次レッドリスト	
絶滅（EX）	我が国ではすでに絶滅したと考えられる種
野生絶滅（EW）	飼育・栽培下あるいは自然分布域の明らかに外側で野生化した状態でのみ 存続している種
絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）	絶滅の危機に瀕している種
絶滅危惧ⅠA類(CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ⅠB類(EN)	ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類（VU）	絶滅の危険が増大している種
準絶滅危惧（NT）	現時点での絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種
情報不足(DD)	評価するだけの情報が不足している種
絶滅のおそれのある地域個体群（LP）	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
レッドデータブック東京 2013	
絶滅（EX）	当該地域において、過去に生育・生息していたことが確認されており、飼育･栽培下を含め、すでに絶滅したと考えられるもの
野生絶滅（EW）	当該地域において、過去に生育・生息していたことが確認されており、飼育･栽培下では存続しているが、野生ではすでに絶滅したと考えられるもの
絶滅危惧Ⅰ類（CR+EN）	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの
絶滅危惧ⅠA類(CR)	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
絶滅危惧ⅠB類(EN)	IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
絶滅危惧Ⅱ類（VU）	現在の状態をもたらした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧Ⅰ類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
準絶滅危惧（NT）	現時点での絶滅危険度は小さいが、生育 ・ 生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの
情報不足(DD)	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性を有しているが、生育・生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていないもの
絶滅のおそれのある地域個体群(LP)	地域的に孤立している個体群で、絶滅のおそれが高いもの
留意種	現時点では絶滅のおそれはないと判断されるため、留意が必要と考えられるもの
ランク外	当該地域で生育･生息が確認されているが、上記カテゴリーに該当しないもの
データなし	当該地域において生育･生息している(していた)可能性があるが、確実な記録や情報が得られなかったもの
非分布	生態的、地史的な理由から、もともと当該地域には分布しないと考えられるもの

注）動植物に関する定義を抜粋

表 3-12　外来種選定基準のカテゴリー（植物・動物）

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律		
特定外来生物	外来生物（海外起源の外来種）であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定されたもの	
生態系被害防止外来種リスト		
定着予防外来種	侵入予防外来種	国内に未侵入の種。特に導入の予防、水際での監視、バラスト水対策等で国内への侵入を未然に防ぐ必要がある。
	その他の定着要望外来種	侵入の情報はあるが、定着は確認されていない種。
総合対策外来種	緊急対策外来種	「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方に基づき、被害の深刻度に関する基準として①～④[注)] のいずれかに該当することに加え、対策の実効性、実行可能性として⑤[注)] に該当する種。特に緊急性が高く、特に、各主体がそれぞれの役割において、積極的に防除を行う必要がある。
	重点対策外来種	「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方に基づき、被害の深刻度に関する基準として①～④[注)] のいずれかに該当する種。甚大な被害が予想されるため、特に、各主体のそれぞれの役割における対策の必要性が高い。
	その他の総合対策外来種	総合対策外来種のうち、上記以外のもの
産業管理外来種		産業又は公益的役割において重要であり、現状では生態系等への影響がより小さく、同等程度の社会経済的効果が得られるというような代替性がないため、利用において逸出等の防止のための適切な管理に重点を置いた対策が必要な外来種。

注）緊急対策外来種、重点対策外来種における対策の優先度の考え方
①生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大
②生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し被害をもたらす可能性が高い
③絶滅危惧種等の生息・生育に甚大な被害を及ぼす可能性が高い
④人の生命・身体や農林水産業等社会経済に対し甚大な被害を及ぼす（対策の実効性、実行可能性）
⑤防除手法が開発されている、又は開発される見込みがある等、一定程度の知見があり、対策の目標を立て得る。

第 4 章　調査結果

4-1　調査結果の概要　・・・・・・・生物-30
4-2　調査地区別のみどりと生物の台帳　・・・・・・生物-31
4-3　各調査項目の調査結果　・・・・・・生物-42
(1) 植物調査
(2) 哺乳類・爬虫類・両生類調査
(3) 鳥類調査
(4) 昆虫類調査
(5) 魚類調査・底生動物調査

第4章　　調査結果

4-1. 調査結果の概要

本調査によって、確認された種数は、以下のとおりである。

表 4-1　確認科数・種数一覧

	植物	哺乳類	爬虫類	両生類	鳥類	昆虫類	魚類	底生動物
確認科数	118 科	5 科	4 科	2 科	23 科	165 科	3 科	23 科
確認種数	480 種	5 種	4 種	2 種	41 種	561 種	6 種	43 種

世田谷には、樹林、公園・緑地、水辺などが分布しており、それぞれの環境に応じて生物が生息・生育している。本調査では、市街地で一般的に見られるムクドリやハシブトガラスなどの種が多く確認されたが、食物連鎖の上位に位置するオオタカやツミ、タヌキなどが確認された他、樹林環境や水辺環境などの限定的な環境に依存するため近年の開発等による減少が指摘されているオオアメンボやショウリョウバッタモドキなどの重要種も複数確認された。一方で、従来の生態系への悪影響を与えることが懸念されている、特定外来生物のアレチウリやオオキンケイギク、アライグマが確認された。

オオタカ

タヌキ

オオアメンボ

ショウリョウバッタモドキ

オオキンケイギク

アライグマ（足跡）

調査地区 5 地区における生物の確認種数を、表 4-2 に示した。

表 4-2　地区別の生物の確認種数

調査地区番号	地域区分[注)]	行政区域	調査地区名	確認種数							
				植物	哺乳類	爬虫類	両生類	鳥類	昆虫類	魚類	底生動物
1	①みどりの連続性が高い地域	砧	都立砧公園	238	2	2	0	36	296	4	32
2		玉川	等々力渓谷公園	178	3	4	0	22	161	6	27
3	②住宅地の中に中･小規模緑地が点在する地域	烏山	給田四丁目緑地とその周辺	257	0	2	0	24	194	－	－
4		世田谷	烏山川緑道	281	1	2	2	16	200	－	－
5	③市街化が進み比較的みどりが少ない地域	北沢	大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺	221	0	1	1	16	172	－	－

注）地域区分は、平成 28 年度策定「生きものつながる世田谷プラン」による。
　　表中の数字は種数を示す。

4-2. 調査地区別のみどりと生物の台帳

調査結果の概要を示す資料となるように、調査地区毎の生物資源の現況が一目でわかる台帳形式に整理した。作成した台帳を次項以降に示す。

台帳の記載内容は、表 4-3 に示すとおりとした。

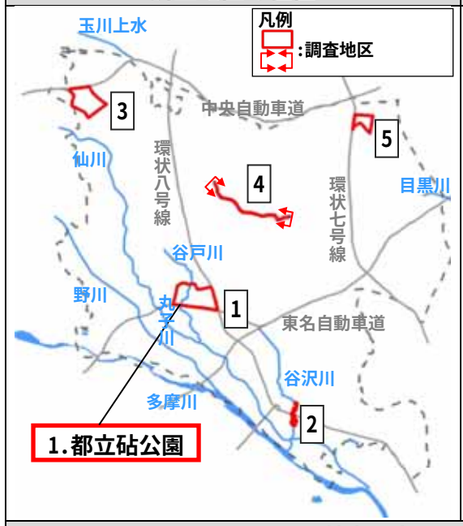
表 4-3　台帳の記載内容

項目	内容
調査地区の位置	世田谷区内における調査地区の位置図を示した。
自然面率	みどりの資源調査結果をもとに、調査地区の自然面率を樹木、草地、道路・建築物等といった項目別に示した。
生物調査結果	本調査によって確認した種数を示した。
航空写真	調査地区の航空写真を示した。
調査地区の特徴	生物の生息・生育地としての観点から、調査地区の特徴を記載した。
地域区分	調査地区の地域区分を示した。
調査地区の環境要素	調査地区の環境要素を示した。
生物の主な確認種	調査地区の主な確認種として、多く確認された種、調査地区の環境の特徴を反映させている種、主な重要種、外来種を一覧表で整理した。 なお、確認種の詳細はリストとして資料編に整理し、必要に応じて確認出来るようにした。
生物の生育・生息と利用状況（断面イメージ）	調査地区の環境とそれぞれの環境を利用する生物を断面図として模式的に整理した。
土地利用状況	調査地区周辺 250m の範囲に含まれる町丁の土地利用状況を整理した。
自然面分布図	調査地区周辺 250m の範囲を含む自然面の分布状況を示した。
航空写真	調査地区周辺 250m の範囲を含む航空写真（平成 28 年撮影）を示した。

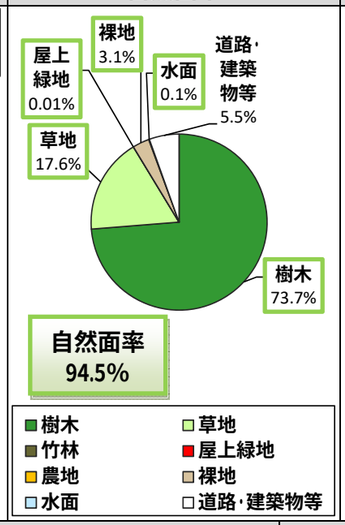
調査結果の概要

調査地区 1　都立砧公園

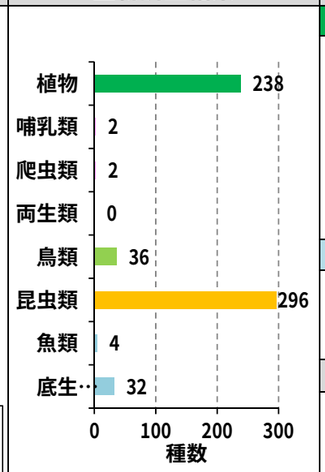
調査地区の位置



自然面率



生物調査結果



生物の主な確認種※1（下線部：外来種）

植物

高木層：ムクノキ、ケヤキ、クヌギ
亜高木層：ソメイヨシノ、コナラ
低木層：ヤブツバキ、ヒサカキ、コマユミ、アズマネザサ
草本層：ヨモギ、メヒシバ、ススキ、イヌビエ、**アレチウリ**

哺乳類

タヌキ

爬虫類

確認種全て重要種に該当するため非記載

両生類

確認なし

鳥類

シジュウカラ、ハシボソガラス、ウグイス、ムクドリ、コゲラ、カルガモ、アオサギ

昆虫類

樹林：アオスジアゲハ、アオマツムシ、**アカボシゴマダラ**
草地：ヒガシキリギリス、マルカメムシ、オオカマキリ
地表：ハラシヒバッタ、アメイロアリ、ケラ、ミツカドコオロギ
水辺：クロスジギンヤンマ、アメンボ、マルタンヤンマ

魚類

モツゴ、スミウキゴリ、ヨシノボリ属

底生動物

貝類：サカマキガイ、ヒロマキマイマイ
環形動物：エラミミズ
甲殻類：**アメリカザリガニ、フロリダマミズヨコエビ**
水生昆虫：マメゲンゴロウ

調査地区の環境

サンクチュアリ内の草地と樹林

芝生の広場

水路内の様子

航空写真

調査地区の特徴

- ケヤキやサクラ類などの落葉高木や、シイ・カシなどの常緑高木、ツツジ類などの低木が多く見られる。
  サンクチュアリ内では階層構造が豊かな樹林がみられる。
- サンクチュアリ内の池と谷戸川で湿性の植物や水生生物がみられる。
- 芝生の広場が整備され、広範囲に草地がみられる。
- 区を代表する大規模な公園であり、樹林性の種や水辺を利用する種等が多く確認された。

地域区分

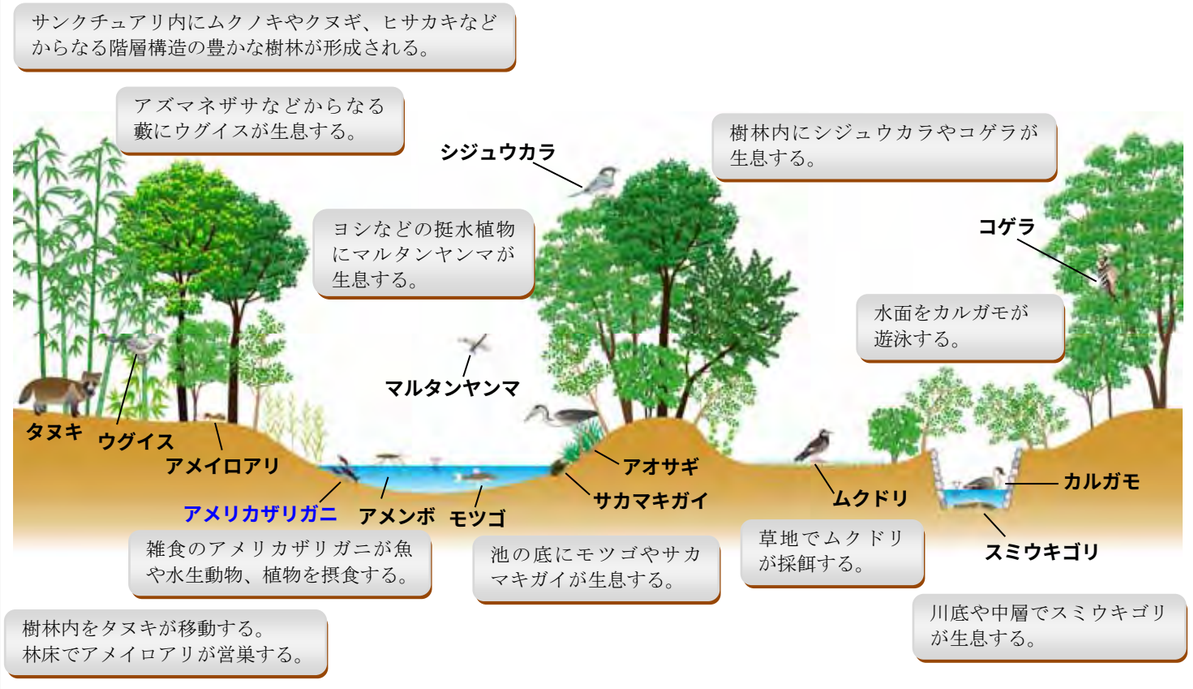
みどりの連続性が高い地域

調査地区の環境要素

樹林　草地　河川　池

生物の生息の状況（断面イメージ）

下線部：外来種



生物種名は、重要種保護の観点から、重要種以外を記載している。
※1 主な確認種：確認種のうち、多くの個体数がみられた種や、調査地の環境を特徴づける種など

表　調査地区周辺 250m の範囲に含まれる町丁の土地利用状況

（生物の移動範囲を考慮し、調査地区周辺 250m の範囲の土地利用状況を示す。）

（㎡）

町丁名	公共用地	専用独立住宅	集合住宅	商業用地	工業用地	農林漁業施設	屋外利用地等	未利用地等	公園・運動場等	道路	鉄道・港湾等	畑	樹園地	水面・河川・水路	原野	森林	その他	合計
岡本一丁目	28216.6	95354.4	42034.4	5418.2	1591.5	0.0	9138.4	2577.1	12394.3	43096.4	0.0	6329.2	1652.2	1881.7	4282.2			253966.6
岡本三丁目	7694.0	90893.7	49257.2	4524.1	189.3	0.0	13945.8	7231.8	6160.9	40195.1	0.0	7626.2	7095.2		4150.8			238964.1
砧一丁目	1371.5	73059.0	57286.3	50209.8	12278.2	0.0	10672.6	11291.7	2740.8	45268.8	0.0	735.9	0.0	112.1	1306.5			266333.2
砧公園	19209.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12213.7	0.0	410073.2	73956.5	0.0	0.0	0.0					515452.9
玉川台二丁目	1428.7	50045.2	51762.1	23308.9	1142.2	0.0	7851.5	13080.4	2098.9	41326.3	0.0	2770.3	513.0	4433.0				199760.6
上用賀五丁目	20345.6	53795.3	40077.2	17107.4	3951.5	0.0	7064.1	4483.9	658.8	54092.0	0.0	10824.2	44.8					212444.8
上用賀六丁目	47483.0	55127.6	41779.9	14551.3	3533.8	0.0	13775.5	2248.1	1256.4	41997.4	0.0	11095.5	0.0					232848.4
瀬田五丁目	103.0	95264.4	28913.7	9290.2	655.4	1559.0	19917.9	2616.4	7415.1	48811.1	0.0	18921.8	0.0					233468.0
大蔵一丁目	72136.2	32376.9	28642.9	7987.6	2019.1	0.0	5230.8	2562.6	6556.6	41418.7	0.0	5172.8	0.0					204104.3
大蔵四丁目	2463.9	9783.2	1636.4	33860.9	905.8	0.0	9533.0	3601.4	103148.5	35262.4	0.0	450.5	0.0		2929.4	12.0		203587.4
大蔵二丁目	84420.3	7324.7	26956.0	808.1	0.0	0.0	9625.6	255.6	11278.6	11240.9	0.0	356.5	0.0					152266.3
合計	284872.2	563024.4	368346.1	167066.5	26266.8	1559.0	118969.0	49948.9	563782.3	476665.5	0.0	64283.1	9305.2	6426.8	12668.9	12.0	0.0	2713196.5
	10.5	20.8	13.6	6.2	1.0	0.1	4.4	1.8	20.8	17.6	0.0	2.4	0.3	0.2	0.5	0.0	0.0	100%

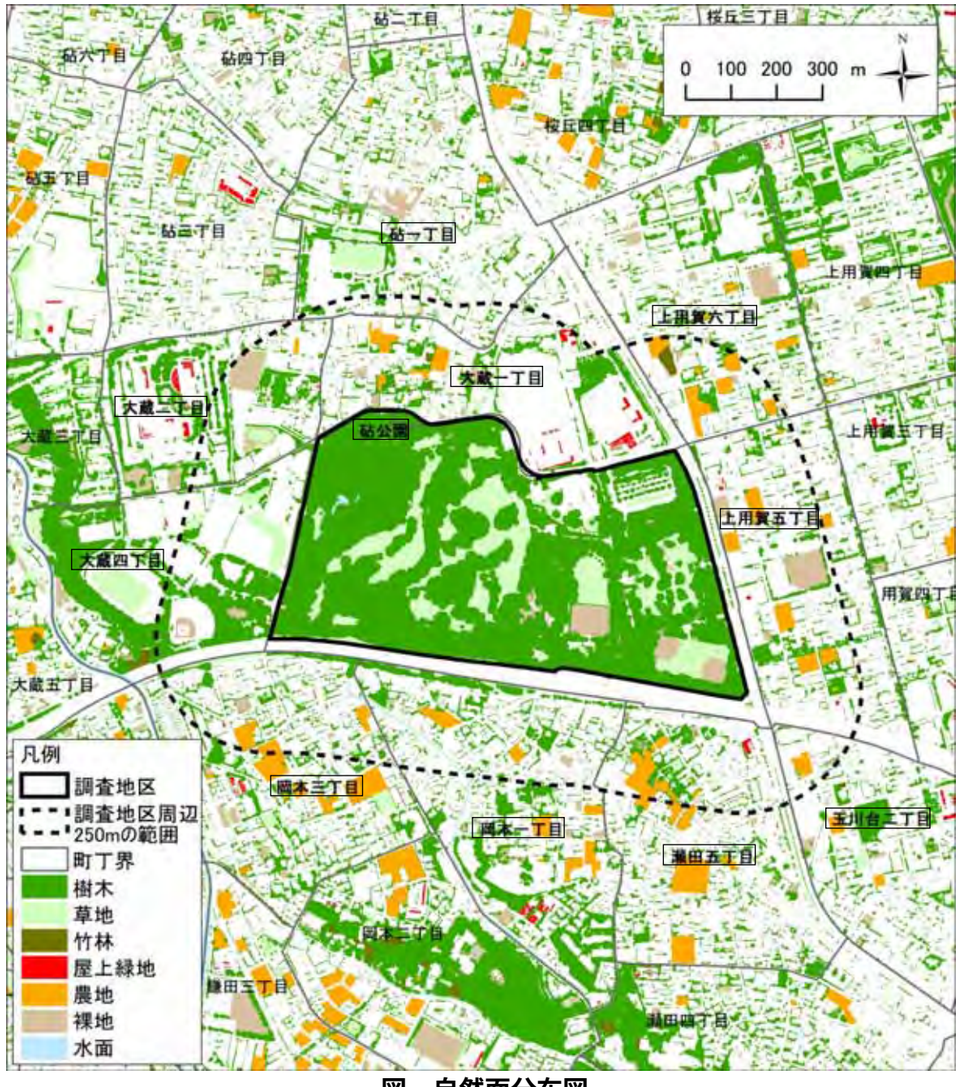


図　自然面分布図

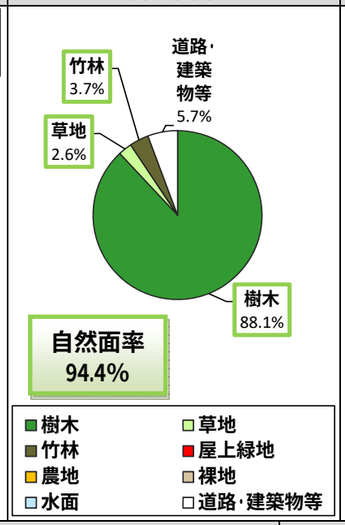
図　航空写真（平成 28 年撮影）

調査結果の概要

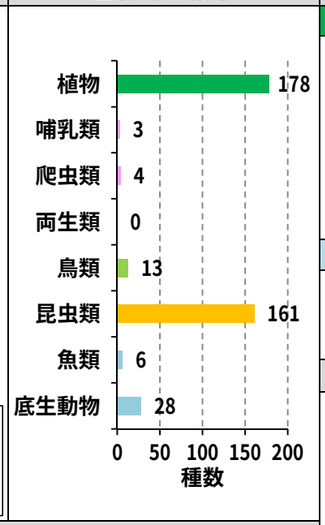
調査地区 2　等々力渓谷公園

調査地区の位置

自然面率



生物調査結果



生物の主な確認種※1（下線部：外来種）

植物	哺乳類	爬虫類	両生類	鳥類
高木層：ケヤキ、ムクノキ、シラカシ 亜高木層:コナラ、イヌシデ 低木層：ヤブツバキ、サカキ、ムラサキシキブ 草本層:ヤブラン、セキショウ、ナキリスゲ	アライグマ、ハクビシン	確認種全て重要種に該当するため非記載	*確認なし*	コゲラ、シジュウカラ、ウグイス、カルガモ

昆虫類

樹林：ナガサキアゲハ、アカボシゴマダラ
草地：クサヒバリ、ニホンミツバチ、オンブバッタ
地表：トビイロケアリ、トウキョウヒメハンミョウ
水辺：アオヒゲナガトビケラ、シオカラトンボ

魚類	底生動物
コイ、モツゴ、スミウキゴリ	貝類：カワニナ、ヒメモノアラガイ 環形動物：シマイシビル 甲殻類：フロリダマミズヨコエビ 水生昆虫：マメゲンゴロウ

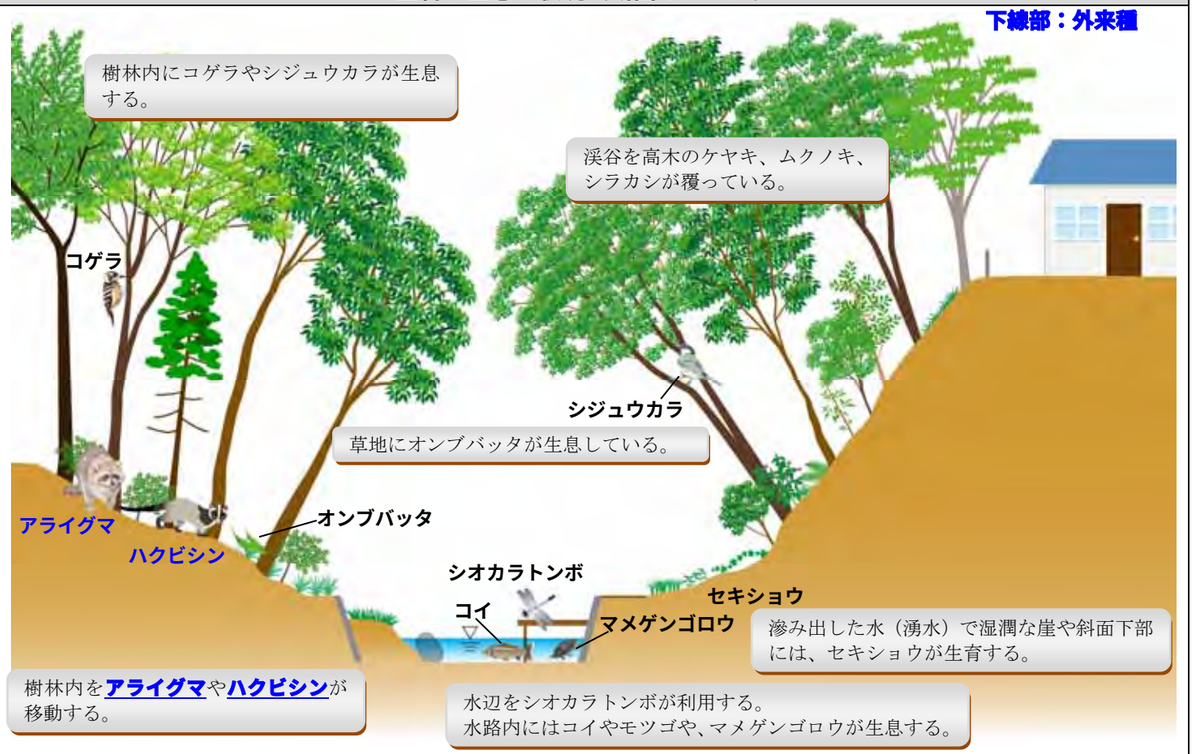
調査地区の環境

渓谷と周辺の高木林

斜面下部のセキショウ群落

水路内の様子

生物の生息の状況（断面イメージ）



航空写真

調査地区の特徴

- ムクノキ、ケヤキなどの落葉高木やシイ・カシなどの常緑高木が渓谷斜面を覆う。
- 湧水で湿潤な崖や斜面下部にセキショウが生育する。
- 高木に覆われ下草が少なく、河川には陽が殆ど届かない。
- 近隣の玉川野毛町公園や街路樹による緑の繋がりが若干見られる。
- 主に樹林や水辺に生息する種を確認した。

地域区分

みどりの連続性が高い地域

調査地区の環境要素

樹林　河川　湧水

生物種名は、重要種保護の観点から、重要種以外を記載している。
※1 主な確認種：確認種のうち、多くの個体数がみられた種や、調査地の環境を特徴づける種など

表　調査地区周辺 250m の範囲に含まれる町丁の土地利用状況

（生物の移動範囲を考慮し、調査地区周辺 250m の範囲の土地利用状況を示す。）

（㎡）

町丁名	公共用地	専用独立住宅	集合住宅	商業用地	工業用地	農林漁業施設	屋外利用地等	未利用地等	公園・運動場等	道路	鉄道・港湾等	畑	樹園地	水面・河川・水路	原野	森林	その他	合計
中町一丁目	804.5	77073.9	28980.1	6207.6	0.0	0.0	7174.5	1348.9	7231.3	28957.1	791.3	0.0	0.0		2356.5	512.6	1184.0	162622.3
中町二丁目	22387.3	95120.4	41237.4	10665.8	896.5	0.0	11632.5	1771.1	2409.6	47300.0	5626.4	14437.4	1070.2	884.3	2657.9	427.7	463.3	258987.9
等々力一丁目	13627.1	99616.3	41388.8	8477.1	501.8	0.0	5666.8	4496.6	18830.3	43173.3	0.0	2216.4	1664.5		2542.9			242201.8
等々力三丁目	21651.3	68853.8	32467.5	12333.5	997.1	0.0	9149.2	3679.2	3832.0	42788.5	3037.4	1635.8	0.0	96.0				200521.3
等々力四丁目	6213.4	44198.9	25133.8	11800.0	5301.7	0.0	4694.6	3275.5	3972.4	28271.6	4391.2	3569.2	0.0					140822.3
等々力二丁目	3533.6	83926.6	42141.7	23502.5	1098.5	0.0	8442.0	4915.2	6899.1	61371.1	451.3	0.0	0.0	633.4	1731.2	1029.5		239675.6
野毛一丁目	4959.3	65744.3	53644.7	7444.5	982.9	0.0	3551.7	5093.7	45899.9	27677.9	0.0	684.1	0.0	5838.5	6007.8	9332.6	44.4	236906.4
合計	73176.5	534534.2	264994.1	80430.9	9778.4	0.0	50311.3	24580.2	89074.5	279539.5	14297.6	22542.9	2734.7	7452.2	15296.4	11302.4	1691.7	1481737.6
	4.9	36.1	17.9	5.4	0.7	0.0	3.4	1.7	6.0	18.9	1.0	1.5	0.2	0.5	1.0	0.8	0.1	100%

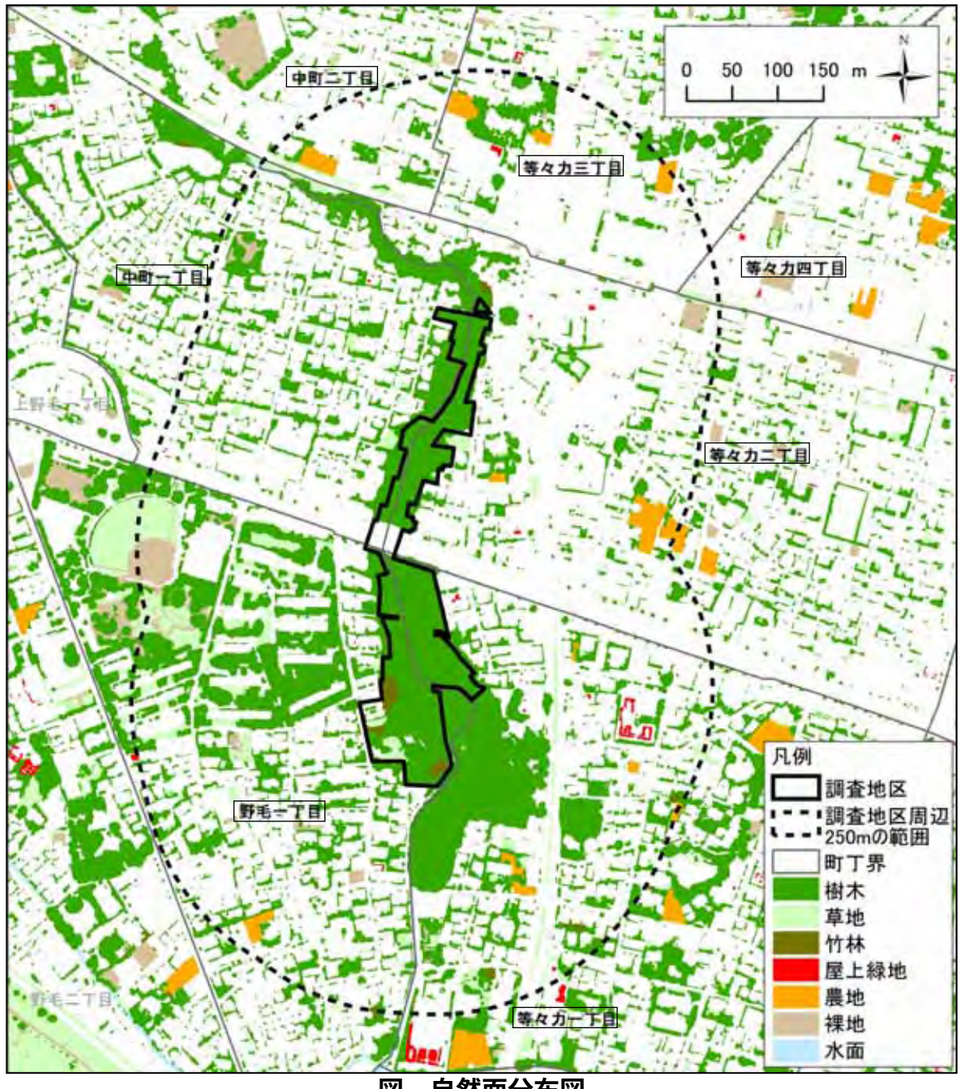


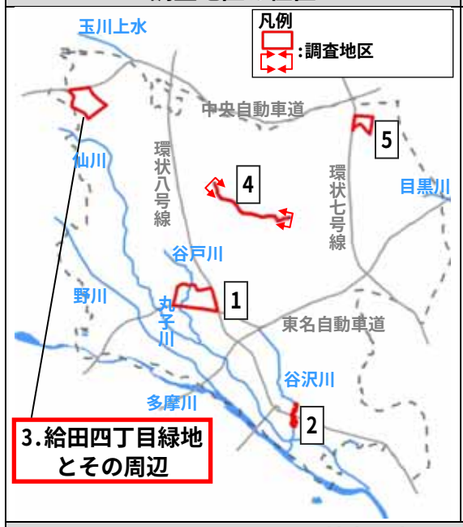
図　自然面分布図

図　航空写真（平成 28 年撮影）

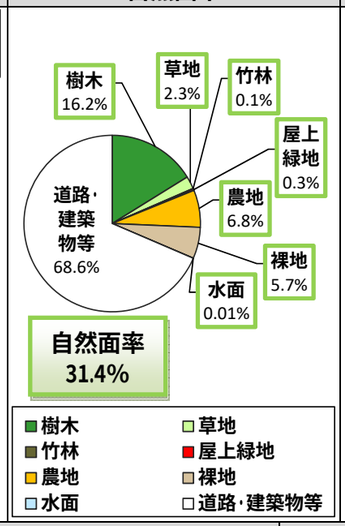
調査結果の概要

調査地区 3　給田四丁目緑地とその周辺

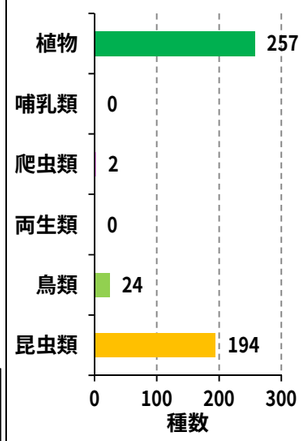
調査地区の位置



自然面率



生物調査結果



生物の主な確認種※1（下線部：外来種）

植物	哺乳類	爬虫類	両生類	鳥類
高木層：ケヤキ、シラカシ、クスノキ 亜高木層:イロハモミジ、モウソウチク、ハルニレ 低木層：キンモクセイ、ヒイラギ、オオムラサキ 草本層:メヒシバ、シマスズメノヒエ、**オオキンケイギク**	*確認なし*	確認種全て重要種に該当するため非記載	*確認なし*	コゲラ、シジュウカラ、メジロ、アオジ、スズメ、ドバト、ムクドリ

昆虫類

樹林：ムラサキシジミ、アブラゼミ、**アカボシゴマダラ**
草地：マルカメムシ、ショウリョウバッタ、ナミテントウ、ウラナミシジミ
地表：トビイロシロアリ、セアカヒラタゴミムシ、エンマコオロギ、コカマキリ

調査地区の環境

屋敷林

公園の草地と植栽

農地

航空写真

調査地区の特徴

- 住宅が密集するが、屋敷林や集合住宅地周辺に樹林が点在する。また、公園内や学校構内の草地が点在する。
- 屋敷林は階層構造が豊かで、ケヤキやクスノキの高木のほか、低木層にササ類が繁茂し藪を形成している。
- 住宅地に隣接して、農地が点在しており、開けた環境が点在する。
- 樹林性や草地性の種が主に確認された。また、開けた環境を利用する種も確認された。

地域区分

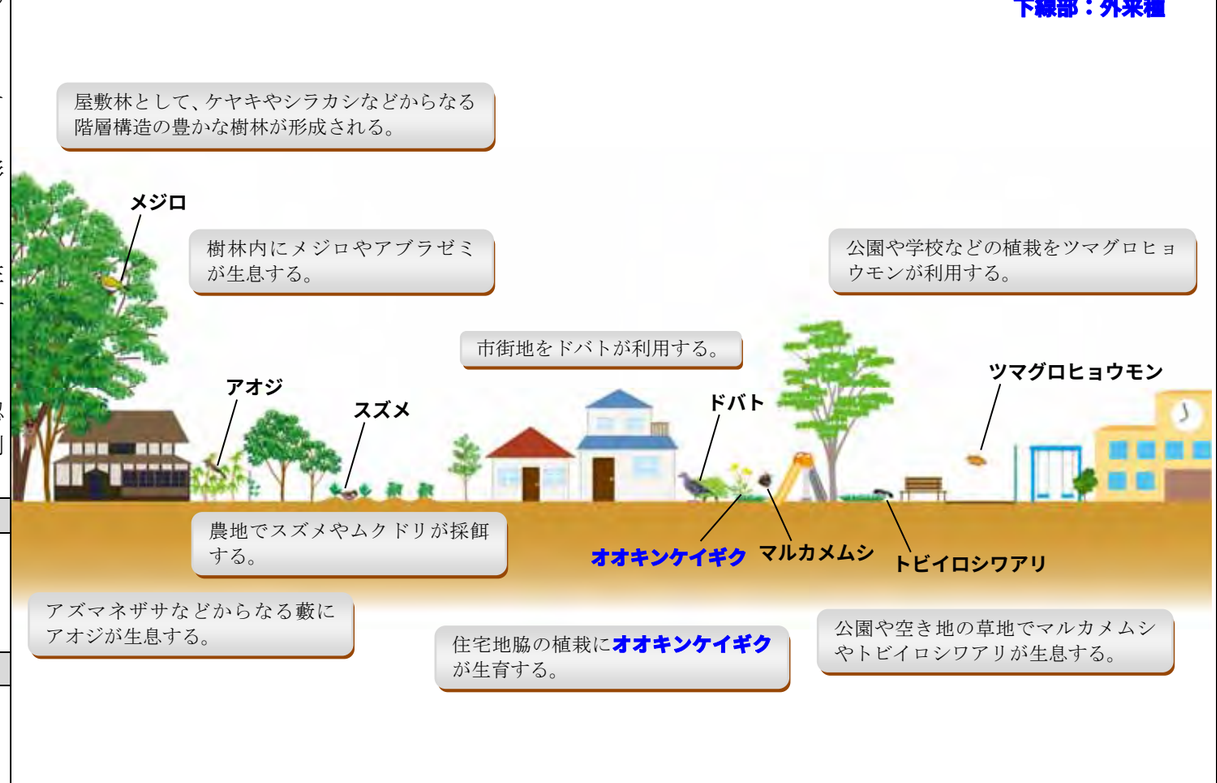
住宅地の中に
中・小規模緑地が
点在する地域

調査地区の環境要素

樹林　草地　住宅地　農地

生物の生息の状況（断面イメージ）

下線部：外来種



生物種名は、重要種保護の観点から、重要種以外を記載している。
※1 主な確認種：確認種のうち、多くの個体数がみられた種や、調査地の環境を特徴づける種など

表　調査地区周辺 250m の範囲に含まれる町丁の土地利用状況

（生物の移動範囲を考慮し、調査地区周辺 250m の範囲の土地利用状況を示す。）

（㎡）

町丁名	公共用地	専用独立住宅	集合住宅	商業用地	工業用地	農林漁業施設	屋外利用地等	未利用地等	公園・運動場等	道路	鉄道・港湾等	畑	樹園地	水面・河川・水路	原野	森林	その他	合計
給田五丁目	8141.6	18843.1	35800.3	16974.6	3983.7	0.0	7738.6	5584.8	3911.5	21831.7	0.0	1735.7	0.0				845.0	125390.6
給田三丁目	3500.3	55893.3	57451.2	17564.2	7112.6	0.0	14011.7	3381.0	1636.5	32459.5	9150.5	7044.0	0.0		2548.0		111.2	211864.1
給田四丁目	14728.2	62305.9	50173.0	10716.8	3152.0	0.0	10574.9	2005.6	7950.1	42996.6	0.0	4303.8	0.0				192.7	209099.6
南鳥山六丁目	7950.5	30453.0	84403.4	37728.6	3554.2	327.8	7674.3	849.2	3132.5	35831.9	3164.7	271.0	0.0					215341.2
北鳥山九丁目	40542.6	53699.6	39198.7	7423.8	7814.1	0.0	6459.8	6564.7	3058.7	35513.0	0.0	25257.1	0.0				2018.3	227550.2
北鳥山五丁目	46629.0	28450.1	20651.9	6549.5	2850.2	0.0	5793.9	2742.0	28953.2	30929.5	0.0	1259.4	0.0				330.9	175139.6
北鳥山七丁目	6537.7	59915.8	56697.6	17672.3	919.7	0.0	7095.5	4033.8	1527.6	37403.5	0.0	20302.5	0.0	30435.4			198.4	242739.8
北鳥山八丁目	38892.3	41096.0	44887.7	10622.8	598.4	0.0	4945.1	7884.9	4281.0	38623.7	0.0	16440.1	0.0				677.9	208949.8
北鳥山六丁目	30740.9	72864.2	52500.6	9587.2	504.9	0.0	9120.5	1098.0	7240.4	39992.2	0.0	11897.0	201.1				310.5	236057.3
合計	197663.0	423521.1	441764.4	134839.6	30489.8	327.8	73414.3	34144.1	61691.6	315581.5	12315.2	88510.6	201.1	30435.4	2548.0	0.0	4684.7	1852132.2
	10.7	22.9	23.9	7.3	1.6	0.0	4.0	1.8	3.3	17.0	0.7	4.8	0.0	1.6	0.1	0.0	0.3	100%

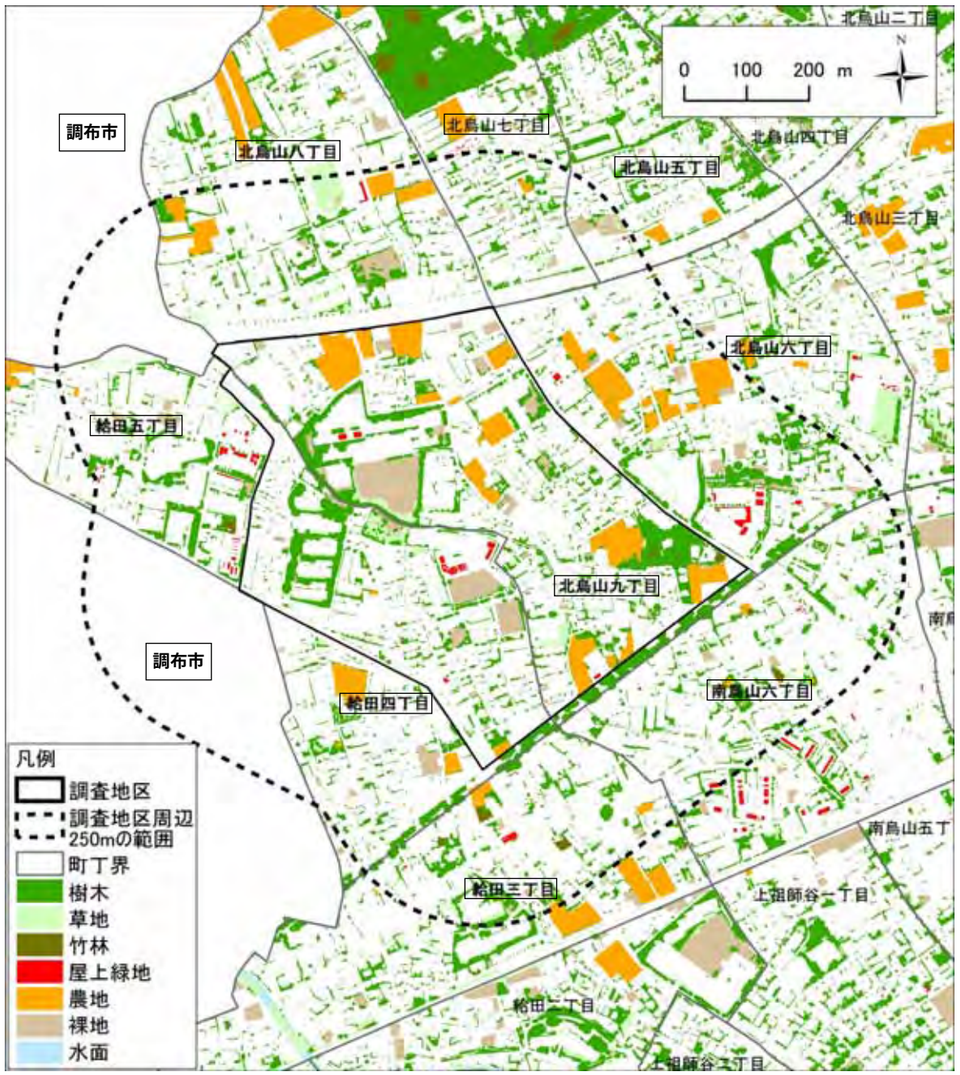


図　自然面分布図

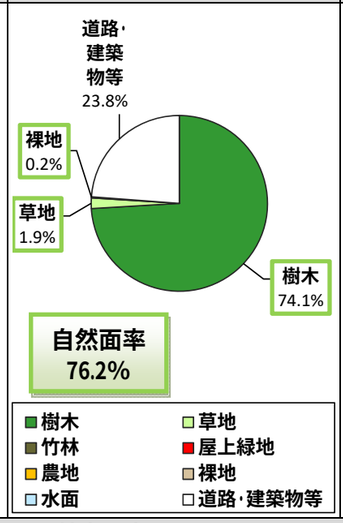
図　航空写真（平成 28 年撮影）

調査結果の概要

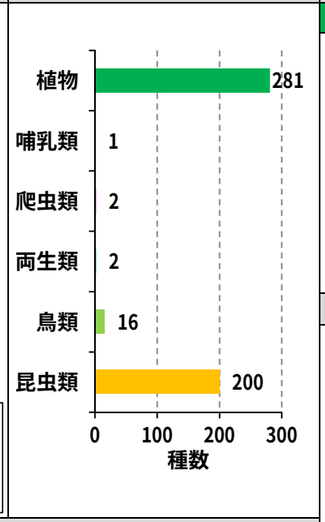
調査地区 4　烏山川緑道

調査地区の位置

自然面率



生物調査結果



航空写真

生物の主な確認種※1（下線部：外来種）

植物	哺乳類	爬虫類	両生類	鳥類
高木層：ケヤキ、クスノキ、ムクノキ 亜高木層：ソメイヨシノ、シラカシ 低木層：イロハモミジ、ヤブツバキ、ヒサカキ 草本層：メヒシバ、ヌカキビ、ナキリスゲ、カヤツリグサ、**オオキンケイギク**	アブラコウモリ	確認種全て重要種に該当するため非記載	確認種全て重要種に該当するため非記載	ヒヨドリ、メジロ、アトリ、ドバト、ハシブトガラス、ムクドリ、スズメ

昆虫類

樹林：ナミアゲハ、**アカボシゴマダラ**、アブラゼミ、ハラビロカミキリ
草地：クビキリギス、ショウリョウバッタ、マルカメムシ、モンキチョウ、ホソヘリカメムシ
地表：アメイロアリ、キアシハサミムシ、アミメアリ、ミツカドコオロギ、マダラスズ、イボバッタ

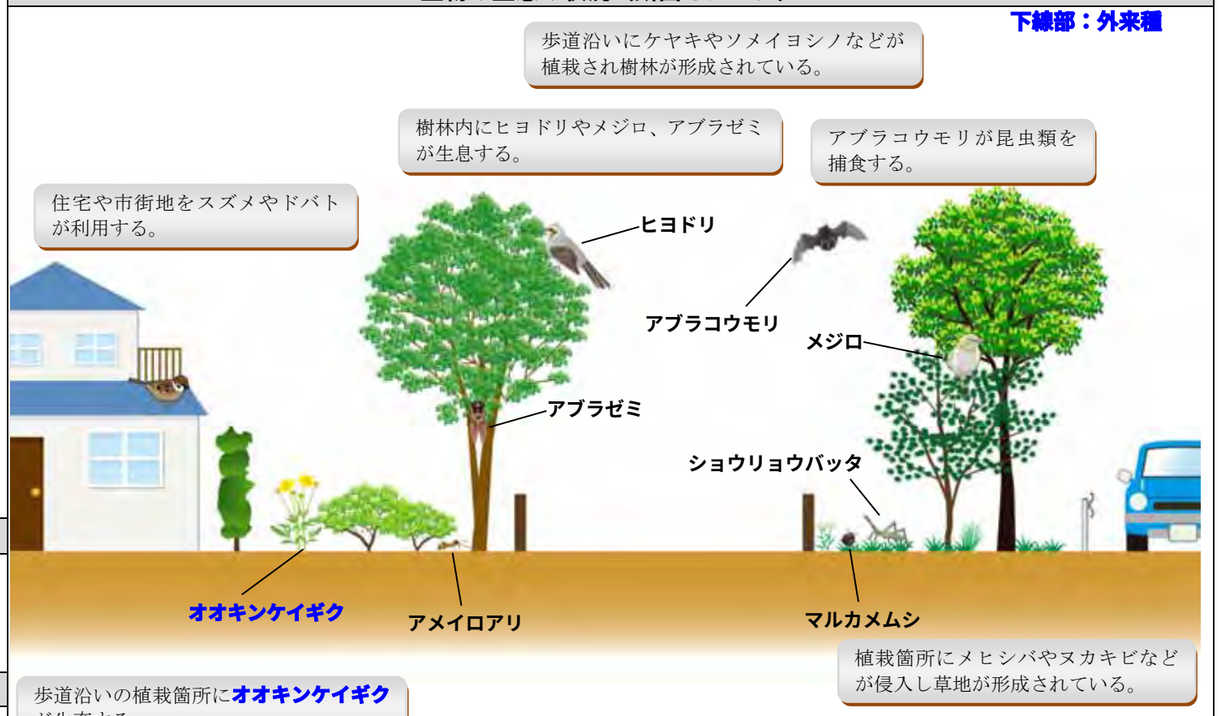
調査地区の環境

緑道

植栽木下に自然侵入した草本類

緑道に隣接する市街地

生物の生息の状況（断面イメージ）



調査地区の特徴

- 住宅や商業施設が密集するなかに位置しており、地域住民の通勤・通学・散歩などの生活道路として利用される。
- 緑道沿いにケヤキやクスノキなどの高木の並木と、ヒサカキなどの低木が植栽され、連続したみどりとなっている。緑道脇は市街地となっており、林内は明るい環境となっている。
- 主に草地や樹林、市街地に生息する種を確認した。

地域区分

住宅地の中に
中・小規模緑地が
点在する地域

調査地区の環境要素

樹林　草地　住宅地

生物種名は、重要種保護の観点から、重要種以外を記載している。
※1 主な確認種：確認種のうち、多くの個体数がみられた種や、調査地の環境を特徴づける種など

表　調査地区周辺 250m の範囲に含まれる町丁の土地利用状況

（生物の移動範囲を考慮し、調査地区周辺 250m の範囲の土地利用状況を示す。）

（㎡）

町丁名	公共用地	専用独立住宅	集合住宅	商業用地	工業用地	農林漁業施設	屋外利用地等	未利用地等	公園・運動場等	道路	鉄道・港湾等	畑	樹園地	水面・河川・水路	原野	森林	その他	合計
宮坂一丁目	38688.0	102954.4	51245.4	7233.8	1051.0	0.0	7520.8	4920.8	4602.8	46521.6	744.5	2468.5	0.0					267951.6
経堂一丁目	11415.3	62259.7	53534.3	31448.8	938.9	0.0	10733.8	2220.5	4090.2	36016.6	588.9	341.8	0.0					213588.8
経堂五丁目	1347.6	69068.6	69767.9	20101.9	2850.1	0.0	6939.7	3820.9	5743.0	39131.0	0.0	0.0	0.0	1852.2				220623.0
経堂三丁目	7986.8	72973.6	41271.0	4549.1	389.8	0.0	2707.9	3537.2	6335.5	26291.0	6705.7	0.0	0.0					172747.6
経堂四丁目	2598.1	72283.5	57190.2	9370.8	1370.9	0.0	8560.5	10641.5	3346.8	46782.0	11992.7	0.0	0.0					224137.0
経堂二丁目	2463.7	63269.5	31926.2	24436.4	227.8	0.0	5707.4	2441.3	0.0	24259.4	9690.2	423.8	0.0					164845.7
豪徳寺二丁目	35304.0	80908.2	24882.7	3260.8	554.6	0.0	2629.0	7109.5	24104.3	27911.0	3465.6	0.0	0.0	5913.0				216042.8
桜一丁目	25882.7	93348.1	59549.0	4572.9	1098.7	0.0	3467.5	7108.1	7205.2	36901.8	3523.6	0.0	0.0					242657.7
桜二丁目	9410.3	59716.4	44867.8	4199.9	532.1	0.0	8334.6	2066.2	7559.2	20994.0	0.0	1689.1	0.0					159369.6
船橋一丁目	5581.8	95067.1	75122.6	25265.2	3102.1	0.0	5934.3	1904.5	1958.4	37378.1	852.4	1535.0	0.0					253701.5
船橋五丁目	23830.9	57150.5	65387.5	7532.2	2358.1	0.0	9340.1	2567.7	4418.8	41692.3	0.0	0.0	0.0					214278.2
船橋三丁目	28347.0	49146.7	55973.3	1567.1	119.3	0.0	6835.2	407.6	4283.2	23393.3	0.0	1516.2	0.0					171588.9
船橋四丁目	44997.2	66189.8	38954.3	10976.3	2876.7	0.0	8034.9	2338.8	3910.2	33112.4	0.0	3588.0	0.0	368.9				215347.5
船橋六丁目	3470.1	20131.9	23851.1	32031.8	6179.6	0.0	5227.3	10996.0	8804.4	29670.9	0.0	0.0	0.0					140363.0
合計	241323.3	964468.0	693523.4	186547.0	23649.9	0.0	91973.0	62080.3	86362.2	470055.6	37563.7	11562.4	0.0	8134.1	0.0	0.0	0.0	2877242.8
	8.4	33.5	24.1	6.5	0.8	0.0	3.2	2.2	3.0	16.3	1.3	0.4	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	100%

図　自然面分布図

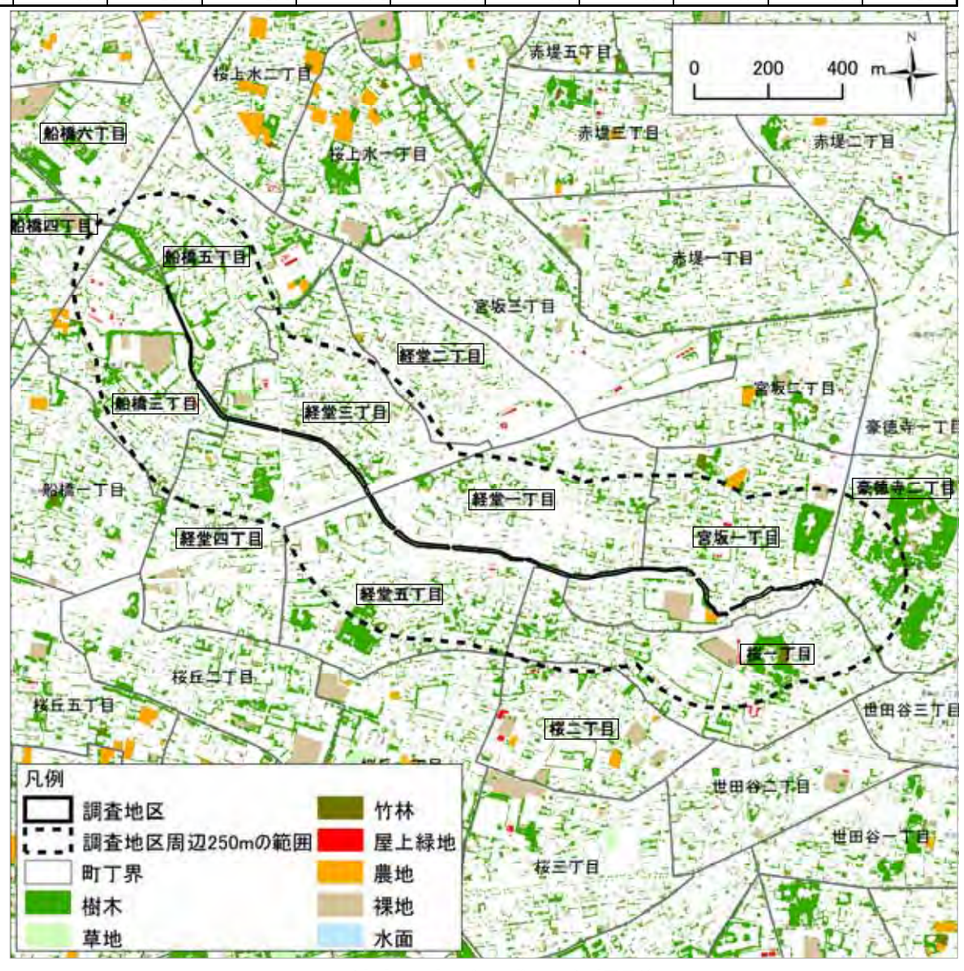
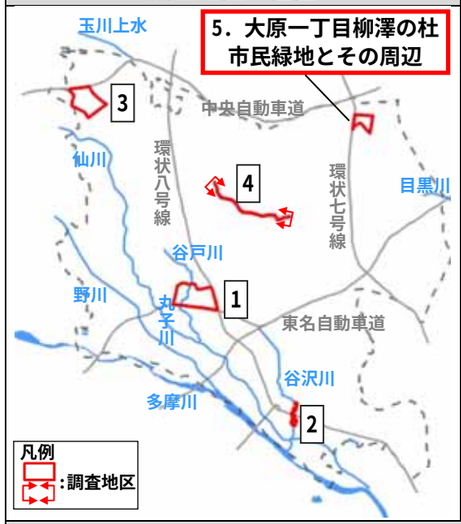


図　航空写真（平成 28 年撮影）

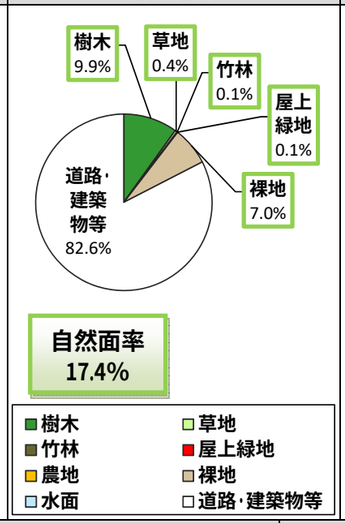
調査結果の概要

調査地区 5　大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺

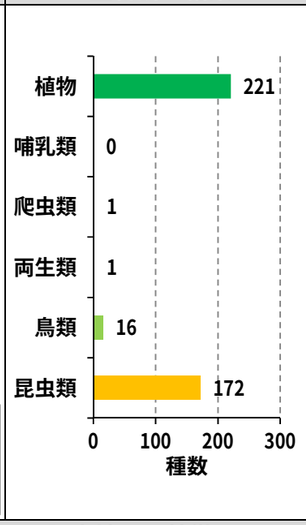
調査地区の位置



自然面率



生物調査結果



生物の主な確認種※1（下線部：外来種）

植物	哺乳類	爬虫類	両生類	鳥類
高木層：ケヤキ、ムクノキ 亜高木層:イチョウ、スダジイ、クスノキ、オオシマザクラ 低木層：ヒサカキ、ヤマモミジ、ドウダンツツジ、トウネズミモチ 草本層:メヒシバ、コメヒシバ、アキノエノコログサ	*確認なし*	確認種全て重要種に該当するため非記載	確認種全て重要種に該当するため非記載	シジュウカラ、メジロ、スズメ、ドバト、ムクドリ、ハシブトガラス

昆虫類

樹林：アオスジアゲハ、クロアゲハ、**アカボシゴマダラ**、カネタタキ
草地：ヤマトシジミ、ツマグロヒョウモン、オンブバッタ、ナミテントウ、モンシロチョウ
地表：クロヤマアリ、マルガタゴミムシ、トウキョウヒメハンミョウ、アメイロアリ、ミツカドコオロギ

調査地区の環境

柳澤の杜市民緑地

住宅地

公園

航空写真

調査地区の特徴

- 市街化が進み、住宅が密集している。
- 柳澤の杜市民緑地や、公園、住宅の庭先の植栽など、住宅に隣接して小規模な樹林が点在している。
- 周辺も市街化が進み、調査地区と同様の環境となっており、連続したみどりはみられない。
- 主に草地や市街地に生息する種を確認した。
- 住宅の植栽など、小規模な樹林を利用する種もみられた。

地域区分

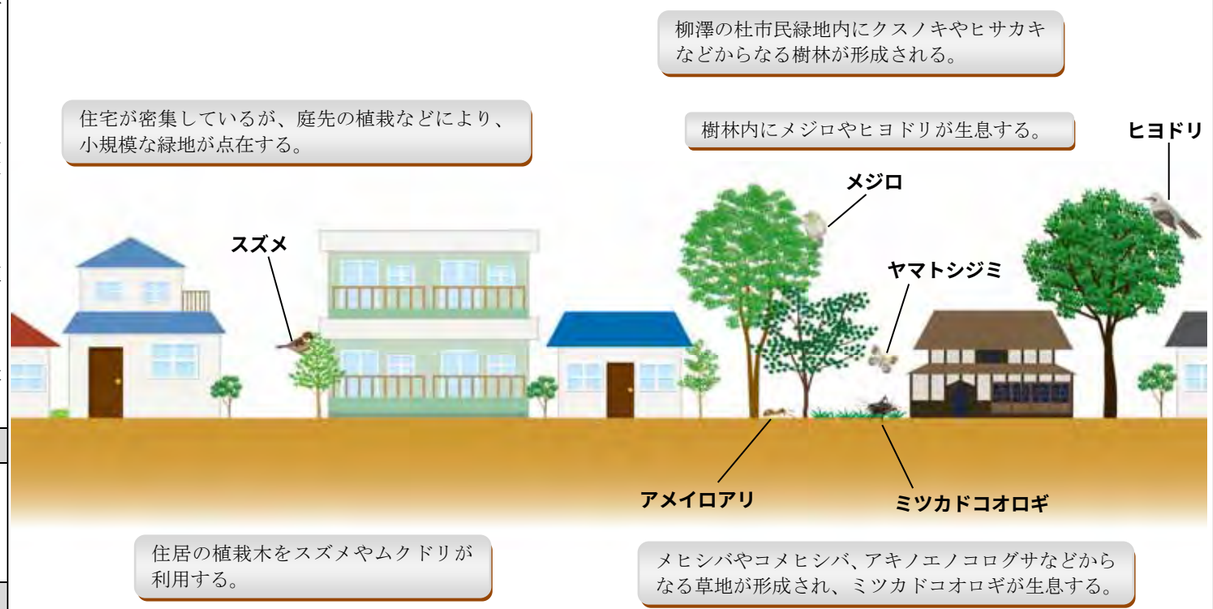
市街化が進み
比較的みどりが少ない地域

調査地区の環境要素

樹林　草地　住宅地

生物の生息の状況（断面イメージ）

下線部：外来種



生物種名は、重要種保護の観点から、重要種以外を記載している。
※1 主な確認種：確認種のうち、多くの個体数がみられた種や、調査地の環境を特徴づける種など

表　調査地区周辺 250m の範囲に含まれる町丁の土地利用状況

（生物の移動範囲を考慮し、調査地区周辺 250m の範囲の土地利用状況を示す。）

（㎡）

町丁名	公共用地	専用独立住宅	集合住宅	商業用地	工業用地	農林漁業施設	屋外利用地等	未利用地等	公園・運動場等	道路	鉄道・港湾等	畑	樹園地	水面・河川・水路	原野	森林	その他	合計
羽根木一丁目	2965.4	65658.4	31779.2	14536.8	429.8	0.0	3396.0	654.2	447.7	35604.1	4378.7	597.8	0.0				40.8	160488.7
羽根木二丁目	1278.1	86336.3	42955.3	5456.2	775.6	0.0	3538.1	2707.5	757.3	26013.2	0.0	68.4	0.0				65.0	169950.8
代田六丁目	16126.7	83891.1	53138.5	7323.4	666.8	0.0	4741.3	744.0	511.6	28826.2	46.9	0.0	0.0			152.9	145.1	196314.2
大原一丁目	2703.0	85275.2	73495.5	8116.6	1053.6	0.0	5817.0	10469.4	5546.9	46471.3	535.0	0.0	0.0					239483.6
大原二丁目	53076.2	24875.5	30195.8	15837.3	3037.4	0.0	2934.5	2149.6	5390.1	36335.8	3567.3	0.0	0.0		505.2		360.2	178264.8
北沢五丁目	20306.7	74317.7	46689.1	6097.5	831.0	0.0	5523.2	2389.2	5176.3	41226.9	0.0	0.0	0.0					202557.6
北沢三丁目	1826.8	50362.8	39227.4	16899.6	6741.3	0.0	3037.4	10248.8	4738.5	24866.5	0.0	0.0	0.0					157949.0
北沢四丁目	7946.0	83918.2	44513.9	3852.6	231.7	0.0	1664.8	4488.2	3495.0	30872.9	0.0	0.0	0.0					180983.2
北沢二丁目	7112.0	18022.8	22757.9	78099.2	4515.6	0.0	4392.5	13979.8	0.0	30915.1	5722.3	0.0	0.0					185517.3
合計	113340.9	572657.9	384752.7	156219.1	18282.7	0.0	35044.9	47830.6	26063.3	301131.9	14250.2	666.1	0.0	0.0	505.2	152.9	611.0	1671509.2
	6.8	34.3	23.0	9.3	1.1	0.0	2.1	2.9	1.6	18.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100%

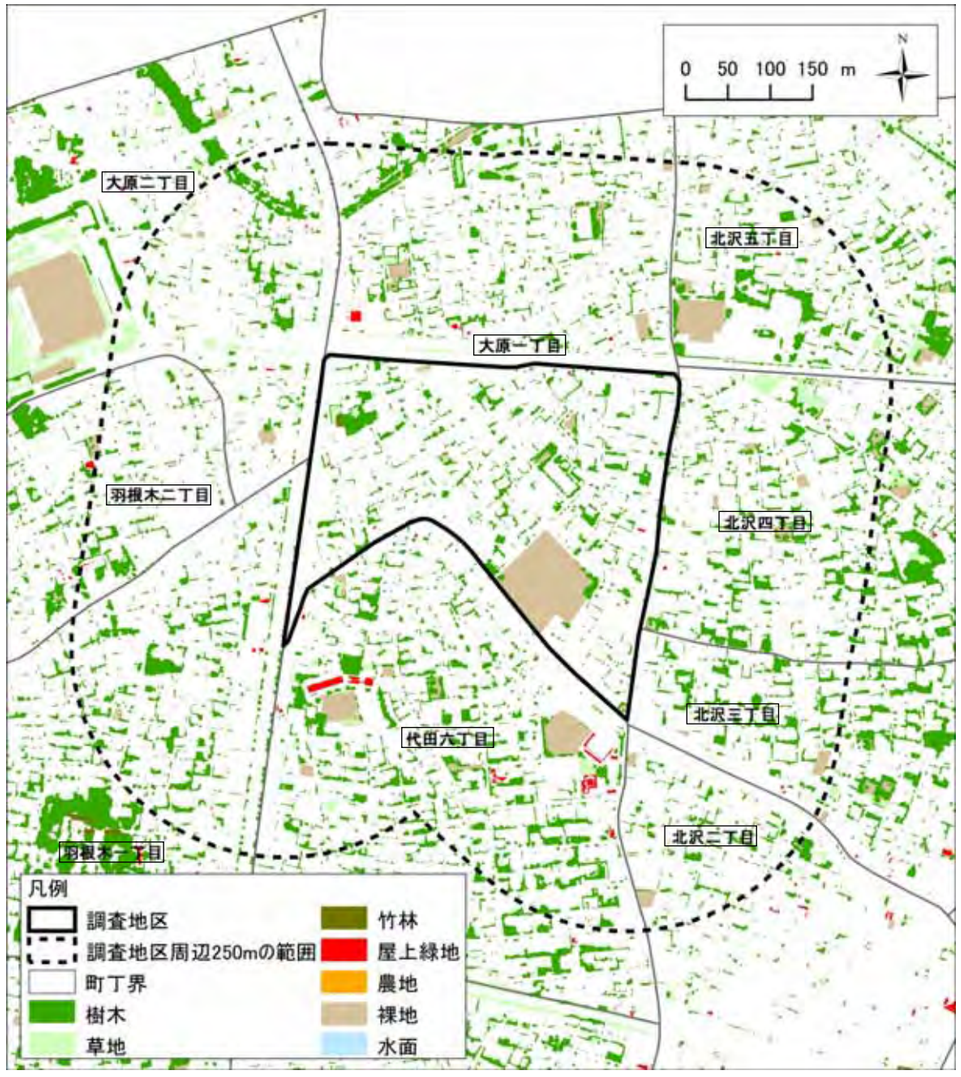


図　自然面分布図

図　航空写真（平成 28 年撮影）

4-3. 各調査項目の調査結果

（1）植物調査

① 調査地区全体の確認状況

現地調査の結果、全 118 科 480 種の植物が確認された（表 4-4）。

確認種の在来種と外来種の割合としては、在来種が 448 種（93%）、外来種が 32 種（7%）であった（図 4-1）。

また、確認種のうち、「自生（栽培によらないで自然に生育している植物）」、「植栽（観賞などの目的で人為的に植えられた植物）」、「逸出（植栽された後に自力で野生化し、生育範囲を広げている植物）」、「植栽および逸出（植栽と逸出の両方が確認された植物）」の割合をみると、自生が 303 種（63%）、植栽が 109 種（23%）、逸出が 41 種（8%）、植栽および逸出が 27 種（6%）であった（図 4-2）。

表 4-4　調査地区全体の確認状況（植物）

区分				科数	種数
シダ植物				12	29
種子植物	裸子植物			8	17
	被子植物	双子葉植物	離弁花類	67	244
			合弁花類	20	98
		単子葉植物		11	92
合計				118 科	480 種

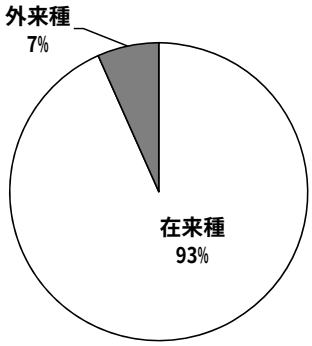


図 4-1　在来種と外来種の割合

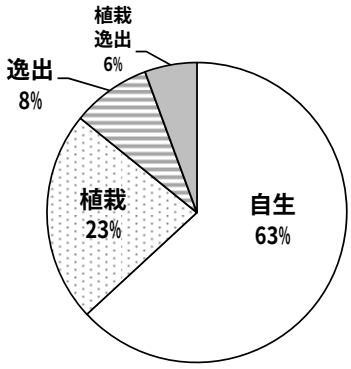


図 4-2　自生・植栽・逸出の割合

② 調査地区別の確認状況

調査地区別の確認状況は、表 4-5 に示すとおりであった。

表 4-5　調査地区別の確認状況（植物）

調査地区番号	地域区分[注)]	行政区域	調査地区名	確認種数	主な確認種・確認状況
1	①みどりの連続性が高い地域	砧	都立砧公園	238 種	・落葉高木(サクラ類やケヤキなど)、常緑高木(シイ・カシなど)、低木(ツツジ類など)がみられ、サンクチュアリでは階層構造が発達している。 ・谷戸川沿いの河岸は樹木が川に張り出し、樹林帯を形成する。
2		玉川	等々力渓谷公園	178 種	・ムクノキ、ケヤキなどの落葉高木やシイ・カシなどの常緑高木が渓谷斜面を覆う。 ・河川沿いの湿潤な環境にはセキショウがまとまって生育する。
3	②住宅地の中に中・小規模緑地が点在する地域	烏山	給田四丁目緑地とその周辺	257 種	・住宅が密集するが、市民緑地や学校構内、そして集合住宅周辺等に小規模な樹林が点在する。 ・基幹公園（ぽけっと、街区、近隣地区、運動公園）や学校構内のグラウンド等に草地が見られ、住宅地内に耕作地が点在する。
4		世田谷	烏山川緑道	281 種	・緑道沿いは落葉高木や常緑高木の並木、植栽低木により緑が繋がれており、一部で花壇が整備されている。
5	③市街化が進み比較的みどりが少ない地域	北沢	大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺	221 種	・全体として住宅が大半であるが、小規模な樹林が市民緑地や学校構内に存在する。

注）地域区分は、平成 28 年度策定「生きものつながる世田谷プラン」による。

③ 重要種の確認状況

重要種として、表 4-6 に示す 8 科 9 種が確認された。ただし、このうち 7 種は植栽個体と考えられ、自生の重要種はアスカイノデとハンノキの 2 種と考えられた。

重要種の確認状況を表 4-7 に示す。

表 4-6　重要種の選定結果（植物）

No.	科名	種名	調査地区※1					重要種					備考
			1	2	3	4	5	①	②	③	④	⑤	
1	オシダ	アスカイノデ	重要種保護の観点から、確認地区は非記載とした。								VU		
2	カバノキ	ハンノキ									VU		
3	マンサク	トサミズキ								NT			植栽
4	バラ	シロヤマブキ								EN			植栽
5	アカネ	ハクチョウゲ								EN			植栽
6	キキョウ	キキョウ								VU	EX		植栽
7	アヤメ	アヤメ									EX		植栽
8	ラン	シラン								NT			植栽
9		エビネ								NT	VU		植栽
計	8 科	9 種						0 種	0 種	6 種	5 種	0 種	

※1：1 都立砧公園、2 等々力渓谷公園、3 給田四丁目緑地とその周辺、4 烏山川緑道、5 大原一丁目柳澤の杜市民緑地
注 1：分類、配列等は、原則として「植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。
注 2：重要種選定基準
①「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 30 日公布、同日施行）に基づく天然記念物・特別天然記念物
②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 6 月 5 日公布、平成 5 年 4 月 1 日施行）における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
③「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト 2015 の公表について」（平成 27 年、環境省）における選定種
EX：絶滅，EW：野生絶滅，CR：絶滅危惧 IA 類，EN：絶滅危惧 IB 類，CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類，VU：絶滅危惧Ⅱ類，NT：準絶滅危惧，DD：情報不足，LP：絶滅のおそれのある地域個体群
④「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）における選定種
EX：絶滅，EW：野生絶滅，CR：絶滅危惧 IA 類，EN：絶滅危惧 IB 類，CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類，VU：絶滅危惧Ⅱ類，NT：準絶滅危惧，DD：情報不足，留：留意種，・：非分布
⑤その他学術上重要な種(有識者による指摘種等)

表 4-7(1)　重要種の確認状況（植物）

種名	生態情報
アスカイノデ（オシダ科） （平成 28 年 7 月 20 日）	本州、四国、九州に分布する。常緑性シダで根茎は短く、塊状となり、葉を叢生する。太平洋沿岸地の林床にしばしば群生するほか、内陸部にも生育する。海岸近くの常緑樹林、段丘林、丘陵地の谷戸、低山地など陰湿な林に多い。山林の改変などによる生育環境の改変が本種の生存を脅かす主な要因である。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：－	東京都 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

表 4-7(2)　重要種の確認状況（植物）

<table>
<tr><th>種名</th><th>生態情報</th></tr>
<tr><td>ハンノキ（カバノキ科）

（平成 28 年 5 月 13 日）</td><td>全国に分布する。落葉高木で高さ 15～20m となる。低地の河川湿地から丘陵地の谷戸、山地の湿原などに生育する。
開発による湿地の消失や河川の整備などが本種の生存を脅かす主な要因である。
出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）
確認状況
重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。</td></tr>
<tr><th colspan="2">指定状況</th></tr>
<tr><td>環境省 RL：－</td><td>東京都 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU）</td></tr>
<tr><th>種名</th><th>生態情報</th></tr>
<tr><td>トサミズキ（マンサク科）

（平成 28 年 10 月 24 日）</td><td>都道府県別では四国（高知県）に自生する。落葉低木で樹高は 2～4m になる。葉は左右不動の倒卵形で、長さ 5～10cm、幅は 4～9cm になる。花期は 3～4 月である。高知県の丘陵帯の蛇紋岩地帯や石灰岩地帯に自生する。
出典：「葉で分かる樹木」（平成 21 年、信濃毎日新聞社）
確認状況
重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。</td></tr>
<tr><th colspan="2">指定状況</th></tr>
<tr><td>環境省 RL：準絶滅危惧（NT）</td><td>東京都 RDB：－</td></tr>
</table>

表 4-7(3)　重要種の確認状況（植物）

種名	生態情報
シロヤマブキ（バラ科） （平成 28 年 7 月 19 日）	都道府県別では、島根県、岡山県、広島県、香川県で確認される。落葉小低木で高さ 2m 程になる。葉は卵型、長さ 5～10cm で鋭い重鋸歯がある。花は 4～5 月に咲き、白色。果皮は膜質、黒色で光沢があり無毛。園芸用の採取、植生の遷移が減少の主要因とされる。 出典：「レッドデータブック 2014」―日本の絶滅のおそれのある野生生物―8　―植物Ⅰ―(平成 27 年、環境省) **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：絶滅危惧 IB 類（EN）	東京都 RDB：-
種名	**生態情報**
ハクチョウゲ（アカネ科） （平成 28 年 10 月 26 日）	都道府県別では、長崎で確認されている。常緑小低木で高さ 0.5～1.0m 程になる。葉は革質、長楕円形または倒被針形、長さ 5～20mm、両面ともに無毛である。花は短枝の先に 1～2 個つく。花冠は白色で淡紅紫色を帯びることがある。 出典：「レッドデータブック 2014」―日本の絶滅のおそれのある野生生物―8　―植物Ⅰ―(平成 27 年、環境省) **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：絶滅危惧 IB 類（EN）	東京都 RDB：-

表 4-7(4)　重要種の確認状況（植物）

<table>
<tr><th>種名</th><th>生態情報</th></tr>
<tr><td>キキョウ（キキョウ科）

（平成 28 年 5 月 13 日）</td><td>全国に分布する。多年草で茎は高さ 50～100cm となる。花期は 7～8 月で、青紫色の花をつけることが多い。山地の二次林内のやや湿った所に生育する。区部において、自生個体は絶滅したとされる。
出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）
確認状況
重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。</td></tr>
<tr><th colspan="2">指定状況</th></tr>
<tr><td>環境省 RL：絶滅危惧Ⅱ類（VU）</td><td>東京都 RDB：絶滅（EX）</td></tr>
<tr><th>種名</th><th>生態情報</th></tr>
<tr><td>アヤメ（アヤメ科）

（平成 28 年 5 月 13 日）</td><td>全国に分布する。多年草で花茎は 30～60cm となる。花期は 5～7 月で、紫色の花をつける。山地の日当たりの良い草地に生育する。栽培される機会が多い。区部において、自生個体は絶滅したとされる。
出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）
確認状況
重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。</td></tr>
<tr><th colspan="2">指定状況</th></tr>
<tr><td>環境省 RL：-</td><td>東京都 RDB：絶滅（EX）</td></tr>
</table>

表 4-7(5)　重要種の確認状況（植物）

<table>
<tr><th>種名</th><th>生態情報</th></tr>
<tr><td>シラン（ラン科）

（平成 28 年 5 月 13 日）</td><td>全国に分布する。多年草で茎は 30～70cm となる。花期は 4～5 月で、紅紫色、ときに白色の花をつける。日当たりの良い湿性斜面に生育する。観賞用として栽培されることが多い。
出典：「山渓ハンディ図鑑 2 山に咲く花」（平成 25 年、株式会社 山と渓谷社）
確認状況
重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。</td></tr>
<tr><th colspan="2">指定状況</th></tr>
<tr><td>環境省 RL：準絶滅危惧（NT）</td><td>東京都 RDB：－</td></tr>
<tr><th>種名</th><th>生態情報</th></tr>
<tr><td>エビネ（ラン科）

（平成 28 年 5 月 13 日）</td><td>全国に分布する。多年草で花茎は 20～40cm となる。花期は 4～5 月で、色は紫褐色、淡紅色、白色など変化に富む。台地や丘陵地、山地の落葉から常緑樹林、竹林に生育する。
出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）
確認状況
重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。</td></tr>
<tr><th colspan="2">指定状況</th></tr>
<tr><td>環境省 RL：準絶滅危惧（NT）</td><td>東京都 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU）</td></tr>
</table>

④ 外来種の確認状況

外来種として、表 4-8 に示す 16 科 32 種が確認された。そのうち、特定外来生物としては、アレチウリとオオキンケイギクの 2 種が確認された。

特定外来生物の確認状況を表 4-9 に示す。

表 4-8　外来種の選定結果（植物）

No	科名	種名	調査地区※1					外来種	
			1	2	3	4	5	①	②
1	イワヒバ	コンテリクラマゴケ					●		国外/総合対策/その他
2	タデ	シャクチリソバ			●				国外/総合対策/その他
3		ヒメツルソバ			●		●		国外/総合対策/その他
4		ナガバギシギシ			●				国外/総合対策/その他
5		エゾノギシギシ	●		●	●			国外/総合対策/その他
6	メギ	ヒイラギナンテン	●	●	●	●	●		国外/総合対策/その他
7	バラ	ビワ	●	●	●	●			国外/産業管理
8		トキワサンザシ				●			国外/総合対策/その他
9	マメ	イタチハギ	●						国外/総合対策/重点
10		ハリエンジュ	●			●	●		国外/産業管理
11	トウダイグサ	ナンキンハゼ			●				国外/総合対策/その他
12	ニガキ	シンジュ				●			国外/総合対策/重点
13	アオイ	フヨウ			●		●		国外/総合対策/その他
14	ウリ	アレチウリ	●					特	国外/総合対策/緊急
15	モクセイ	トウネズミモチ	●	●	●	●	●		国外/総合対策/重点
16	キョウチクトウ	ツルニチニチソウ		●			●		国外/総合対策/重点
17	キク	クワモドキ	●						国外/総合対策/重点
18		アメリカセンダングサ	●		●				国外/総合対策/その他
19		アメリカオニアザミ				●	●		国外/総合対策/その他
20		オオキンケイギク			●	●		特	国外/総合対策/緊急
21		セイタカアワダチソウ	●	●	●	●	●		国外/総合対策/重点
22		ヒメジョオン	●	●	●	●	●		国外/総合対策/その他
23		セイヨウタンポポ	●		●	●	●		国外/総合対策/重点
24	ユリ	ハナニラ			●				国外/総合対策/その他
25		タカサゴユリ		●					国外/総合対策/その他
26	アヤメ	キショウブ			●	●			国外/総合対策/重点
27	ツユクサ	ノハカタカラクサ	●	●	●	●	●		国外/総合対策/重点
28	イネ	オニウシノケグサ			●		●		国外/産業管理
29		シマスズメノヒエ			●				国外/総合対策/その他
30		タチスズメノヒエ				●			国外/総合対策/その他
31		マダケ		●	●				国外/産業管理
32		モウソウチク		●	●				国外/産業管理
計	16 科	32 種	13 種	10 種	21 種	15 種	13 種	2 種	32 種

※1：都立砧公園、2：等々力渓谷公園、3：給田四丁目緑地とその周辺、4：烏山川緑道、5：大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺

注 1：分類、配列等は、原則として「植物目録 1987」（昭和 62 年、環境庁）に準拠した。

注 2：外来種選定基準

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004 年法律第 78 号　2004 年 6 月 2 日公布）による指定種

特：特定外来生物

②「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」（平成 27 年、環境省・農林水産省）による指定種

1）由来

国内：国内由来の外来種（自然分布域を越えて国内の他地域に導入された生物種）

国外：国外由来の外来種

2）カテゴリ

総合対策：国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害を及ぼしている又はそのおそれがあるため、防除、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。総合対策は更に下記のとおり 3 区分される。

緊急：「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方に基づき、被害の深刻度に関する基準として《被害の深刻度に関する基準》①～④のいずれかに該当することに加え、対策の実効性、実行可能性として⑤に該当する種。特に緊急性が高く、特に、各主体がそれぞれの役割において、積極的に防除を行う必要がある。

重点：「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方に基づき、被害の深刻度に関する基準として《被害の深刻度に関する基準》①～④のいずれかに該当する種。甚大な被害が予想されるため、特に、各主体のそれぞれの役割における対策の必要性が高い。

その他：上記以外総合対策外来種。

《被害の深刻度に関する基準》
①生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大
②生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し被害をもたらす可能性が高い
③絶滅危惧種等の生息・生育に甚大な被害を及ぼす可能性が高い
④人の生命・身体や農林水産業等社会経済に対し甚大な被害を及ぼす
（対策の実効性、実行可能性）
⑤防除手法が開発されている、又は開発される見込みがある等、一定程度の知見があり、対策の目標を立て得る。

産業管理外来種：産業又は公益的役割において重要で、代替性がなく、その利用にあたっては適切な管理を行うことが必要な外来種。

表 4-9　特定外来生物の確認状況（植物）

種名	生態情報
アレチウリ（ウリ科） （平成 28 年 10 月 25 日）	全国に分布する。つる性の一年生草本で長さ数～数十ｍになる。花期は8～10月で白い花をつける。生育速度が非常に速く、群生することが多い。日当たりの良い場所を好み、土壌環境に対する適応性が大きい。特に有機質の多い汚染河川岸に非常に多い。アレチウリが大量に生育する場所では、他の植物がほとんど生育しない事例も確認されており、河岸の固有種との競合や駆逐のおそれから、駆除が実施されている。 出典：「特定外来生物等一覧（最終更新：2015 年 10 月 1 日）」https://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/list/ （環境省） **確認状況** 【都立砧公園】(秋)サンクチュアリの池周辺の低茎草地において、約 3m×3m の範囲で確認された。
種名	**生態情報**
オオキンケイギク（キク科） （平成 28 年 10 月 24 日）	全国に分布する。多年草で花茎は 30～70cm となる。花期は 5～7 月で黄色い花をつける。観賞用、緑化用に導入された個体が逸出しており、河川敷や道路にしばし大群落をつくり、在来生態系への影響が危惧されている。 出典：「特定外来生物等一覧（最終更新：2015 年 10 月 1 日）」https://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/list/ （環境省） **確認状況** 【給田四丁目緑地とその周辺】(春)歩道脇の低茎草地で 3 地点計 20 個体を確認した。(秋)歩道脇の低茎草地で 1 個体を確認した。 【烏山川緑道】(春)歩道脇の低茎草地と駐車場の堺で 1 地点 20 個体を確認した。(夏)歩道脇の低茎草地で 1 地点 3 個体を確認した。

（2）哺乳類・爬虫類・両生類調査

①　調査地区全体の確認状況

現地調査の結果、哺乳類は 5 科 5 種、爬虫類は 4 科 4 種、両生類は 2 科 2 種が確認された。

確認種の在来種と外来種の割合としては、哺乳類は在来種が 3 種（60%）、外来種が 2 種（40%）であった（図 4-3）。また、爬虫類および両生類は確認種全てが在来種であった（図 4-3）。

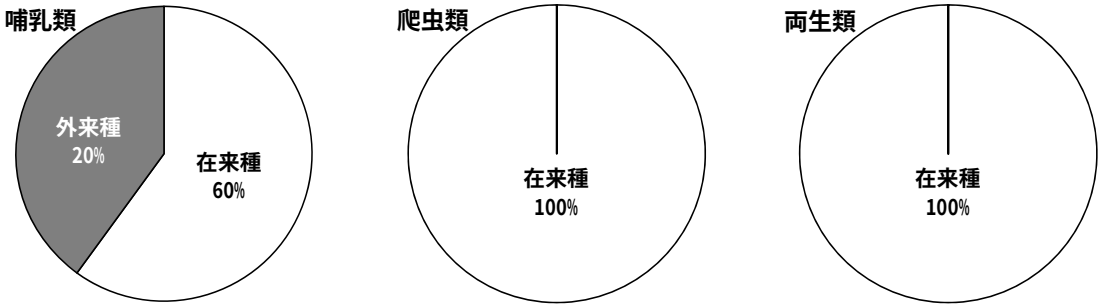


図 4-3　在来種と外来種の割合（哺乳類（左）、爬虫類（中央）、両生類（右））

②　調査地区別の確認状況

調査地区別の確認状況は、表 4-10 に示すとおりであった。

表 4-10　調査地区別の確認状況（哺乳類・両生類・爬虫類）

調査地区番号	地域区分[注)]	行政区域	調査地区名	確認種数	主な確認種・確認状況
1	①みどりの連続性が高い地域	砧	都立砧公園	哺乳類：2 種 爬虫類：2 種 両生類：0 種	・サンクチュアリを移動するタヌキを確認した。
2		玉川	等々力渓谷公園	哺乳類：3 種 爬虫類：4 種 両生類：0 種	・橋下でアライグマのフィールドサインを確認した。 ・樹林内でハクビシンのフィールドサインを確認した。
3	②住宅地の中に中・小規模緑地が点在する地域	烏山	給田四丁目緑地とその周辺	哺乳類：0 種 爬虫類：2 種 両生類：0 種	
4		世田谷	烏山川緑道	哺乳類：1 種 爬虫類：2 種 両生類：2 種	・周辺の市街地と併せて緑道上を通過するアブラコウモリを確認した。
5	③市街化が進み比較的みどりが少ない地域	北沢	大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺	哺乳類：0 種 爬虫類：1 種 両生類：1 種	

注）地域区分は、平成 28 年度策定「生きものつながる世田谷プラン」による。

③　重要種の確認状況

重要種として、哺乳類は 1 科 1 種、爬虫類は 4 科 4 種、両生類は 2 科 2 種が確認された（表 4-11～表 4-13）。

重要種の確認状況を表 4-14～表 4-16 に示す。

表 4-11　重要種の選定結果（哺乳類）

No.	科名	種名	調査地区※1					重要種					備考
			1	2	3	4	5	①	②	③	④	⑤	
1	モグラ	アズマモグラ	重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。								留		
計	1 科	1 種						0 種	0 種	0 種	1 種	0 種	

表 4-12　重要種の選定結果（爬虫類）

No.	科名	種名	調査地区※1					重要種					備考
			1	2	3	4	5	①	②	③	④	⑤	
1	ヤモリ	ニホンヤモリ	重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。								VU		
2	トカゲ	ヒガシニホントカゲ									CR+EN		
3	カナヘビ	ニホンカナヘビ									VU		
4	ナミヘビ	ヒバカリ									VU		
計	4 科	4 種						0 種	0 種	0 種	4 種	0 種	

表 4-13　重要種の選定結果（両生類）

No.	科名	種名	調査地区※1					重要種					備考
			1	2	3	4	5	①	②	③	④	⑤	
1	ヒキガエル	アズマヒキガエル	重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。								NT		
2	アマガエル	ニホンアマガエル									EN		
計	2 科	2 種						0 種	0 種	0 種	2 種	0 種	

※1：1 都立砧公園、2 等々力渓谷公園、3 給田四丁目緑地とその周辺、4 烏山川緑道、5 大原一丁目柳澤の杜市民緑地

注 1：分類、配列等は、哺乳類は原則として「種の多様性調査(動物分布調査)対象種一覧」（平成 9 年、環境省）、爬虫類・両生類は「日本産爬虫両生類標準和名」（平成 27 年 5 月 28 日改訂、平成 28 年 3 月 11 日修正、日本爬虫類両生類学会）に準拠した。

注 2：重要種選定基準

①「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日公布、同日施行)に基づく天然記念物・特別天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年 6 月 5 日公布、平成 5 年 4 月 1 日施行)における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種

③「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト 2015 の公表について」(平成 27 年、環境省)における選定種

④「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」(平成 25 年、東京都)における選定種

EX：絶滅，EW：野生絶滅，CR：絶滅危惧 IA 類，EN：絶滅危惧 IB 類，CR+EN：絶滅危惧 I 類，VU：絶滅危惧 II 類，NT：準絶滅危惧，DD：情報不足，留：留意種

⑤その他学術上重要な種(有識者による指摘種等)

表 4-14　重要種の確認状況（哺乳類）

種名	生態情報
アズマモグラ（モグラ科） （平成 28 年 5 月 13 日） 出典：レッドデータブック東京 2013	本州、四国に分布する。頭胴長 12～16cm、灰黒色で、手はグローブ状となり、尾は短い。平地から山地の耕作地や草地、樹林などの地下にトンネルを掘って生息し、トンネル内に落ちたミミズ類や昆虫類の幼虫などを餌とする。都市部の公園、河川敷、耕作地周辺から山地の樹林などに生息する。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：－	東京都 RDB：留意種（留）

表 4-15(1)　重要種の確認状況（爬虫類）

種名	生態情報
ニホンヤモリ（ヤモリ科） （平成 28 年 6 月 6 日）	本州、四国、九州に分布する。全長 10～14cm 程度。体色は淡い灰色に暗褐色の斑紋があるが、温度などにより大きく変わる。体は平たく指先が扁平で壁を垂直に登ったり、天井なども巧みに素早く動く。尾は自切りする。瞼がなく目を閉じることはない。夜行性でガ類など昆虫類、クモ類を食べる。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：－	東京都 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

表 4-15(2)　重要種の確認状況（爬虫類）

種名	生態情報
ヒガシニホントカゲ（トカゲ科） （平成 28 年 7 月 19 日）	全国に分布する。全長 20～25cm 程度、体鱗には光沢がある。オスは背面が茶褐色で体側に黒褐色の帯がある。メスの尾は鮮やかなコバルトブルーとなる。昼行性でクモ類、昆虫類、陸生甲殻類などを食べる。市街地から山地まで広く分布し、日当たりの良い草地や石垣などのある環境を好む。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）
	確認状況
	重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：絶滅危惧 IA 類（CR）
種名	**生態情報**
ニホンカナヘビ（カナヘビ科） （平成 28 年 5 月 12 日）	全国に分布する。全長 16～27cm 程度、尾は長く全長の 3 分の 2 強を占める。体色は背面が褐色、腹面は白または黄色で、体側に白と暗褐色の縞がはしる。昼行性でクモ類や昆虫類、ダンゴムシなどの陸生甲殻類を食べる。市街地や低山地まで広く分布し、日当たりの良い草地や藪を好む。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）
	確認状況
	重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

表 4-15(3)　重要種の確認状況（爬虫類）

種名	生態情報
ヒバカリ（ナミヘビ科） （平成 28 年 10 月 26 日）	本州、四国、九州に分布する。全長 30～70cm 程度で、体色は淡褐色、茶褐色もしくは深緑色で、口角から頸部にかけて白色か黄白色の帯が斜めに入る。主に早朝や夕方に活動し、カエル類、オタマジャクシ、小型魚類、ミミズ類を食べる。平地から山地、特に水田や湿地などに多い。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

表 4-16　重要種の確認状況（両生類）

種名	生態情報
アズマヒキガエル（ヒキガエル科） （平成 28 年 7 月 19 日）	本州（東海以北および近畿の日本海側の一部に分布する。体長 4～16cm で、体色は灰白色から茶褐色を帯びる。四肢は比較的短く、指端に吸盤を持たない。成体は昆虫類やミミズ類などを食べる。区部の都市公園、人家の緑地から西多摩の山間地まで広く生息している。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：準絶滅危惧（NT）
種名	**生態情報**
 ニホンアマガエル（アマガエル科） 出典：レッドデータブック東京 2013	全国に分布する。体長 2～5cm で、背面の体色は緑黄色から灰色にまで変化する。四肢の指端に吸盤を、趾間にみずかきをもつ。成体は昆虫類やクモ類などを食べる。山地の林縁から開けた草地、水田の周辺、庭園などに生息する。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：絶滅危惧 IB 類（EN）

④ 外来種の確認状況

外来種として、表 4-17 に示すとおり、特定外来生物であるアライグマが確認された。

特定外来生物の確認状況を表 4-18 に示す。

なお、爬虫類、両生類の外来種は確認されなかった。

表 4-17　外来種の選定結果（哺乳類）

No	科名	種名	調査地区※1					外来種	
			1	2	3	4	5	①	②
1	アライグマ	アライグマ		●				特	国外/総合対策/緊急
計	1 科	1 種	0 種	1 種	0 種	0 種	0 種	1 種	1 種

※1：都立砧公園、2：等々力渓谷公園、3：給田四丁目緑地とその周辺、4：烏山川緑道、5：大原一丁目柳澤の杜市民緑地

注 1：分類、配列等は、哺乳類は原則として「種の多様性調査(動物分布調査)対象種一覧」（平成 9 年、環境省）に準拠した。

注 2：外来種選定基準

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004 年法律第 78 号　2004 年 6 月 2 日公布）による指定種

特：特定外来生物

②「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト)」(平成 27 年、環境省・農林水産省）による指定種

1）由来

国内：国内由来の外来種（自然分布域を越えて国内の他地域に導入された生物種）

国外：国外由来の外来種

2）カテゴリ

総合対策：国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害を及ぼしている又はそのおそれがあるため、防除、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。総合対策は更に下記のとおり 3 区分される。

緊急：「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方に基づき、被害の深刻度に関する基準として《被害の深刻度に関する基準》①～④のいずれかに該当することに加え、対策の実効性、実行可能性として⑤に該当する種。特に緊急性が高く、特に、各主体がそれぞれの役割において、積極的に防除を行う必要がある。

重点：「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方に基づき、被害の深刻度に関する基準として《被害の深刻度に関する基準》①～④のいずれかに該当する種。甚大な被害が予想されるため、特に、各主体のそれぞれの役割における対策の必要性が高い。

その他：上記以外総合対策外来種。

《被害の深刻度に関する基準》

①生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大

②生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し被害をもたらす可能性が高い

③絶滅危惧種等の生息・生育に甚大な被害を及ぼす可能性が高い

④人の生命・身体や農林水産業等社会経済に対し甚大な被害を及ぼす

（対策の実効性、実行可能性）

⑤防除手法が開発されている、又は開発される見込みがある等、一定程度の知見があり、対策の目標を立て得る。

産業管理外来種：産業又は公益的役割において重要で、代替性がなく、その利用にあたっては適切な管理を行うことが必要な外来種。

表 4-18　特定外来生物の確認状況（哺乳類）

種名	生態情報
アライグマ（アライグマ科） （平成 28 年 5 月 12 日）	北米原産で日本には飼育個体の逃亡により定着し、日本全国での生息が確認されている。森林や湿地帯から市街地まで多様な環境に生息する。春には普通 3～4 頭の子を生む。雑食性で動物全般から果実・野菜・穀類まで食し、農業被害や在来種への影響が危惧されている。 出典：「特定外来生物等一覧（最終更新：2015 年 10 月 1 日)」https://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/list/ （環境省） **確認状況** 【等々力渓谷公園】(春)橋下の裸地で足跡を 1 地点確認した。(秋)橋下の裸地で足跡を 1 地点確認した。

（3）鳥類調査

①　調査地区全体の確認状況

現地調査の結果、全 23 科 41 種の鳥類が確認された。

確認種の在来種と外来種の割合としては、確認種全てが在来種であった（図 4-4）。

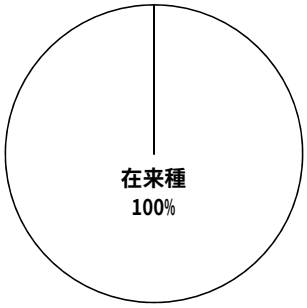


図 4-4　在来種と外来種の割合

②　調査地区別の確認状況

調査地区別の確認状況は、表 4-19 に示すとおりであった。

表 4-19　調査地区別の確認状況（鳥類）

調査地区番号	地域区分[注)]	行政区域	調査地区名	確認種数	主な確認種・確認状況
1	①みどりの連続性が高い地域	砧	都立砧公園	36 種	・樹林でコゲラやアカゲラ、エナガなどが確認された。 ・藪でウグイスやアオジが確認された。 ・草地でムクドリやスズメが確認された他、開けた場所でモズが確認された。 ・水辺でカルガモやアオサギ等が確認された。
2		玉川	等々力渓谷公園	22 種	・樹林でコゲラやシジュウカラが確認された。 ・藪でウグイスやアオジが確認された。 ・草地でムクドリが確認された。 ・水辺でカルガモやキセキレイが確認された。
3	②住宅地の中に中・小規模緑地が点在する地域	烏山	給田四丁目緑地とその周辺	24 種	・樹林でシジュウカラ、メジロが確認された。 ・藪でアオジが確認された。 ・畑地でムクドリやスズメが確認された。 ・市街地でドバトやムクドリが確認された。
4		世田谷	烏山川緑道	16 種	・樹林でヒヨドリやエナガ、メジロが確認された。 ・市街地でドバトやハシブトガラス、スズメが確認された。
5	③市街化が進み比較的みどりが少ない地域	北沢	大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺	16 種	・樹林でヒヨドリやメジロが確認された。 ・市街地でドバトやハシブトガラス、スズメが確認された。

注）地域区分は、平成 28 年度策定「生きものつながる世田谷プラン」による。

③ 重要種の確認状況

重要種として、表 4-20 に示す 7 科 9 種が確認された。

重要種の確認状況を表 4-21 に示す。

表 4-20　重要種の選定結果（鳥類）

No	科名	種名	調査地区※1					重要種					備考
			1	2	3	4	5	①	②	③	④	⑤	
1	サギ	コサギ	重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。								VU		
2	アマツバメ	ヒメアマツバメ									VU		
3	タカ	トビ									NT		
4		ツミ									CR		
5		オオタカ							国内	NT	CR		
6	カワセミ	カワセミ									VU		
7	キツツキ	アオゲラ									EN		
8	モズ	モズ									VU		
9	アトリ	イカル									NT		
計	7 科	9 種						0 種	1 種	1 種	5 種	0 種	

※1：1 都立砧公園、2 等々力渓谷公園、3 給田四丁目緑地とその周辺、4 烏山川緑道、5 大原一丁目柳澤の杜市民緑地

注 1：分類、配列等は、原則として「日本鳥類目録改定第 7 版」（平成 24 年、日本鳥学会）に準拠した。

注 2：重要種選定基準

①「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 30 日公布、同日施行）に基づく天然記念物・特別天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 6 月 5 日公布、平成 5 年 4 月 1 日施行）における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種

③「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト 2015 の公表について」（平成 27 年、環境省）における選定種

EX：絶滅，EW：野生絶滅，CR：絶滅危惧 IA 類，EN：絶滅危惧 IB 類，CR+EN：絶滅危惧 I 類，VU：絶滅危惧 II 類，NT：準絶滅危惧，DD：情報不足，LP：絶滅のおそれのある地域個体群

④「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）における選定種

EX：絶滅，EW：野生絶滅，CR：絶滅危惧 IA 類，EN：絶滅危惧 IB 類，CR+EN：絶滅危惧 I 類，VU：絶滅危惧 II 類，NT：準絶滅危惧，DD：情報不足，留：留意種

⑤その他学術上重要な種（有識者による指摘種等）

表 4-21(1)　重要種の確認状況（鳥類）

種名	生態情報
コサギ（サギ科） （平成 29 年 1 月 11 日）	体長 61cm。全身が白色で足指の黄色が目立つ。夏羽は後頭と背や胸に長い飾り羽が出る。水田、河川、湖沼、干潟など浅い水辺採食し、人やカラスによるかく乱の少ない樹林に集団で営巣し、休息する。魚類やカエル類、甲殻類や昆虫類などを食べる。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）
	確認状況
	重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU）

表 4-21(2)　重要種の確認状況（鳥類）

<table>
<tr><th>種名</th><th>生態情報</th></tr>
<tr><td>ヒメアマツバメ（アマツバメ科）

（平成 28 年 6 月 8 日）</td><td>体長 13cm。成鳥は体の大部分が黒色で、喉から頸と腰が白く翼は鎌型。主に平地から低山地の開けた場所に生息し、飛翔性昆虫類を食べる。コンクリートの建築物などで営巣する。イワツバメの巣を利用することが多い。
出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）
確認状況
重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。</td></tr>
<tr><th>指定状況</th><th></th></tr>
<tr><td>環境省 RL：－</td><td>東京都 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU）</td></tr>
<tr><th>種名</th><th>生態情報</th></tr>
<tr><td>トビ（タカ科）

「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）より</td><td>体長雄 58.5cm、雌 68.5cm。成鳥は全体が茶褐色で、翼下面の外側に白斑がある。尾はたたむと凹形、広げると尾端が直線に揃う。海岸部や平地の河川・池沼に多いが、高山にも生息する。樹林で繁殖し、主に死肉を食べるが、ネズミ類、ヘビ類、カエル類などの小動物を食べることもある
出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）
確認状況
重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。</td></tr>
<tr><th>指定状況</th><th></th></tr>
<tr><td>環境省 RL：－</td><td>東京都 RDB：準絶滅危惧（NT）</td></tr>
<tr><th>種名</th><th>生態情報</th></tr>
<tr><td>ツミ（タカ科）

（平成 28 年 6 月 7 日）</td><td>体長雄 31.5cm、雌 39cm。体上面は青灰色で、体下面は白く、胸から腹に橙褐色の横斑がある。平地から山林の樹林、耕作地、河川敷に生息し、営巣は普通、樹林内に行う。主にスズメ、シジュウカラなどの小鳥を食べる。
出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）
確認状況
重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。</td></tr>
<tr><th>指定状況</th><th></th></tr>
<tr><td>環境省 RL：－</td><td>東京都 RDB：絶滅危惧 IA 類（CR）</td></tr>
</table>

表 4-21(3)　重要種の確認状況（鳥類）

<table>
<tr><th>種名</th><th>生態情報</th></tr>
<tr><td>オオタカ（タカ科）

確認された巣
（平成 28 年 5 月 13 日）

（平成 28 年 6 月 8 日）</td><td>北海道、本州、四国、九州で留鳥または漂鳥として生息する。体長 50～60cm 程度で、頭部からの上体面は暗青灰色で、体下面は白く、細い暗灰色の横帯がある。ハト類やカモ類など主に中型の鳥類を食べる。平地から山地の樹林に生息し、繁殖する。
営巣可能な大経木の減少や写真撮影などの人為的ストレスによる繁殖活動のかく乱が、本種の生存を脅かす要因である。
出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）
確認状況
重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。</td></tr>
<tr><td colspan="2">指定状況</td></tr>
<tr><td>環境省 RL：準絶滅危惧（NT）</td><td>東京都 RDB：絶滅危惧 IA 類（CR）</td></tr>
<tr><td>種の保存法：国内希少野生動植物種</td><td></td></tr>
<tr><td>種名</td><td>生態情報</td></tr>
<tr><td>カワセミ（カワセミ科）

出典：レッドデータブック東京 2013</td><td>体長 17cm。成鳥は背面が光沢のある青色で、頭部、頬、雨覆は黒褐色。胸から体下面は橙色。平地から低山地の河川、湖沼、都市公園の池などに生息する。小魚やザリガニ、エビ類、カエル類などを食べる。
出典：「山渓ハンディ図鑑 2 山に咲く花」（平成 25 年、株式会社 山と渓谷社）
確認状況
重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。</td></tr>
<tr><td colspan="2">指定状況</td></tr>
<tr><td>環境省 RL：－</td><td>東京都 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU）</td></tr>
</table>

表 4-21(4)　重要種の確認状況（鳥類）

種名	生態情報
アオゲラ（キツツキ科） （平成 28 年 6 月 8 日）	体長 29cm。成鳥は顔から頸が灰色、背面は黄緑色。額と眼先は黒く後頭は赤い。平地から山地の樹林に生息し、昆虫類やクモ類、ムカデ類などを食べる。多摩地域の丘陵地から山地の樹林に生息し、繁殖している。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：絶滅危惧 IB 類（EN）
種名	**生態情報**
モズ（モズ科） （平成 29 年 1 月 11 日）	体長 20cm。雄成鳥は頭部から後頸が茶褐色で、過眼線は黒い。背面は灰色、翼と尾は黒褐色。平地から山地の疎林、耕作地、河畔林、公園などに生息し、昆虫類やミミズ類、両生・爬虫類などを食べる。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU）
種名	**生態情報**
イカル（アトリ科） 「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）より	体長 23cm。成鳥は頭部が黒色で、顔や後頭から背、腰、喉から腹まで灰褐色。嘴は黄色で、太く大きい。平地から山地の落葉広葉樹林に生息し、木の実や種子を食べる。冬は暖地に移動する。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：準絶滅危惧（NT）

④ 特定外来生物の確認状況

鳥類の外来種は確認されなかった。

（4）昆虫類調査

① 調査地区全体の確認状況

現地調査の結果、全 165 科 561 種の昆虫類が確認された。

確認種の在来種と外来種の割合としては、在来種が 560 種、外来種が 1 種であり、ほぼ全ての確認種が在来種であった（図 4-5）。

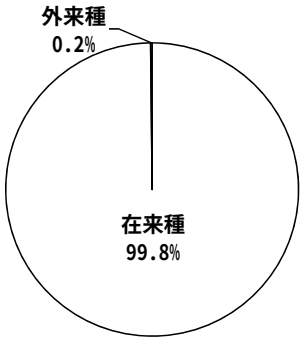


図 4-5　在来種と外来種の割合

② 調査地区別の確認状況

調査地区別の確認状況は、表 4-22 に示すとおりであった。

表 4-22　調査地区別の確認状況（昆虫類）

調査地区番号	地域区分[注)]	行政区域	調査地区名	確認種数	主な確認種・確認状況
1	①みどりの連続性が高い地域	砧	都立砧公園	296 種	・サンクチュアリの池でトンボ類やアメンボなどの水辺を利用する種が確認された。 ・樹林地ではアブラゼミなどが確認された。 ・草地ではヒガシキリギリスなどの草地性の種が確認された。
2		玉川	等々力渓谷公園	161 種	・河川でトンボ類などの水辺を利用する種が確認された。
3	②住宅地の中に中・小規模緑地が点在する地域	烏山	給田四丁目緑地とその周辺	194 種	・小規模な樹林が点在しており、樹林ではアオスジアゲハなどが確認された。 ・空き地で草地化している箇所にオンブバッタが確認された。
4		世田谷	烏山川緑道	200 種	・緑道沿いの植栽でナミアゲハやアカボシゴマダラなどが確認された ・緑地沿いの草地ではクビキリギスやナナホシテントウなどが確認された。
5	③市街化が進み比較的みどりが少ない地域	北沢	大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺	172 種	・市民緑地などの小規模な樹林でアオスジアゲハが確認された。 ・草地ではヤマトシジミやヨツボシクサカゲロウが確認された。

注）地域区分は、平成 28 年度策定「生きものつながる世田谷プラン」による。

③ 重要種の確認状況

重要種として、表 4-23 に示す 11 科 12 種が確認された。

重要種の確認状況を表 4-24 に示す。

表 4-23　重要種の選定結果（昆虫類）

No.	科名	種名	調査地区※1					重要種				
			1	2	3	4	5	①	②	③	④	⑤
1	モノサシトンボ	モノサシトンボ	重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。								DD	
2	オニヤンマ	オニヤンマ									NT	
3	トンボ	リスアカネ									NT	
4	バッタ	ショウリョウバッタモドキ									VU	
5	セミ	ヒグラシ									NT	
6	アメンボ	オオアメンボ									CR	
7	オサムシ	オオイクビツヤゴモクムシ									NT	
8	コガネムシ	ハンノヒメコガネ									DD	
9		クロカナブン									EN	
10	タマムシ	ヤマトタマムシ									NT	
11	ドロバチ	オオハムシドロバチ								DD		
12	タテハチョウ	イチモンジチョウ									DD	
計	11 科	12 種						0 種	0 種	1 種	11 種	0 種

※1：1 都立砧公園、2 等々力渓谷公園、3 給田四丁目緑地とその周辺、4 烏山川緑道、5 大原一丁目柳澤の杜市民緑地

注 1：分類、配列等は原則として「日本産野生生物目録（無脊椎動物編Ⅱ）」（平成 7 年、環境庁）に準拠した。

注 2：重要種選定基準

①「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 30 日公布、同日施行）に基づく天然記念物・特別天然記念物

②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 6 月 5 日公布、平成 5 年 4 月 1 日施行）における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種

③「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト 2015 の公表について」（平成 27 年、環境省）における選定種

④「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）における選定種

EX：絶滅，EW：野生絶滅，CR：絶滅危惧 IA 類，EN：絶滅危惧 IB 類，CR+EN：絶滅危惧 I 類，VU：絶滅危惧 II 類，NT：準絶滅危惧，DD：情報不足，留：留意種

⑤その他学術上重要な種（有識者による指摘種等）

表 4-24(1)　重要種の確認状況（昆虫類）

種名	生態情報
モノサシトンボ（モノサシトンボ科） （平成 28 年 8 月 3 日）	北海道、本州、四国、九州に分布する。腹長は 31～39㎜ になり、腹節ごとにリング状の斑紋がある。初夏から夏にみられ、平地から丘陵地の樹木に覆われた池沼に生息する。水生植物がわずかに生育する程度でも生息でき、公園や庭園の池、個人宅の庭池などにもよくみられる。最近減少した場所も多いが、要因は明らかでない。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：－	東京都 RDB：情報不足（DD）
種名	**生態情報**
オニヤンマ（オニヤンマ科） 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）	北海道、本州、四国、九州、南西諸島に分布する。腹長は 60～86㎜ になり、黒地に黄色斑がある。初夏から夏にみられ、平地から低山地の様々な流水環境に生息し、湿地の水溜りや湧水の池などにもみられる。都市化に伴う湧水や水路の減少などにより、確実な生息地は極めて限られる。また、アメリカザリガニの捕食圧等の影響への留意も望まれている。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：－	東京都 RDB：準絶滅危惧（NT）
種名	**生態情報**
リスアカネ（トンボ科） （平成 28 年 8 月 3 日）	本州、四国、九州に分布する。腹長は 24～30㎜ になり、翅端部には顕著な黒褐色斑がある。夏から秋にみられ、平地から丘陵地の樹木に覆われた池沼や湿地に生息する。区部では確実に生息している場所は限られており、個体数も一般的に少ない。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：－	東京都 RDB：準絶滅危惧（NT）

表 4-24(2)　重要種の確認状況（昆虫類）

種名	生態情報
ショウリョウバッタモドキ（バッタ科） （平成 28 年 10 月 24 日）	本州、四国、九州、対馬、南西諸島に分布する。黄緑色や淡緑色の個体が多いが、褐色型もみられる。高茎イネ科草地に生息し、主にチガヤの葉を食べる。静止時には葉や茎に体を密着させており、刺激を受けると葉や茎の裏側に回りこむ。卵で冬を越し、夏から秋に成虫がみられる。開発による草地環境の減少に注意する必要がある。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：絶滅危惧Ⅱ類（VU）
種名	**生態情報**
ヒグラシ（セミ科） 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）	北海道、本州、四国、九州、南西諸島に分布する。翅端までで 39～48mm であり、体は褐色で黒斑と緑斑が混じる。平地から産地の樹林に生息する。区部とその周辺では減少が著しく、特に充実した樹林を伴った緑地とその周辺以外では、ほぼ見られなくなってきている。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：準絶滅危惧（NT）
種名	**生態情報**
オオアメンボ（アメンボ科） （平成 28 年 5 月 12 日）	本州、四国、九州、対馬に分布する。体長は 19～27mm になり、日本産アメンボ科の最大種である。平地から低山地の緩やかな流れや池沼に生息する。区部では主に崖線沿いの遊水地に残存しているが、局地的で個体数も少ない。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：絶滅危惧 IA 類（CR）

表 4-24(3)　重要種の確認状況（昆虫類）

種名	生態情報
オオイクビツカゴモクムシ（オサムシ科） （平成 28 年 8 月 24 日）	北海道、本州、九州に分布する。体長 7～9mm になり、横から見て後基節間の腹部が弱く隆起する。樹林性の種で平地から山地に生息し、樹林の状態が良好であれば、公園の樹林などでも見られる。宅地開発などにより、生息に適した環境が減少しつつあると思われる。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：準絶滅危惧（NT）
種名	**生態情報**
ハンノヒメコガネ（コガネムシ科） （平成 28 年 8 月 24 日）	北海道、本州、四国、九州、対馬に分布する。体長は 12～19mm でつやのある緑黄色。海岸部や河川敷などに多く、夜間点灯に集まる。成虫はヤナギ類などを食べる。成虫の食餌である、ヤナギ類、ハンノキなどが少なくなり全体的に個体数は減少しているが、まだ多産地がいくらか残っている。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：情報不足（DD）
種名	**生態情報**
クロカナブン（コガネムシ科） （平成 28 年 8 月 3 日）	北海道、本州、四国、九州、対馬に分布する。体長は 26～32mm で光沢のある黒色。成虫は各種広葉樹の樹液や熟果に集まる。平地から丘陵地のコナラやクヌギなどの雑木林に生息する。雑木林の減少や乾燥化に伴い、生息域、個体数とも減少傾向にあるが、好適な林があれば区部でも姿がみられる。 「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：絶滅危惧 IB 類（EN）

表 4-24(4)　重要種の確認状況（昆虫類）

種名	生態情報
ヤマトタマムシ（タマムシ科） （平成 28 年 8 月 3 日）	本州、四国、九州、南西諸島に分布する。体長は 25～40mm になり、体は美しい緑色、上翅に一対の赤い縦条紋が走る。成虫は夏に出現し、特にエノキの梢に集まる。平地から山地に分布し、エノキやケヤキ、クヌギなどの広葉樹に依存する。特に平地では樹林環境の消失とともに減少が著しいが、小規模な樹林で生息していることもある。 「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：準絶滅危惧（NT）
種名	**生態情報**
オオハムシドロバチ（ドロバチ科） （平成 28 年 8 月 3 日）	本州、四国に分布する。竹筒等に泥で巣をつくる。個体数も少なく、生息地が限定され、宅地や土地造成、道路建設等生息地の改変による個体群維持に危惧がある。 「レッドデータブック 2014　昆虫類」（平成 27 年、環境省） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：情報不足(DD)	東京都 RDB：-
種名	**生態情報**
イチモンジチョウ（タテハチョウ科） 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）	北海道、本州、四国、九州に分布する。開長は 50～60mm になり、翅裏の地色は赤褐色で黒点が散りばめられている。幼虫はスイカズラ科の植物を食べる。1960 年代以降激減し、現在では河川沿いの広い緑地にわずかにみられる程度となった。河川沿いの雑木林周辺の緑地の保全が重要である。 「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：情報不足(DD)

④ 外来種の確認状況

外来種として、表 4-25 に示す 1 科 1 種が確認された。

なお、昆虫類の特定外来生物は確認されなかった。

表 4-25　外来種の確認状況（昆虫類）

No	科名	種名	調査地区※1					外来種	
			1	2	3	4	5	①	②
1	タテハチョウ	アカボシゴマダラ	●	●	●	●			国外/総合対策/重点
計	1 科	1 種	1 種	1 種	1 種	1 種	0 種	0 種	1 種

※1：都立砧公園、2：等々力渓谷公園、3：給田四丁目緑地とその周辺、4：烏山川緑道、5：大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺

注 1：分類、配列等は原則として「日本産野生生物目録（無脊椎動物編Ⅱ）」（平成 7 年、環境庁）に準拠した。

注 2：外来種選定基準

①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004 年法律第 78 号　2004 年 6 月 2 日公布）による指定種

特：特定外来生物

②「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」（平成 27 年、環境省・農林水産省）による指定種

1）由来

国内：国内由来の外来種（自然分布域を越えて国内の他地域に導入された生物種）

国外：国外由来の外来種

2）カテゴリ

総合対策：国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害を及ぼしている又はそのおそれがあるため、防除、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。総合対策は更に下記のとおり 3 区分される。

緊急：「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方に基づき、被害の深刻度に関する基準として《被害の深刻度に関する基準》①～④のいずれかに該当することに加え、対策の実効性、実行可能性として⑤に該当する種。特に緊急性が高く、特に、各主体がそれぞれの役割において、積極的に防除を行う必要がある。

重点：「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方に基づき、被害の深刻度に関する基準として《被害の深刻度に関する基準》①～④のいずれかに該当する種。甚大な被害が予想されるため、特に、各主体のそれぞれの役割における対策の必要性が高い。

その他：上記以外総合対策外来種。

《被害の深刻度に関する基準》

①生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大

②生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し被害をもたらす可能性が高い

③絶滅危惧種等の生息・生育に甚大な被害を及ぼす可能性が高い

④人の生命・身体や農林水産業等社会経済に対し甚大な被害を及ぼす

（対策の実効性、実行可能性）

⑤防除手法が開発されている、又は開発される見込みがある等、一定程度の知見があり、対策の目標を立て得る。

産業管理外来種：産業又は公益的役割において重要で、代替性がなく、その利用にあたっては適切な管理を行うことが必要な外来種。

（5）魚類調査・底生動物調査

①　調査地区全体の確認状況

現地調査の結果、魚類は 3 科 6 種、底生動物は 23 科 43 種が確認された。

確認種の在来種と外来種の割合としては、魚類は確認種全てが在来種であったが、底生動物は在来種が 41 種（93%）、外来種が 3 種（7%）であった（図 4-6）。

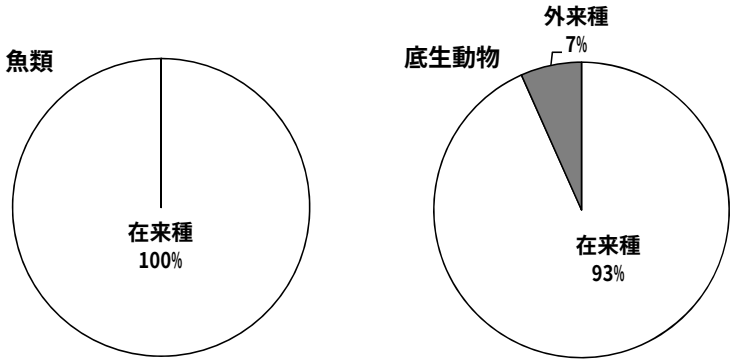


図 4-6　在来種と外来種の割合（魚類（左）、底生動物（右））

②　調査地区別の確認状況

調査地区別の確認状況は、表 4-26 に示すとおりであった。

表 4-26　調査地区別の確認状況（魚類・底生動物）

調査地区番号	地域区分[注)]	行政区域	調査地区名	確認種数	主な確認種・確認状況
1	みどりの連続性が高い地域	砧	都立砧公園	魚類：4 種 底生動物：33 種	・サンクチュアリの池で魚類のモツゴやヨシノボリ属や、底生動物のヒロマキミズマイマイなどが確認された。 ・谷戸川で魚類のスミウキゴリや底生動物のサカマキガイなどが確認された。
2		玉川	等々力渓谷公園	魚類：6 種 底生動物：28 種	・河川で魚類のコイやモツゴを確認した。 ・河川内の堆積した土砂で底生動物のコヤマトンボなどが確認された。

注）地域区分は、平成 28 年度策定「生きものつながる世田谷プラン」による。

③ 重要種の確認状況

重要種として、魚類は 1 科 1 種、底生動物は 4 科 4 種が確認された（表 4-27～表 4-28）。
重要種の確認状況を表 4-29～表 4-30 に示す。

表 4-27　重要種の選定結果（魚類）

No.	科名	種名	調査地区※1		重要種				
			1	2	①	②	③	④	⑤
1	ドジョウ	ドジョウ	重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。					DD	
計	1 科	1 種			0 種	0 種	0 種	1 種	0 種

※1：1 都立砧公園、2 等々力渓谷公園、3 給田四丁目緑地とその周辺、4 烏山川緑道、5 大原一丁目柳澤の杜市民緑地
注 1：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 27 年度」（平成 27 年、国土交通省）に準拠した。
注 2：重要種選定基準
①「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 30 日公布、同日施行）に基づく天然記念物・特別天然記念物
②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 6 月 5 日公布、平成 5 年 4 月 1 日施行）における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
③「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト 2015 の公表について」（平成 27 年、環境省）における選定種
EX：絶滅，EW：野生絶滅，CR：絶滅危惧 IA 類，EN：絶滅危惧 IB 類，CR+EN：絶滅危惧 I 類，VU：絶滅危惧 II 類，NT：準絶滅危惧，DD：情報不足，LP：絶滅のおそれのある地域個体群
④「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）における選定種
⑤その他学術上重要な種（有識者による指摘種等）

表 4-28　重要種の選定結果（底生動物）

No.	科名	種名	調査地区※1		重要種				
			1	2	①	②	③	④	⑤
1	オニヤンマ	オニヤンマ	重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。					NT	
2	エゾトンボ	コヤマトンボ						DD	
3	アメンボ	オオアメンボ						CR	
4		シマアメンボ						NT	
5	ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ						CR	
計	4 科	4 種			0 種	0 種	0 種	5 種	0 種

※1：1 都立砧公園、2 等々力渓谷公園、3 給田四丁目緑地とその周辺、4 烏山川緑道、5 大原一丁目柳澤の杜市民緑地
注 1：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 27 年度」（平成 27 年、国土交通省）に準拠した。
注 2：重要種選定基準
①「文化財保護法」（昭和 25 年 5 月 30 日公布、同日施行）に基づく天然記念物・特別天然記念物
②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成 4 年 6 月 5 日公布、平成 5 年 4 月 1 日施行）における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
③「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト 2015 の公表について」（平成 27 年、環境省）における選定種
EX：絶滅，EW：野生絶滅，CR：絶滅危惧 IA 類，EN：絶滅危惧 IB 類，CR+EN：絶滅危惧 I 類，VU：絶滅危惧 II 類，NT：準絶滅危惧，DD：情報不足，LP：絶滅のおそれのある地域個体群
④「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都）における選定種
⑤その他学術上重要な種（有識者による指摘種等）

表 4-29　重要種の確認状況（魚類）

種名	生態情報
ドジョウ（ドジョウ科） （平成 28 年 5 月 13 日）	日本全国に分布する。水田や湿地、周辺の細流に生息する。雑食性である。産卵期は夏季であり、孵化した稚魚は 1 年で成熟する。 出典：「日本の淡水魚」（平成 13 年、株式会社 山と渓谷社） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：情報不足(DD)	東京都 RDB：-

表 4-30(1)　重要種の確認状況（底生動物）

種名	生態情報
オニヤンマ（ドジョウ科） （平成 28 年 7 月 11 日）	北海道、本州、四国、九州、南西諸島に分布する。初夏から夏にみられ、平地から低山地の様々な流水環境に生息し、湿地の水溜りや湧水の池などにもみられる。都市化に伴う湧水や水路の減少などにより、確実な生息地は極めて限られる。また、アメリカザリガニの捕食圧等の影響への留意も望まれている。 **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：準絶滅危惧（NT）
種名	**生態情報**
コヤマトンボ（エゾトンボ科） （平成 28 年 12 月 12 日）	北海道南部・本州・四国・九州、対馬、種子島、屋久島に分布する。幼虫は比較的流れの緩やかな砂泥底の凹みや、植物性沈積物の陰などにうずくまったり、河岸の植物の際などに潜んだりして生活するが、大きな湖の波砕湖岸や稀に灌漑用溜め池の泥底にも生息する。成熟した幼虫は川底の窪みなどにうずくまり、あまり動かない。 **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：-	東京都 RDB：情報不足（DD）

表 4-30(2)　重要種の確認状況（底生動物）

種名	生態情報
オオアメンボ（アメンボ科） （平成 28 年 10 月 25 日）	本州、四国、九州、対馬に分布する。体長は 19～27㎜ になり、日本産アメンボ科の最大種である。平地から低山地の緩やかな流れや池沼に生息する。区部では主に崖線沿いの遊水地に残存しているが、局地的で個体数も少ない。 出典：「レッドデータブック東京 2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成 25 年、東京都） **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：－	東京都 RDB：絶滅危惧 IA 類（CR）
種名	**生態情報**
シマアメンボ（アメンボ科） （平成 28 年 12 月 2 日）	北海道（南部），本州，四国，九州，対馬，奄美大島に分布する。主に山地の渓流で見られ、流れの緩やかなところに棲む なわばりがあることが報告されている。 **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：－	東京都 RDB：準絶滅危惧（NT）
種名	**生態情報**
ヤマトクロスジヘビトンボ（ヘビトンボ科） （平成 28 年 7 月 11 日）	本州、四国、九州、南西諸島に分布する。前翅長は 50㎜ になる。翅は全体が薄い褐色。幼虫は水生で昆虫類等の水生生物を食べる。平地から低山地の湧水のみられる流れに生息する。安定した湧水が残されている場所が少ないことから、生息地は極めて限られ個体数も少ない。 **確認状況** 重要種保護の観点から、確認地区及び詳細な確認状況は非記載とした。
指定状況	
環境省 RL：－	東京都 RDB：絶滅危惧 IA 類（CR）

④ 外来種の確認状況

底生動物のうち、外来種として、表 4-31 に示す 3 科 3 種が確認された。魚類の外来種は確認されなかった。

また、特定外来生物は確認されなかった。

表 4-31　外来種の選定結果（底生動物）

No	科名	種名	調査地区※1		外来種	
			1	2	①	②
1	モノアラガイ	ハブタエモノアラガイ	●			国外/総合対策/その他
2	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ	●	●		国外/総合対策/その他
3	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	●			国外/総合対策/緊急
計	3 科	3 科	3 種	1 種	0 種	3 種

※1：都立砧公園、2：等々力渓谷公園、3：給田四丁目緑地とその周辺、4：烏山川緑道、5：大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺
注 1：分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物リスト　平成 27 年度」（平成 27 年、国土交通省）に準拠した。
注 2：外来種選定基準
①「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004 年法律第 78 号　2004 年 6 月 2 日公布）による指定種
特：特定外来生物
②「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト（生態系被害防止外来種リスト）」（平成 27 年、環境省・農林水産省）による指定種
1）由来
国内：国内由来の外来種（自然分布域を越えて国内の他地域に導入された生物種）
国外：国外由来の外来種
2）カテゴリ
総合対策：国内に定着が確認されているもの。生態系等への被害を及ぼしている又はそのおそれがあるため、防除、遺棄・導入・逸出防止等のための普及啓発など総合的に対策が必要な外来種。総合対策は更に下記のとおり 3 区分される。
緊急：「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方に基づき、被害の深刻度に関する基準として《被害の深刻度に関する基準》①～④のいずれかに該当することに加え、対策の実効性、実行可能性として⑤に該当する種。特に緊急性が高く、特に、各主体がそれぞれの役割において、積極的に防除を行う必要がある。
重点：「外来種被害防止行動計画」における対策の優先度の考え方に基づき、被害の深刻度に関する基準として《被害の深刻度に関する基準》①～④のいずれかに該当する種。甚大な被害が予想されるため、特に、各主体のそれぞれの役割における対策の必要性が高い。
その他：上記以外総合対策外来種。

《被害の深刻度に関する基準》
①生態系に係る潜在的な影響・被害が特に甚大
②生物多様性保全上重要な地域に侵入・定着し被害をもたらす可能性が高い
③絶滅危惧種等の生息・生育に甚大な被害を及ぼす可能性が高い
④人の生命・身体や農林水産業等社会経済に対し甚大な被害を及ぼす
（対策の実効性、実行可能性）
⑤防除手法が開発されている、又は開発される見込みがある等、一定程度の知見があり、対策の目標を立て得る。

産業管理外来種：産業又は公益的役割において重要で、代替性がなく、その利用にあたっては適切な管理を行うことが必要な外来種。

第 5 章　今後の課題

5-1　みどりと生物の関係　・・・・・・・・生物-74
(1) みどりの資源の現況
(2) 調査地区毎の生育・生息環境の課題
5-2　継続調査の検討　・・・・・・・・生物-79
(1) 生物モニタリング調査計画
(2) 生物モニタリング調査実施にあたっての課題（留意点）

第5章　　今後の課題

5-1. みどりと生物の関係

（1）みどりの資源の現況

①　各調査地区のみどりの資源の状況

本調査で確認された生物の生息・生育環境の把握および評価を目的として、みどりの資源調査結果をもとに、各調査地区におけるみどり資源の現況を整理した。

なお、みどりの資源調査における区分方法は、表 5-1 に示すとおりである。

表 5-1　みどりの資源調査の区分方法

区分				定義
自然面	緑被	樹木地	樹木	樹木・樹林に覆われた部分で、地上に投影された面積とする。
			竹林	竹類に覆われた部分とする。
		草地		公園、道路、施設の敷地等にある草地とする。
		屋上緑地		構造物上に植栽された樹木・草地とする。 人工地盤上の緑被は屋上緑地とする。
		農地		生産緑地、その他農地（ハウス、家庭菜園も含む）。 敷地単位の抽出とするが、農地内の農作物でない樹木は樹木地とする。
		水面		河川、池などの水面とする。 恒常的に水が溜まっている池（噴水も含む）。 学校のプールは含まれない。
		裸地		学校等のグラウンド、公園内の裸地、河川沿いの未舗装道路、舗装されていない駐車場など、土に覆われた部分。
道路・建築物等				道路・建築物等。

a) みどりの資源調査結果からみた各調査地区の区分

各調査地区で確認された区分を表 5-2 に示す。いずれの調査地区においても共通して樹木、草地、道路・建築物等が確認された。

区分数で比較すると、都立砧公園や給田四丁目緑地とその周辺、大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺は比較的多様な環境から構成されていた。一方、等々力渓谷公園、烏山川緑道は比較的単一な環境であった。

表 5-2　各区分の調査地別の確認状況

区分				調査地区※				
				1	2	3	4	5
自然面	緑被	樹木地	樹木	●	●	●	●	●
			竹林		●	●		●
		草地		●	●	●	●	●
		屋上緑地		●		●		●
		農地				●		
		水面		●		●		
		裸地		●		●	●	●
道路・建築物等				●	●	●	●	●
合計区分数				6	4	8	4	6

※ 1：都立砧公園、2：等々力渓谷公園、3：給田四丁目緑地とその周辺、4：烏山川緑道、5：大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺

b) 各調査地区の面積と区分別の構成割合

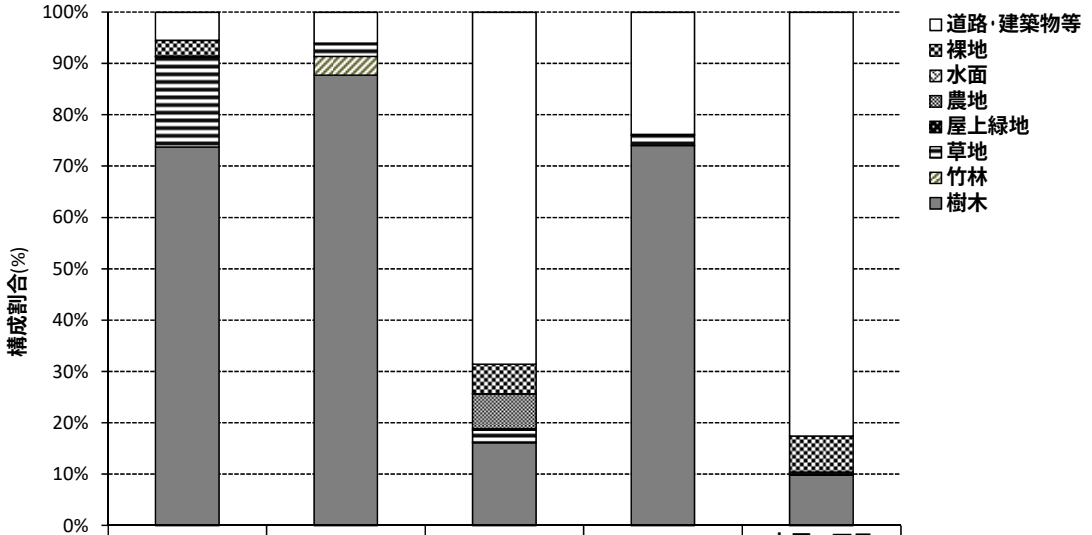
各調査地区の区分別の面積及び構成割合は、図 5-1 に示すとおりである。

全体面積としては、都立砧公園が最も大きく、次いで給田四丁目緑地とその周辺、大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺、等々力渓谷公園、烏山川緑道の順であった。

区分別の構成割合としては、都立砧公園、等々力渓谷公園は全体の 90%以上を自然面が占めており、都立砧公園は全体の 70%以上、等々力渓谷公園は 80%以上をが樹木で構成されていた。また、都立砧公園は樹木に加え、草地も一定割合で確認された。

一方、調査地区に市街地を含む給田四丁目緑地とその周辺、大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺は、自然面の割合がおよそ 20%～30%となっており、道路・建築物等が多くを占めていた。自然面の構成要素としては、給田四丁目緑地とその周辺は樹木や草地に加え、農地や裸地も一定割合で確認され、多様な環境で構成されていた。大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺は、樹木に次いで裸地が多くを占めていた。

また、烏山川緑道は自然面がおよそ 75%と高い値を示した。ただし、烏山川緑道が緑道は幅が数メートルの細長い形状をした調査地区であり、両側のほとんどは市街地となっている。



	都立砧公園	等々力渓谷公園	給田四丁目緑地とその周辺	烏山川緑道	大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺
道路・建築物等	2.5	0.2	23.8	0.4	9.6
裸地	1.4	–	2.0	0.003	0.8
水面	0.1	–	0.002	–	–
農地	–	–	2.4	–	–
屋上緑地	0.004	–	0.1	–	0.008
草地	7.9	0.07	0.8	0.03	0.05
竹林	–	0.1	0.03	–	0.008
樹木	33.3	2.4	5.6	1.2	1.1

図 5-1　各調査地区における区分別の面積及び構成割合

※グラフ下の表の数値は面積(ha)を示す。

②　みどりの資源と生物資源の関係

みどりの資源と植物種数の確認状況を図 5-2 に示す。

項目別にみると、植物と昆虫類は、都立砧公園、給田四丁目緑地とその周辺、烏山川緑道で種数が多く確認された。これは、これらの調査地区において多様な環境が存在しているためと考えられる。また、烏山川緑道については、歩道に沿った細長い形状をしており、樹木下は明るく路傍雑草が多く侵入しやすい環境であるため、進入した複数の種が活着し成長できる効果があることも要因と考えられる。

哺乳類・爬虫類・両生類は、調査地区間で大きな違いはみられなかったが、都立砧公園と等々力渓谷公園でやや多い傾向にあった。これは、これらの生物が比較的広い生息環境を必要とするため、環境の多様性よりも生息環境として利用できる面積の大きさに比例したものと考えられる。

鳥類も哺乳類・爬虫類・両生類と同様の傾向であったが、給田四丁目緑地とその周辺でも多くみられた。これは、鳥類は、その移動性の高さにより、給田四丁目緑地とその周辺の多様な環境を利用することができるためと考えられた。

魚類は等々力渓谷公園でやや多くなり、底生動物は都立砧公園でやや多かったが、大きな違いはみられなかった。

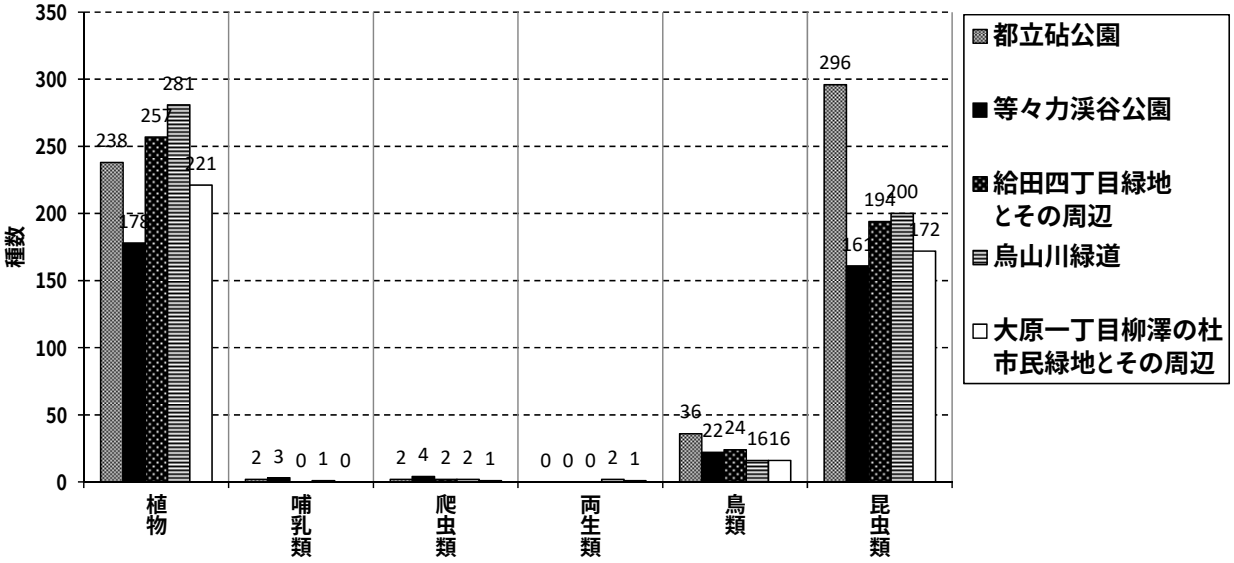


図 5-2　調査地区別の確認種数（植物、哺乳類、爬虫類、両生類、鳥類、昆虫類）

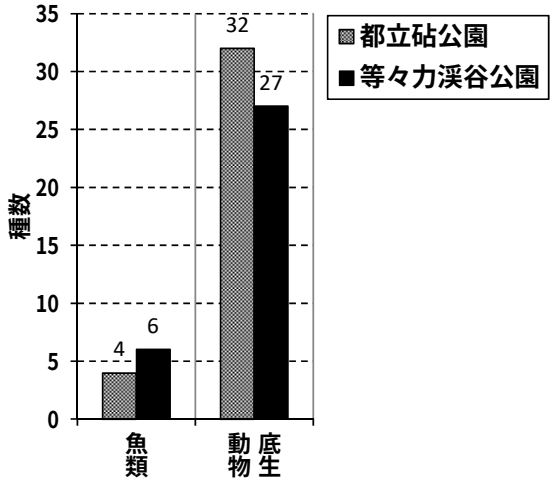


図 5-3　調査地区別の確認種数（魚類、底生動物）

（2）調査地区毎の生育・生息環境の課題

生物の生息･生育環境としての観点から､各調査地区内の環境を以下の視点で評価し、表 5-4 に示すとおり課題・留意点を整理した。また、ここにまとめる課題・留意点は、今後世田谷全域における同様の環境において活かすことが期待される。

表 5-3　評価の視点

凡例	評価の視点	
1	生物の多様性が高い環境	多様な生物の生息・生育環境となるとともに、周辺環境への波及効果も期待できるため、保全が望まれる。
2	面積は小さくても他ではみられない種が生息する環境（特殊性）	地域の生物の多様化へ寄与するため､保全が望まれる。
3	植生の維持管理方法等の変更等で生物の多様性が高まる環境	生物の生育・生息環境に配慮した管理により、生物の多様化へ寄与する。
4	区内全域で普通にみられる環境	生物の生育・生息環境に配慮した植栽等により、生物の多様化へ寄与する。

表 5-4(1)　各調査地区の生息・生育環境の課題と留意点

調査地区	環境要素	課題・留意点	評価
都立砧公園	樹木地	・大規模な樹林が形成され、樹林地に依存する種や、一定規模の面積が必要な種など、重要種を含む多様な生物の生息地となっており、今後も維持することが望まれる。特にサンクチュアリは階層構造の豊かな樹林が形成されており、樹林性の生物の貴重な生息地となっている。 ・サンクチュアリ内の一部でクズが繁茂し、林縁の樹木を覆っているため、単調な環境になりつつある。多様な種からなる樹林を維持するためクズを適度に間伐することが望ましい。	1
	草地	・サンクチュアリ内では水域から陸域にかけて多様な生物が生息するエコトーンが形成されている。草本が繁茂し、エコトーンが失われることがないように、適度に草刈をすることが望ましい。 ・サンクチュアリ内の草地で特定外来生物のアレチウリが確認されているため、群落が拡大する前に駆除することが望ましい。	2
	河川	・水生生物の重要な生息環境となっている。 ・洗浄により河床環境の多様性が失われ、魚類や底生動物の多様性の低下を招く可能性がある。一部落ち葉や堆積物を維持する区間を設けて、多様な河床環境を創出することが望ましい。	2
	池	・水生生物の重要な生息環境となっている。 ・池から陸域にかけて多様な生物が生息するエコトーンが形成されている。草本が繁茂し、エコトーンが失われることがないように、適度に草刈をすることが望ましい。	2
等々力渓谷公園	樹木地	・階層構造の豊かな樹林が形成され、樹林地に依存する種や、一定規模の面積が必要な種の生息地となっており、今後も維持することが望まれる。	1
	河川	・水生生物の重要な生息環境となっている。 ・主にコンクリート護岸となっており、単調な環境であるものの、水際に植生がある箇所や、河床に堆積物がある箇所といった水生生物の生息環境は、今後も維持することが望ましい。	2
	湧水	・湿性の植物の生育環境として機能しており、今後も定期的なモニタリングを行い、保全を継続していくことが望ましい。	2

表 5-4(2)　各調査地区の生息・生育環境の課題と留意点

調査地区	環境要素	課題・留意点	評価
給田四丁目緑地とその周辺	住宅地	・庭木や垣根の植栽も生物の生息環境として利用されるため、積極的に植栽することが望ましい。 ・植栽する際は、在来種を用いることが望ましい。	4
	街路樹	・樹林帯の幅を持たせ、複層林化することで、生物の生息・生育環境としての機能が高まる。	3
	庭園	・屋敷林として樹林が維持されており、樹林性の生物の生息・生育環境となっているため、今後も維持することが望ましい。 ・林床が暗く、草本層の多様性が乏しい。一部上層木を間伐し、林床に光を届けると、林床の多様性が向上する。	3
烏山川緑道	樹木地	・樹林帯の幅を持たせ、複層林化することで、生物の生息・生育環境としての機能が高まる。	3
	草地	・一部草刈を実施しない区間を設けると、草本類の自然侵入が促進され、植物の種数の増加に伴い昆虫類などの動物の利用も増えることが期待される。	3
大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺	庭園	・一部草刈を実施しない区間を設けると、草本類の自然侵入が促進され、植物の種数の増加に伴い昆虫類などの動物の利用も増えることが期待される。	3
	住宅地	・庭木や垣根の植栽も生物の生息環境として利用されるため、積極的に植栽することが望ましい。 ・植栽する際は、在来種を用いることが望ましい。	4

5-2. 継続調査の検討

世田谷区内では、各主体による生物調査が実施されており、生物情報の蓄積が進んでいる場所もみられる。しかし、各調査の調査項目や調査時期、回数などの努力量や調査精度が異なるため、場所ごとの比較や経年変化を的確に把握することが難しい。

本調査では、世田谷区内の代表的な環境を調査地区として調査努力量（調査人数、調査時間など）や精度を統一した現地調査を実施した。その結果、生物資源の現況は、おおむね把握できたと考えられる。

今後、世田谷区として、世田谷みどり 33 や生物多様性地域戦略等に則り、緑化や生物多様性の向上が図られることになると想定される。そこで、その成果の指標として、生物資源の状況を活用するためのモニタリング調査計画を検討した。

（1）生物モニタリング調査計画

① 調査地区の設定

生物の生息・生育状況を同一条件下で比較するために、表 5-5 に示すとおり、調査地区は本調査地区と同地点で行う。

表 5-5　モニタリング調査地区

調査地区番　号	地域区分[注)]	行政区域	調査地区名	環境要素
1	①みどりの連続性が高い地域	砧	都立砧公園	樹林、草地、河川（谷戸川）、池（サンクチュアリ）
2		玉川	等々力渓谷公園	樹林、河川、湧水
3	②住宅地の中に中・小規模緑地が点在する地域	烏山	給田四丁目緑地とその周辺	住宅地、街路樹
4		世田谷	烏山川緑道	樹林、草地
5	③市街化が進み比較的みどりが少ない地域	北沢	大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺	庭園、樹林、住宅地、街路樹

注）地域区分は、平成 28 年度策定「生きものつながる世田谷プラン」による。

② 調査頻度の設定

各調査地区の環境の経年変化と、生物の生息・生育状況の変化を定量的に比較するため、調査頻度はみどりの資源調査に合わせて 5 年または 10 年に一度とする。

③ 調査内容の設定

調査内容として、本業務調査項目、調査時期、調査方法を表 5-6 に示す。生物の生息・生育状況を同一条件下で比較するために、本調査内容と同様の内容とする。

表 5-6　モニタリング調査内容

調査項目	調査時期	調査方法	備考
植物	3 季 （春、夏、秋）	・目視確認	
哺乳類 爬虫類 両生類	2 季 （春、秋）	・目視確認 ・捕獲確認（爬虫類・両生類のみ） ・フィールドサイン法（哺乳類のみ） ・無人撮影法（哺乳類のみ）	無人撮影法は各調査地区で 2 地点設定
鳥類	2 季 （夏、冬）	・ラインセンサス法 ・任意確認	ラインセンサス法は各調査地区で 1 ライン設定
魚類 底生動物	2 季 （春、秋）	・任意採集法 （タモ網、投網、定置網）	定置網の設置は 1 晩
昆虫類	3 季 （春、夏、秋）	・任意採集法 ・ピットフォールトラップ法 ・ライトトラップ法 ・夜間灯火採集（烏山川緑道のみ）	各トラップ法は各調査地区でそれぞれ 1 地点設定 ピットフォールトラップ法は 1 地点あたり 10 個、ライトトラップ法は 1 地点あたり 1 個のトラップをそれぞれ設置

（2）生物モニタリング調査実施にあたっての課題（留意点）

① 植物の重要種の取り扱い

本調査結果ではシランやエビネなど、複数の植物重要種が確認されているが、その多くは植栽された個体であった。

これらは生育環境よりも人為的な影響によるところが多いため、記録や調査結果の解釈の際は、自然侵入した重要種とは区別する必要がある。

② 緑地の管理状況の記録

調査地区のうち、給田四丁目緑地や烏山川緑道、大原一丁目柳澤の杜市民緑地は定期的に下草刈りが行われており、調査実施時期によっては草刈直後で草本類の確認数が減る可能性がある。

そのため、調査実施の際は、植物相調査結果および草地を生息環境とする種の出現状況の解釈のための資料として、下草刈りの有無など、緑地の管理状況を併せて記録することが望ましい。

資　　料　　編

1.植物確認種リスト	生物資料-1
2.哺乳類確認種リスト	生物資料-4
3.爬虫類確認種リスト	生物資料-4
4.両生類確認種リスト	生物資料-4
5.鳥類確認種リスト	生物資料-5
6.昆虫類確認種リスト	生物資料-6
7.魚類確認種リスト	生物資料-15
8.底生動物確認種リスト	生物資料-15
9.重要種確認地点	生物資料-16
10.特定外来生物確認地点	生物資料-17

1.植物確認種リスト

No	分類群	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大蔵一丁目柳瀬の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト	備考
					春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	1	2	3	4	5			
1	シダ植物門	イワヒバ	カタヒバ	*Selaginella involvens*					●																		
2			イワヒバ	*Selaginella tamariscina*						●																		植栽
3			コンテリクラマゴケ	*Selaginella uncinata*													●									国外/総合対策/その他/IV		逸出
4		トクサ	スギナ	*Equisetum arvense*	●	●					●	●	●		●	●	●	●										
5			イヌドクサ	*Equisetum ramosissimum*												●			●									
6		ハナヤスリ	フユノハナワラビ	*Botrychium ternatum*	●																							
7		ゼンマイ	ゼンマイ	*Osmunda japonica*	●				●	●								●	●									
8		フサシダ	カニクサ	*Lygodium japonicum*					●				●						●									
9		コバノイシカグマ	フモトシダ	*Microlepia marginata*				●	●	●																		
10			ワラビ	*Pteridium aquilinum* var. *latiusculum*													●	●										
11		ミズワラビ	イワガネゼンマイ	*Coniogramme intermedia*	●			●		●																		
12			イワガネソウ	*Coniogramme japonica*					●																			
13		イノモトソウ	オオバノイノモトソウ	*Pteris cretica*				●																				
14			イノモトソウ	*Pteris multifida*	●			●		●			●						●	●								
15		オシダ	リョウメンシダ	*Arachniodes standishii*				●	●	●																		
16			オニヤブソテツ	*Cyrtomium falcatum*		●		●							●		●											
17			ヤブソテツ	*Cyrtomium fortunei*	●	●	●	●	●	●						●			●									
18			ヤマヤブソテツ	*Cyrtomium fortunei* var. *clivicola*					●																			
19			ベニシダ	*Dryopteris erythrosora*	●			●		●									●	●								
20			クマワラビ	*Dryopteris lacera*					●																			
21			アスカイノデ	*Polystichum fibrilloso-paleaceum*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																	VU					
22			イノデ	*Polystichum polyblepharum*	●			●	●	●			●															
23			ジュウモンジシダ	*Polystichum tripteron*	●	●		●		●																		
24		ヒメシダ	ミゾシダ	*Stegnogramma pozoi* ssp. *mollissima*			●		●	●																		
25			ヒメワラビ	*Thelypteris torresiana* var. *calvata*		●				●																		
26			ミドリヒメワラビ	*Thelypteris viridifrons*	●	●		●	●																			
27		メシダ	イヌワラビ	*Athyrium niponicum*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●									
28			クサソテツ	*Matteuccia struthiopteris*													●											
29		ウラボシ	ノキシノブ	*Lepisorus thunbergianus*		●		●	●																			
30	種子植物門 裸子植物亜門	ソテツ	ソテツ	*Cycas revoluta*													●											
31		イチョウ	イチョウ	*Ginkgo biloba*	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●									植栽
32		マツ	ヒマラヤスギ	*Cedrus deodara*			●					●		●		●												植栽
33			アカマツ	*Pinus densiflora*	●	●	●				●	●	●															植栽
34			クロマツ	*Pinus thunbergii*	●	●	●					●																植栽
35		スギ	スギ	*Cryptomeria japonica*				●	●	●							●	●	●									植栽
36			メタセコイア	*Metasequoia glyptostroboides*													●	●										植栽
37		ヒノキ	ヒノキ	*Chamaecyparis obtusa*		●	●	●	●		●	●	●					●										植栽
38			サワラ	*Chamaecyparis pisifera*	●		●	●		●							●		●									植栽
39			カイヅカイブキ	*Juniperus chinensis* cv. *pyramidalis*							●						●		●									植栽
40			ハイビャクシン	*Juniperus chinensis* var. *procumbens*								●	●					●	●									植栽
41			ネズ	*Juniperus rigida*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		・					
42			コノテガシワ	*Thuja orientalis*							●		●					●	●									植栽
43		マキ	イヌマキ	*Podocarpus macrophyllus*				●	●	●		●	●						●									植栽
44		イヌガヤ	イヌガヤ	*Cephalotaxus harringtonia*						●		●																植栽
45		イチイ	イチイ	*Taxus cuspidata*						●		●			●	●	●											植栽
46		カヤ	カヤ	*Torreya nucifera*								●				●	●		●									植栽
47	種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 離弁花亜綱	ヤマモモ	ヤマモモ	*Myrica rubra*	●	●	●		●	●	●	●	●	●			●	●										
48		クルミ	サワグルミ	*Pterocarya rhoifolia*		●			●																			
49		ヤナギ	シダレヤナギ	*Salix babylonica* var. *lavalei*	●		●										●											植栽
50		カバノキ	ヤシャブシ	*Alnus firma*			●																					
51			ハンノキ	*Alnus japonica*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																	VU					
52			サワシバ	*Carpinus cordata*													●											
53			クマシデ	*Carpinus japonica*													●											植栽
54			イヌシデ	*Carpinus tschonoskii*	●	●	●	●	●	●					●	●	●											
55		ブナ	クリ	*Castanea crenata*							●	●					●	●										植栽
56			スダジイ	*Castanopsis cuspidata* var. *sieboldii*	●	●	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●									
57			マテバシイ	*Lithocarpus edulis*	●	●	●				●		●		●		●											植栽
58			アカガシ	*Quercus acuta*				●	●	●																		
59			クヌギ	*Quercus acutissima*			●		●				●			●	●	●										
60			アラカシ	*Quercus glauca*	●	●		●	●									●										
61			シラカシ	*Quercus myrsinaefolia*	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●								
62			ウバメガシ	*Quercus phillyraeoides*	●		●					●	●	●						●								植栽
63			ウラジロガシ	*Quercus salicina*				●			●																	
64			コナラ	*Quercus serrata*	●	●		●	●	●			●	●	●	●	●	●										
65			アベマキ	*Quercus variabilis*													●	●										植栽
66		ニレ	ムクノキ	*Aphananthe aspera*	●	●	●	●		●	●	●	●				●	●										
67			エノキ	*Celtis sinensis* var. *japonica*	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●									
68			ハルニレ	*Ulmus japonica*									●	●			●											植栽
69			アキニレ	*Ulmus parvifolia*	●	●	●				●			●	●	●												植栽
70			ケヤキ	*Zelkova serrata*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●											
71		クワ	ヒメコウゾ	*Broussonetia kazinoki*	●	●		●	●					●	●													
72			イヌビワ	*Ficus erecta*						●																		
73			カナムグラ	*Humulus japonicus*	●	●	●					●	●															
74			ヤマグワ	*Morus australis*	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●									
75		イラクサ	ヤブマオ	*Boehmeria japonica* var. *longispica*	●	●		●	●	●																		
76			クサマオ	*Boehmeria nivea* ssp. *nipononivea*	●																							
77			アカソ	*Boehmeria sylvestris*							●																	
78		タデ	ミズヒキ	*Antenoron filiforme*		●	●	●	●	●						●												
79			シャクチリソバ	*Fagopyrum cymosum*								●	●													国外/総合対策 その他/IV		逸出
80			ヒメツルソバ	*Persicaria capitata*									●				●		●							国外/総合対策 その他/IV V		逸出
81			イヌタデ	*Persicaria longiseta*		●	●			●		●	●			●	●		●									
82			ハナタデ	*Persicaria posumbu* var. *laxiflora*		●						●																
83			ミチヤナギ	*Polygonum aviculare*								●																
84			イタドリ	*Reynoutria japonica*	●	●					●	●	●															
85			スイバ	*Rumex acetosa*		●	●						●	●	●													
86			アレチギシギシ	*Rumex conglomeratus*	●						●	●			●	●												
87			ナガバギシギシ	*Rumex crispus*							●															国外/総合対策 その他/I		
88			ギシギシ	*Rumex japonicus*								●			●													
89			エゾノギシギシ	*Rumex obtusifolius*		●					●	●	●	●	●	●										国外/総合対策 その他/I, II, IV		
90		ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ	*Phytolacca americana*		●	●		●			●			●	●	●	●	●									
91		オシロイバナ	オシロイバナ	*Mirabilis jalapa* var. *jalapa*							●	●	●			●	●											逸出
92		サクロソウ	クルマバザクロソウ	*Molluga verticillata*														●	●									
93		スベリヒユ	スベリヒユ	*Portulaca oleracea*														●	●									
94		ナデシコ	オランダミミナグサ	*Cerastium glomeratum*														●										
95			ミミナグサ	*Cerastium holosteoides* var. *angustifolium*							●							●										
96			カワラナデシコ	*Dianthus superbus* var. *longicalycinus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		・					植栽
97			ツメクサ	*Sagina japonica*														●										
98			ノミノフスマ	*Stellaria alsine* var. *undulata*														●										
99			ウシハコベ	*Stellaria aquatica*						●		●																
100			ミドリハコベ	*Stellaria neglecta*	●						●																	
101		アカザ	シロザ	*Chenopodium album*									●	●	●		●											
102			アリタソウ	*Chenopodium ambrosioides* var. *ambrosioides*											●	●												
103			コアカザ	*Chenopodium ficifolium*							●				●													
104		ヒユ	ヒカゲイノコズチ	*Achyranthes bidentata* var. *japonica*	●	●	●				●			●	●													
105			ヒナタイノコズチ	*Achyranthes bidentata* var. *tomentosa*								●	●	●	●	●	●	●	●									
106			イヌビユ	*Amaranthus lividus*		●													●									
107			ホナガイヌビユ	*Amaranthus viridis*									●															
108		モクレン	ユリノキ	*Liriodendron tulipifera*			●																					
109			タイサンボク	*Magnolia grandiflora*				●									●											植栽・逸出
110			ハクモクレン	*Magnolia heptapeta*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●										植栽
111			コブシ	*Magnolia praecocissima*			●	●	●					●	●	●	●												
112			カラタネオガタマ	*Magnolia figo*							●																	植栽
113		マツブサ	サネカズラ	*Kadsura japonica*		●		●	●	●																		
114		クスノキ	クスノキ	*Cinnamomum camphora*	●	●	●		●	●	●			●	●			●	●									植栽・逸出
115			ヤブニッケイ	*Cinnamomum japonicum*	●	●	●	●			●	●																
116			ゲッケイジュ	*Laurus nobilis*											●				●									植栽
117			タブノキ	*Machilus thunbergii*					●	●		●					●											
118			シロダモ	*Neolitsea sericea*	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●			●	●	●								
119		カツラ	カツラ	*Cercidiphyllum japonicum*	●			●	●								●			●	●							植栽
120		キンポウゲ	センニンソウ	*Clematis terniflora*	●	●	●				●																	
121		メギ	イカリソウ属の一種	*Epimedium* sp.															●									植栽
122			ヒイラギナンテン	*Mahonia japonica*		●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●								国外/総合対策 その他/IV		逸出
123			ナンテン	*Nandina domestica*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●										逸出
124		アケビ	アケビ	*Akebia quinata*		●	●	●		●																		
125			ミツバアケビ	*Akebia trifoliata*	●					●																		
126			ムベ	*Stauntonia hexaphylla*				●	●			●																逸出
127		ツヅラフジ	アオツヅラフジ	*Cocculus orbiculatus*	●					●		●					●											
128			ツヅラフジ	*Sinomenium acutum*													●											
129		ドクダミ	ドクダミ	*Houttuynia cordata*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●									
130		センリョウ	フタリシズカ	*Chloranthus serratus*	●																							
131			センリョウ	*Sarcandra glabra*					●				●	●	●	●												逸出
132		ボタン	ボタン	*Paeonia suffruticosa*							●	●																植栽
133		マタタビ	サルナシ	*Actinidia arguta*								●																植栽
134		ツバキ	ヤブツバキ	*Camellia japonica*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●									
135			サザンカ	*Camellia sasanqua*	●		●		●	●					●													植栽・逸出
136			サカキ	*Cleyera japonica*				●	●								●	●	●									植栽・逸出
137			ハマヒサカキ	*Eurya emarginata*				●	●	●							●	●										植栽・逸出
138			ヒサカキ	*Eurya japonica*	●	●	●	●	●		●				●	●	●	●	●									
139			ヒメシャラ	*Stewartia monadelpha*								●	●															植栽
140			モッコク	*Ternstroemia gymnanthera*					●	●							●											
141			チャノキ	*Thea sinensis*		●	●		●	●	●	●	●	●	●			●	●									植栽・逸出
142		オトギリソウ	ビヨウヤナギ	*Hypericum chinense* var. *salicifolium*									●	●	●	●			●									植栽
143		ケシ	クサノオウ	*Chelidonium majus* var. *asiaticum*															●									
144			ムラサキケマン	*Corydalis incisa*	●																							
145			タケニグサ	*Macleaya cordata*	●	●	●					●																
146			ナガミヒナゲシ	*Papaver dubium*							●			●	●													
147		アブラナ	ナズナ	*Capsella bursa-pastoris*										●														
148			ミチタネツケバナ	*Cardamine hirsuta*													●		●									
149			マメグンバイナズナ	*Lepidium virginicum*								●																
150			ショカツサイ	*Orychophragmus violaceus*							●							●										
151			イヌガラシ	*Rorippa indica*										●	●			●										
152			グンバイナズナ	*Thlaspi arvense*														●										
153		マンサク	トサミズキ	*Corylopsis spicata*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																NT							
154			マンサク	*Hamamelis japonica*			●											●	●									植栽
155			マルバマンサク	*Hamamelis japonica* var. *obtusata*															●									植栽
156		ベンケイソウ	メキシコマンネングサ	*Sedum mexicanum*										●	●													
157		ユキノシタ	ウツギ	*Deutzia crenata*				●	●					●				●										
158			マルバウツギ	*Deutzia scabra*							●				●	●												植栽・逸出
159			アジサイ	*Hydrangea macrophylla*		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●												植栽
160			ガクアジサイ	*Hydrangea macrophylla* f. *normalis*	●																							植栽
161			ユキノシタ	*Saxifraga stolonifera*		●		●	●					●				●	●									
162		スズカケノキ	モミジバスズカケノキ	*Platanus* x *acerifolia*			●																					植栽
163		バラ	クサボケ	*Chaenomeles japonica*										●														逸出
164			ボケ	*Chaenomeles speciosa*														●	●	●								逸出
165			ヘビイチゴ	*Duchesnea chrysantha*	●																							
166			ヤブヘビイチゴ	*Duchesnea indica*	●	●	●									●		●	●	●								
167			ビワ	*Eriobotrya japonica*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●										国外/産業管理/IV		植栽
168			ダイコンソウ	*Geum japonicum*	●		●									●												
169			ヤマブキ	*Kerria japonica*	●		●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●									植栽・逸出
170			ハナカイドウ	*Malus halliana*														●	●									植栽
171			カナメモチ	*Photinia glabra*		●	●				●	●	●	●	●	●	●	●										植栽
172			イヌザクラ	*Prunus buergeriana*	●																							植栽
173			ウワミズザクラ	*Prunus grayana*		●		●		●																		植栽
174			オオシマザクラ	*Prunus lannesiana* var. *speciosa*														●										植栽
175			ウメ	*Prunus mume*	●		●		●	●	●	●	●			●		●	●	●								植栽
176			シダレザクラ	*Prunus pendula* f. *pendula*										●														植栽
177			モモ	*Prunus persica*										●	●													植栽
178			ソメイヨシノ	*Prunus* x *yedoensis*	●		●						●	●		●	●		●									植栽
179			トキワサンザシ	*Pyracantha coccinea*										●												国外/総合対策 その他/IV		植栽・逸出
180			シャリンバイ	*Rhaphiolepis umbellata*		●					●	●		●	●	●	●		●									逸出
181			シロヤマブキ	*Rhodotypos scandens*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																EN							植栽
182			ノイバラ	*Rosa multiflora*	●	●	●									●												
183			クマイチゴ	*Rubus crataegifolius*							●																	
184			ナワシロイチゴ	*Rubus parvifolius*		●										●	●											
185			カジイチゴ	*Rubus trifidus*								●																
186			コデマリ	*Spiraea cantoniensis*										●														植栽・逸出
187			シモツケ	*Spiraea japonica*										●				●	●									植栽・逸出
188			ユキヤナギ	*Spiraea thunbergii*							●	●	●	●	●	●												逸出
189		マメ	ネムノキ	*Albizia julibrissin*															●	●								逸出
190			イタチハギ	*Amorpha fruticosa*	●	●	●																			国外/総合対策 重点/II, IV, V		逸出
191			ヤブマメ	*Amphicarpaea bracteata* ssp. *edgeworthii* var. *japonica*	●	●	●					●	●				●											
192			ハナズオウ	*Cercis chinensis*												●												逸出
193			ヌスビトハギ	*Desmodium podocarpum* ssp. *oxyphyllum*								●																
194			ノササゲ	*Dumasia truncata*				●	●																			
195			ヤハズソウ	*Kummerowia striata*							●																	
196			ヤマハギ	*Lespedeza bicolor*													●											
197			クズ	*Pueraria lobata*	●	●	●		●		●	●				●	●											
198			ハリエンジュ	*Robinia pseudoacacia*		●	●							●			●	●								国外/産業管理/II, IV		植栽・逸出
199			エンジュ	*Sophora japonica*			●				●																	植栽
200			ムラサキツメクサ	*Trifolium pratense*								●						●										
201			シロツメクサ	*Trifolium repens*	●	●						●		●			●	●	●	●								
202			ヤハズエンドウ	*Vicia angustifolia*										●														
203			ナンテンハギ	*Vicia unijuga*			●																					逸出
204			フジ	*Wisteria floribunda*	●	●		●	●	●		●	●	●	●	●												
205		カタバミ	イモカタバミ	*Oxalis articulata*							●																	
206			ハナカタバミ	*Oxalis bowieana*		●																						
207			カタバミ	*Oxalis corniculata*	●	●	●	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●									
208			アカカタバミ	*Oxalis corniculata* f. *rubrifolia*				●						●				●										
209			ムラサキカタバミ	*Oxalis corymbosa*	●									●	●			●										
210			オッタチカタバミ	*Oxalis dillenii*			●	●			●			●				●	●	●								
211		フウロソウ	アメリカフウロ	*Geranium carolinianum*							●			●				●		●								
212			ゲンノショウコ	*Geranium thunbergii*										●				●										

No	分類群	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト	備考
					春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	1	2	3	4	5			
213		トウダイグサ	エノキグサ	*Acalypha australis*		●						●	●					●									
214			コニシキソウ	*Euphorbia supina*								●			●			●	●								
215			アカメガシワ	*Mallotus japonicus*	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●								
216			ナガエコミカンソウ	*Phyllanthus tenellus*									●		●	●		●	●								
217			コミカンソウ	*Phyllanthus urinaria*		●									●			●									
218			ナンキンハゼ	*Sapium sebiferum*									●													国外/総合対策_その他/Ⅳ	逸出
219		ユズリハ	ユズリハ	*Daphniphyllum macropodum*	●	●	●				●		●														逸出
220		ミカン	ユズ	*Citrus junos*						●					●		●	●									植栽
221			ナツミカン	*Citrus natsudaidai*						●	●	●	●	●	●			●									植栽
222			コクサギ	*Orixa japonica*				●	●																		
223			サンショウ	*Zanthoxylum piperitum*	●	●					●	●	●		●		●	●	●								植栽・逸出
224		ニガキ	シンジュ	*Ailanthus altissima*											●	●										国外/総合対策_重点/Ⅳ	植栽
225		センダン	センダン	*Melia azedarach*									●		●												植栽・逸出
226		ウルシ	ヌルデ	*Rhus javanica* var. *roxburgii*	●	●			●	●	●	●	●														
227			ハゼノキ	*Rhus succedanea*	●	●	●																				植栽
228			ヤマハゼ	*Rhus sylvestris*		●																					植栽
229		カエデ	トウカエデ	*Acer buergerianum*	●	●								●		●	●	●									植栽・逸出
230			イタヤカエデ	*Acer mono*										●	●	●											植栽
231			イロハモミジ	*Acer palmatum*	●	●	●		●	●	●	●	●	●		●	●	●	●								植栽
232			ヤマモミジ	*Acer palmatum* var. *matumurae*							●				●		●										植栽
233			コハウチワカエデ	*Acer sieboldianum*											●												植栽
234		トチノキ	トチノキ	*Aesculus turbinata*			●								●												植栽
235		モチノキ	シナヒイラギ	*Ilex cornuta*	●			●	●	●	●			●			●	●	●								植栽・逸出
236			イヌツゲ	*Ilex crenata*	●	●	●		●			●	●	●	●	●	●	●									植栽・逸出
237			モチノキ	*Ilex integra*			●	●	●	●	●	●	●	●	●				●								植栽
238			ソヨゴ	*Ilex pedunculosa*															●								植栽
239			クロガネモチ	*Ilex rotunda*		●											●										植栽
240		ニシキギ	ツルウメモドキ	*Celastrus orbiculatus*					●																		
241			コマユミ	*Euonymus alatus* f. *ciliato-dentatus*			●	●	●	●					●												
242			ツルマサキ	*Euonymus fortunei* var. *radicans*				●																			
243			マサキ	*Euonymus japonicus*	●																						植栽
244			マユミ	*Euonymus sieboldianus*	●	●		●																			
245		ミツバウツギ	ゴンズイ	*Euscaphis japonica*			●																				
246		ツゲ	フッキソウ	*Pachysandra terminalis*					●	●																	植栽
247		クロウメモドキ	クマヤナギ	*Berchemia racemosa*													●										
248		ブドウ	ノブドウ	*Ampelopsis glandulosa* var. *heterophylla*		●	●				●	●	●		●			●									
249			ヤブガラシ	*Cayratia japonica*	●		●				●	●	●	●	●	●	●	●	●								
250			ツタ	*Parthenocissus tricuspidata*	●			●									●										
251			エビヅル	*Vitis ficifolia* var. *lobata*	●						●	●															
252		アオイ	フヨウ	*Hibiscus mutabilis*							●	●						●	●							国外/総合対策_その他/Ⅰ	植栽
253			ムクゲ	*Hibiscus syriacus*							●	●	●	●	●	●		●	●								逸出
254			ゼニアオイ	*Malva sylvestris* var. *mauritiana*										●													逸出
255		アオギリ	アオギリ	*Firmiana simplex*	●	●	●	●			●	●	●	●		●											逸出
256		ジンチョウゲ	ジンチョウゲ	*Daphne odora*									●	●		●											植栽
257		グミ	ツルグミ	*Elaeagnus glabra*	●	●	●							●		●		●									植栽
258		スミレ	タチツボスミレ	*Viola grypoceras*	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●								
259			スミレ	*Viola mandshurica*									●				●	●									
260			ツボスミレ	*Viola verecunda*	●	●											●		●								
261			ノジスミレ	*Viola yedoensis*															●								
262		キブシ	キブシ	*Stachyurus praecox*	●			●																			
263		ウリ	アレチウリ	*Sicyos angulatus*			●																		●	国外/総合対策_緊急/Ⅳ,Ⅴ	
264			カラスウリ	*Trichosanthes cucumeroides*		●			●		●	●	●		●	●											
265		ミソハギ	サルスベリ	*Lagerstroemia indica*	●					●					●			●	●								植栽
266		アカバナ	アカバナ	*Epilobium pyrricholophum*							●	●		●	●			●									
267			メマツヨイグサ	*Oenothera biennis*							●			●				●									
268			ユウゲショウ	*Oenothera rosea*													●										
269			ヒルザキツキミソウ	*Oenothera speciosa* var. *speciosa*										●													植栽
270			マツヨイグサ	*Oenothera striata*											●		●										
271		ザクロ	ザクロ	*Punica granatum*						●																	植栽
272		ミズキ	アオキ	*Aucuba japonica*		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
273			ハナミズキ	*Benthamidia florida*			●		●	●	●	●	●	●	●	●		●	●								植栽
274			ヤマボウシ	*Benthamidia japonica*					●			●						●	●								植栽
275			ミズキ	*Cornus controversa*	●	●		●	●	●	●								●								
276			クマノミズキ	*Cornus macrophylla*			●									●											植栽
277			サンシュユ	*Cornus officinalis*													●	●									植栽
278		ウコギ	メダラ	*Aralia elata* var. *subinermis*														●									
279			カクレミノ	*Dendropanax trifidus*		●	●	●	●		●	●	●	●													
280			ヤツデ	*Fatsia japonica*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								逸出
281			セイヨウキヅタ	*Hedera helix*		●			●		●	●	●	●	●		●		●								逸出
282			キヅタ	*Hedera rhombea*	●	●	●		●	●		●			●	●											
283			ハリギリ	*Kalopanax pictus*											●												植栽
284		セリ	セントウソウ	*Chamaele decumbens*			●																				
285			ミツバ	*Cryptotaenia japonica*		●							●		●												
286			ハナウド	*Heracleum nipponicum*										●													逸出
287			チドメグサ	*Hydrocotyle sibthorpioides*	●						●					●	●										
288			ヤブニンジン	*Osmorhiza aristata*				●																			
289			ウマノミツバ	*Sanicula chinensis*	●	●																					
290			ヤブジラミ	*Torilis japonica*	●																						
291	種子植物門 被子植物亜門 双子葉植物綱 合弁花亜綱	ツツジ	ドウダンツツジ	*Enkianthus perulatus*		●			●	●				●	●	●	●										植栽
292			アセビ	*Pieris japonica*	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								植栽
293			ミツバツツジ	*Rhododendron dilatatum*							●	●	●				●	●	●								植栽
294			サツキ	*Rhododendron indicum*	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								植栽・逸出
295			キリシマツツジ	*Rhododendron obtusum*		●						●			●			●	●								植栽
296			ヤマツツジ	*Rhododendron obtusum* var. *kaempferi*	●						●		●	●	●		●	●	●								植栽
297			オオムラサキ	*Rhododendron pulchrum*		●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●									植栽
298		ヤブコウジ	マンリョウ	*Ardisia crenata*	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●								植栽・逸出
299			ヤブコウジ	*Ardisia japonica*						●																	
300		サクラソウ	コナスビ	*Lysimachia japonica* f. *subsessilis*		●	●			●	●					●	●										
301		カキノキ	カキノキ	*Diospyros kaki*			●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								逸出
302		エゴノキ	エゴノキ	*Styrax japonicus*	●	●	●				●		●	●	●	●		●									植栽
303			ハクウンボク	*Styrax obassia*	●	●	●				●	●	●														植栽
304		ハイノキ	サワフタギ	*Symplocos chinensis* var. *leucocarpa* f. *pilosa*								●	●														植栽
305		モクセイ	シナレンギョウ	*Forsythia viridissima*									●	●	●	●											植栽・逸出
306			マルバアオダモ	*Fraxinus sieboldiana*												●											
307			ネズミモチ	*Ligustrum japonicum*									●	●		●			●								逸出
308			トウネズミモチ	*Ligustrum lucidum*	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●	●							国外/総合対策_重点/Ⅱ,Ⅳ	植栽・逸出
309			イボタノキ	*Ligustrum obtusifolium*	●		●						●														植栽
310			ヒイラギモクセイ	*Osmanthus x fortunei*		●	●		●				●														逸出
311			キンモクセイ	*Osmanthus fragrans* var. *aurantiacus*	●	●			●		●	●	●	●	●	●	●	●	●								植栽
312			ヒイラギ	*Osmanthus heterophyllus*							●	●	●					●	●								植栽・逸出
313		キョウチクトウ	キョウチクトウ	*Nerium oleander* var. *indicum*							●	●			●	●											植栽
314			テイカカズラ	*Trachelospermum asiaticum* f. *intermedium*			●					●					●										
315			ツルニチニチソウ	*Vinca major*				●										●								国外/総合対策_重点/Ⅳ	逸出
316		アカネ	クチナシ	*Gardenia jasminoides*		●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●								植栽
317			コクチナシ	*Gardenia jasminoides* var. *radicans*						●																	植栽
318			ヘクソカズラ	*Paederia scandens*	●	●					●	●	●	●	●	●		●	●								
319			アカネ	*Rubia argyi*			●																				
320			ハクチョウゲ	*Serissa japonica*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																	EN					植栽
321		ヒルガオ	コヒルガオ	*Calystegia hederacea*	●						●	●		●													
322			ヒルガオ	*Calystegia japonica*								●		●	●												
323		ムラサキ	ハナイバナ	*Bothriospermum tenellum*							●			●	●		●										
324			キュウリグサ	*Trigonotis peduncularis*												●	●		●								
325		クマツヅラ	コムラサキ	*Callicarpa dichotoma*								●	●		●												植栽
326			ムラサキシキブ	*Callicarpa japonica*				●	●	●			●			●			●								
327		シソ	トウバナ	*Clinopodium gracile*	●	●									●		●	●	●								
328			カキドオシ	*Glechoma hederacea* var. *grandis*		●						●	●					●									
329			ホトケノザ	*Lamium amplexicaule*												●	●										
330			マルバハッカ	*Mentha suaveolens*										●					●								逸出
331			イヌコウジュ	*Mosla punctulata*									●														
332			チリメンジソ	*Perilla frutescens* var. *crispa*											●												逸出
333			タツナミソウ	*Scutellaria indica*													●	●									
334		ナス	クコ	*Lycium chinense*									●														
335			ワルナスビ	*Solanum carolinense*								●			●	●											
336			ヒヨドリジョウゴ	*Solanum lyratum*	●	●									●		●	●									
337			タマサンゴ	*Solanum pseudocapsicum*						●		●	●					●	●								植栽・逸出
338			アメリカイヌホオズキ	*Solanum ptycanthum*		●				●	●		●		●	●	●	●	●								
339		ゴマノハグサ	トキワハゼ	*Mazus pumilus*							●				●												
340			タチイヌノフグリ	*Veronica arvensis*	●						●			●			●										
341			オオイヌノフグリ	*Veronica persica*										●													
342		キツネノマゴ	キツネノマゴ	*Justicia procumbens*												●											
343		オオバコ	オオバコ	*Plantago asiatica*	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●										
344			ヘラオオバコ	*Plantago lanceolata*	●												●	●									
345		スイカズラ	ハナツクバネウツギ	*Abelia x grandiflora*			●					●	●	●	●	●	●	●	●								植栽・逸出
346			スイカズラ	*Lonicera japonica*	●	●	●		●	●	●		●														
347			ニワトコ	*Sambucus racemosa* ssp. *sieboldiana*		●	●								●	●											植栽
348			ガマズミ	*Viburnum dilatatum*				●	●	●	●	●		●	●	●	●										植栽
349			サンゴジュ	*Viburnum odoratissimum* var. *awabuki*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●											植栽・逸出
350			ニシキウツギ	*Weigela decora*										●	●		●	●	●								植栽
351			タニウツギ	*Weigela hortensis*												●											植栽
352		キキョウ	キキョウ	*Triodanis grandiflorum*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																	VU	EX				植栽
353			キキョウソウ	*Triodanis perfoliata*										●			●										
354		キク	ブタクサ	*Ambrosia artemisiifolia* var. *elatior*			●						●														
355			クワモドキ	*Ambrosia trifida*	●	●	●																			国外/総合対策_重点/Ⅳ	
356			ヨモギ	*Artemisia princeps*	●		●				●	●	●	●	●	●	●	●									
357			アメリカセンダングサ	*Bidens frondosa*		●							●													国外/総合対策_その他/Ⅳ,Ⅴ	
358			コセンダングサ	*Bidens pilosa*								●															
359			ガンクビソウ	*Carpesium divaricatum*									●														
360			アメリカオニアザミ	*Cirsium vulgare*											●	●	●		●							国外/総合対策_その他/Ⅳ	
361			アレチノギク	*Conyza bonariensis*										●													
362			オオアレチノギク	*Conyza sumatrensis*											●		●										
363			オオキンケイギク	*Coreopsis lanceolata*							●	●	●	●	●										●	国外/総合対策_緊急/Ⅳ	植栽・逸出
364			キバナコスモス	*Cosmos sulphureus*		●	●					●	●		●	●											逸出
365			ダンドボロギク	*Erechtites hieracifolia*		●	●						●	●	●	●		●									
366			ヒメムカシヨモギ	*Erigeron canadensis*			●					●	●	●	●	●	●	●	●								
367			ツワブキ	*Farfugium japonicum*	●	●	●			●	●	●	●	●	●		●	●	●								逸出
368			ハキダメギク	*Galinsoga quadriradiata*		●		●	●		●	●	●		●	●		●	●								
369			ハハコグサ	*Gnaphalium affine*				●			●		●	●	●	●	●										
370			タチチチコグサ	*Gnaphalium calviceps*											●												
371			チチコグサ	*Gnaphalium japonicum*										●													
372			チチコグサモドキ	*Gnaphalium pensylvanicum*								●	●		●	●	●	●									
373			ウスベニチチコグサ	*Gnaphalium purpureum*													●										
374			ウラジロチチコグサ	*Gnaphalium spicatum*	●	●	●				●	●		●	●	●	●	●	●								
375			キクイモ	*Helianthus tuberosus*									●														
376			キツネアザミ	*Hemistepta lyrata*										●													
377			オオヂシバリ	*Ixeris debilis*	●										●												
378			イワニガナ	*Ixeris stolonifera*											●	●											
379			アキノノゲシ	*Lactuca indica* var. *indica*									●														
380			ヤブタビラコ	*Lapsana humilis*	●	●	●	●		●	●	●		●		●	●	●	●								
381			フキ	*Petasites japonicus*				●	●	●	●		●		●		●	●									
382			セイタカアワダチソウ	*Solidago altissima*	●	●	●	●			●		●	●		●		●								国外/総合対策_重点/Ⅱ,Ⅳ	
383			オニノゲシ	*Sonchus asper*							●																
384			ノゲシ	*Sonchus oleraceus*				●			●	●		●	●	●	●		●								
385			ヒメジョオン	*Stenactis annuus*	●		●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							国外/総合対策_その他/Ⅱ,Ⅳ	
386			ヤブレガサ	*Syneilesis palmata*	●																						
387			セイヨウタンポポ	*Taraxacum officinale*	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●							国外/総合対策_重点/Ⅰ,Ⅱ,Ⅳ	
388			オニタビラコ	*Youngia japonica*	●						●		●	●	●	●	●	●	●								
389	種子植物門 被子植物亜門 単子葉植物綱	ユリ	ノビル	*Allium grayi*									●				●										
390			ニラ	*Allium tuberosum*				●			●					●											逸出
391			ハラン	*Aspidistra elatior*				●	●	●	●	●	●		●	●			●								逸出
392			ホウチャクソウ	*Disporum sessile*								●	●		●		●	●	●								
393			オオバギボウシ	*Hosta montana*											●	●		●	●								
394			ハナニラ	*Ipheion uniflorum*								●														国外/総合対策_その他/Ⅳ	
395			ヤマユリ	*Lilium auratum*						●		●	●														植栽
396			タカサゴユリ	*Lilium formosanum*						●																国外/総合対策_その他/Ⅰ	植栽
397			オニユリ	*Lilium lancifolium*							●																植栽
398			ヤブラン	*Liriope muscari*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
399			ハタケニラ	*Nothoscordum gracil*							●	●		●													逸出
400			ノシラン	*Ophiopogon jaburan*						●	●	●	●		●	●		●									植栽・逸出
401			ジャノヒゲ	*Ophiopogon japonicus*								●	●			●	●		●								
402			ナガバジャノヒゲ	*Ophiopogon ohwii*	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●	●								
403			オオバジャノヒゲ	*Ophiopogon planiscapus*							●																
404			ナルコユリ	*Polygonatum falcatum*			●	●				●															
405			オオナルコユリ	*Polygonatum macranthum*							●																
406			キチジョウソウ	*Reineckea carnea*	●				●	●		●				●											
407			オモト	*Rohdea japonica*	●						●	●	●		●	●											逸出
408			ナギイカダ	*Ruscus aculeatus*				●	●	●																	逸出
409		ヒガンバナ	ハマオモト	*Crinum asiaticum* var. *japonicum*										●													逸出
410			ヒガンバナ	*Lycoris radiata*						●			●														
411			スイセン	*Narcissus tazetta* var. *chinensis*												●											
412			タマスダレ	*Zephyranthes candida*			●									●											
413		ヤマノイモ	ヤマノイモ	*Dioscorea japonica*		●	●					●	●		●			●									
414			オニドコロ	*Dioscorea tokoro*	●	●					●		●		●			●									
415		アヤメ	ジャーマンアイリス	*Iris germanica*	●																						植栽
416			シャガ	*Iris japonica*	●	●	●		●	●	●		●	●	●			●	●								植栽
417			キショウブ	*Iris pseudacorus*								●		●	●	●										国外/総合対策_重点/Ⅱ,Ⅳ	
418			アヤメ	*Iris sanguinea*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		EX				植栽
419			ニワゼキショウ	*Sisyrinchium atlanticum*	●						●						●										
420		イグサ	クサイ	*Juncus tenuis*		●											●										
421		ツユクサ	ツユクサ	*Commelina communis*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●			●								
422			ヤブミョウガ	*Pollia japonica*	●	●	●		●	●		●	●	●		●		●									
423			ノハカタカラクサ	*Tradescantia fluminensis*		●		●	●	●	●			●			●									国外/総合対策_重点/Ⅳ	
424			ムラサキツユクサ	*Tradescantia ohiensis*										●													逸出

No	分類群	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト	備考
					春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	1	2	3	4	5			
425		イネ	アオカモジグサ	*Agropyron racemiferum*	●			●			●																
426			カモジグサ	*Agropyron tsukushiense* var. *transiens*										●			●										
427			ヌカボ	*Agrostis clavata* ssp. *matsumurae*										●			●										
428			スズメノテッポウ	*Alopecurus aequalis*										●													
429			カラスムギ	*Avena fatua*	●						●																
430			ヒメコバンソウ	*Briza minor*										●	●												
431			イヌムギ	*Bromus catharticus*							●			●	●		●										
432			メヒシバ	*Digitaria ciliaris*		●	●		●			●			●			●	●								
433			コメヒシバ	*Digitaria radicosa*			●					●	●		●			●	●								
434			アキメヒシバ	*Digitaria violascens*												●		●									
435			イヌビエ	*Echinochloa crus-galli*			●			●					●	●											
436			オヒシバ	*Eleusine indica*		●	●					●			●	●		●	●								
437			カゼクサ	*Eragrostis ferruginea*									●														
438			コスズメガヤ	*Eragrostis poaeoides*		●						●			●	●		●									
439			オニウシノケグサ	*Festuca arundinacea*							●						●									国外/産業管理/Ⅱ,Ⅳ	
440			ネズミムギ	*Lolium multiflorum*	●						●			●													
441			ホソムギ	*Lolium perenne*	●																						
442			オギ	*Miscanthus sacchariflorus*	●																						
443			ススキ	*Miscanthus sinensis*			●				●	●	●	●													
444			ケチヂミザサ	*Oplismenus undulatifolius*	●	●	●	●		●	●	●		●			●		●								
445			コチヂミザサ	*Oplismenus undulatifolius* var. *japonicus*			●																				
446			ヌカキビ	*Panicum bisulcatum*												●											
447			シマスズメノヒエ	*Paspalum dilatatum*								●														国外/総合対策_その他/Ⅳ	
448			タチスズメノヒエ	*Paspalum urvillei*											●											国外/総合対策_その他/Ⅳ,Ⅴ	
449			チカラシバ	*Pennisetum alopecuroides* f. *purpurascens*			●						●														
450			ツルヨシ	*Phragmites japonica*			●																				
451			マダケ	*Phyllostachys bambusoides*						●		●	●													国外/産業管理/Ⅰ,Ⅱ,Ⅴ	植栽
452			ハチク	*Phyllostachys nigra* var. *henonis*							●						●										植栽
453			モウソウチク	*Phyllostachys pubescens*				●	●	●	●	●														国外/産業管理/Ⅰ,Ⅱ,Ⅴ	植栽
454			アズマネザサ	*Pleioblastus chino*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●									
455			メダケ	*Pleioblastus simonii*					●																		
456			ミゾイチゴツナギ	*Poa acroleuca*										●													
457			スズメノカタビラ	*Poa annua*	●						●			●			●										
458			ナガハグサ	*Poa pratensis*										●													
459			イチゴツナギ	*Poa sphondylodes*	●												●										
460			オオスズメノカタビラ	*Poa trivialis*	●												●										
461			ヤダケ	*Pseudosasa japonica*	●																						
462			ミヤコザサ	*Sasa nipponica*		●	●																				植栽
463			クマザサ	*Sasa veitchii*	●	●	●		●	●					●	●											逸出
464			ナリヒラダケ	*Semiarundinaria fastuosa*															●								植栽
465			アキノエノコログサ	*Setaria faberi*															●								
466			エノコログサ	*Setaria viridis*					●	●		●	●		●	●		●	●								
467			オカメザサ	*Shibataea kumasasa*					●						●	●											植栽
468			カニツリグサ	*Trisetum bifidum*														●									
469			シバ	*Zoysia japonica*													●										
470		ヤシ	シュロ	*Trachycarpus fortunei*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								逸出
471		サトイモ	セキショウ	*Acorus gramineus*				●	●	●																	
472		カヤツリグサ	アオスゲ	*Carex breviculmis*				●						●			●										
473			マスクサ	*Carex gibba*	●						●																
474			ジュズスゲ	*Carex ischnostachya*				●																			
475			ヒゴクサ	*Carex japonica*							●																
476			ナキリスゲ	*Carex lenta*						●						●											
477			ヒメクグ	*Cyperus brevifolius* var. *leiolepis*				●																			
478			カヤツリグサ	*Cyperus microiria*												●			●								
479		ラン	シラン	*Bletilla striata*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																NT						植栽
480			エビネ	*Calanthe discolor*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																NT	VU					植栽
合計	－	118科		480種																0種	0種	6種	7種	0種	2種	32種	－

注1. 分類、配列等は、原則として「植物目録1987」（昭和62年、環境庁）に準拠した。

注2. 重要種選定基準

1.「文化財保護法」（昭和25年5月30日公布、同日施行）に基づく天然記念物・特別天然記念物

2.「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年6月5日公布、平成5年4月1日施行）における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種

3.「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト2015の公表について」（平成27年、環境省）における選定種

EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧

4.「レッドデータブック東京2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成25年、東京都）における選定種

EX：絶滅、VU：絶滅危惧II類、　・：非分布

5. その他学術上重要な種（有識者による指摘種等）

注3. 特定外来生物選定基準

「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年法律第78号　2004年6月2日公布）による指定種

注4. 生態系被害防止外来種選定基準

「報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト-」（2015年3月、環境省）

国外：国外由来の外来種

総合対策：総合的に対策が必要な外来種（総合対策外来種）

総合対策_緊急：総合的に対策が必要な外来種（総合対策外来種）のうち、緊急対策

総合対策_重点：総合的に対策が必要な外来種（総合対策外来種）のうち、重点対策

産業管理：適切な管理が必要な産業上重要な外来種（産業管理外来種）

Ⅰ.（選定理由）生態系被害のうち交雑が確認されている、またはその可能性が高い。

Ⅱ.（選定理由）生物多様性の保全上重要な地域で問題になっている、またはその可能性が高い。

Ⅳ.（選定理由）生態系被害のうち競合または改変の影響が大きく、かつ分布拡大・拡散の可能性も高い。

Ⅴ.（選定理由）生態系被害のほか、人体や経済・産業へ幅広く被害を与えており、かつ分布拡大・拡散の可能性もある。

2.哺乳類確認種リスト

No	目名	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
					春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	1	2	3	4	5		
1	モグラ	モグラ	アズマモグラ	*Mogera imaizumi*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																				
2	コウモリ	ヒナコウモリ	アブラコウモリ	*Pipistrellus abramus*										●		●							留			
3	ネコ	アライグマ	アライグマ	*Procyon lotor*				●		●														●	国外/総合対策_緊急/Ⅰ、Ⅱ
4		イヌ	タヌキ	*Nyctereutes procyonoides*	●		●																		
5		ジャコウネコ	ハクビシン	*Paguma larvata*				●		●															
合計	3目	5科	5種																	0種	0種	0種	1種	0種	1種	1種

注1. 種名・配列等は、「種の多様性調査(動物分布調査)対象種一覧」(環境省、2002)に準拠した。
注2. 重要種選定基準
1.「文化財保護法」(昭和25年5月30日公布、同日施行)に基づく天然記念物・特別天然記念物
2.「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日公布、平成5年4月1日施行)における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
3.「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト2015の公表について」(平成27年、環境省)における選定種
4.「レッドデータブック東京2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」(平成25年、東京都)における選定種
留：留意種
5.その他学術上重要な種(有識者による指摘種等)
注3. 特定外来生物選定基準
「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年法律第78号　2004年6月2日公布）による指定種
注4. 生態系被害防止外来種選定基準
「報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト-」(2015年3月、環境省)
国外：国外由来の外来種
総合対策_緊急：総合的に対策が必要な外来種（総合対策外来種）のうち、緊急対策外来種
Ⅰ：(選定理由)生態系被害が大きいもの。
Ⅱ：(選定理由)生物多様性保全上重要な地域に侵入し、問題になっている又はその可能性が高い。

3.爬虫類確認種リスト

No	目名	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
					春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	1	2	3	4	5		
1	有鱗	ヤモリ	ニホンヤモリ	*Gekko japonicus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																				
2	有鱗	トカゲ	ヒガシニホントカゲ	*Plestiodon finitimus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		CR+EN		
3	有鱗	カナヘビ	ニホンカナヘビ	*Takydromus tachydromoides*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		VU		
4	有鱗	ナミヘビ	ヒバカリ	*Amphiesma vibakari*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		VU		
合計	1目	4科	4種																	0種	0種	0種	4種	0種	0種	0種

注1. 種名・配列等は、「日本産爬虫両生類標準和名」(日本爬虫類両生類学会、2015)に準拠した。
注2. 重要種選定基準
1.「文化財保護法」(昭和25年5月30日公布、同日施行)に基づく天然記念物・特別天然記念物
2.「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日公布、平成5年4月1日施行)における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
3.「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト2015の公表について」(平成27年、環境省)における選定種
4.「レッドデータブック東京2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」(平成25年、東京都)における選定種
CR+EN：絶滅危惧IA類、VU：絶滅危惧II類
5.その他学術上重要な種(有識者による指摘種等)
注3. 特定外来生物選定基準
「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年法律第78号　2004年6月2日公布）による指定種
注4. 生態系被害防止外来種選定基準
「報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト-」(2015年3月、環境省)

4.両生類確認種リスト

No	目名	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
					春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	1	2	3	4	5		
1	無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル	*Bufo japonicus formosus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		NT		
2	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	*Hyla japonica*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		EN		
合計	1目	2科	2種																	0種	0種	0種	2種	0種	0種	0種

注1. 種名・配列等は、「日本産爬虫両生類標準和名」(日本爬虫類両生類学会、2015)に準拠した。
注2. 重要種選定基準
1.「文化財保護法」(昭和25年5月30日公布、同日施行)に基づく天然記念物・特別天然記念物
2.「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日公布、平成5年4月1日施行)における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
3.「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト2015の公表について」(平成27年、環境省)における選定種
4.「レッドデータブック東京2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」(平成25年、東京都)における選定種
EN：絶滅危惧IB類、　NT：準絶滅危惧
5.その他学術上重要な種(有識者による指摘種等)
注3. 特定外来生物選定基準
「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年法律第78号　2004年6月2日公布）による指定種
注4. 生態系被害防止外来種選定基準
「報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト-」(2015年3月、環境省)

5.鳥類確認種リスト

No	目名	科名	種名	学名	都立砧公園		等々力渓谷公園		給田四丁目緑地とその周辺		烏山川緑道		大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺		重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
					繁殖期	越冬期	繁殖期	越冬期	繁殖期	越冬期	繁殖期	越冬期	繁殖期	越冬期	1	2	3	4	5		
1	カモ目	カモ科	カルガモ	*Anas zonorhyncha*		●	●	●						●							
2	ハト目	ハト科	ドバト	*Columba livia* var. *domestica*		●		●	●	●	●	●		●							
3			キジバト	*Streptopelia orientalis*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
4	カツオドリ目	ウ科	カワウ	*Phalacrocorax carbo*	●	●					●			●							
5	ペリカン目	サギ科	アオサギ	*Ardea cinerea*		●															
6			コサギ	*Egretta garzetta*	重要種保護の観点から重要種は非掲載													VU			
7	アマツバメ目	アマツバメ科	ヒメアマツバメ	*Apus nipalensis*	●																
8	タカ目	タカ科	トビ	*Milvus migrans*	重要種保護の観点から重要種は非掲載													NT			
9			ツミ	*Accipiter gularis*					●												
10			オオタカ	*Accipiter gentilis*	重要種保護の観点から重要種は非掲載											国内	NT	CR			
11	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ	*Alcedo atthis*	●																
12	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	*Dendrocopos kizuki*	●	●	●	●	●	●				●							
13			アカゲラ	*Dendrocopos major*	重要種保護の観点から重要種は非掲載													・			
14			アオゲラ	*Picus awokera*	重要種保護の観点から重要種は非掲載													EN			
15	スズメ目	モズ科	モズ	*Lanius bucephalus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載													VU			
16		カラス科	カケス	*Garrulus glandarius*		●															
17			オナガ	*Cyanopica cyanus*	●	●	●	●	●												
18			ハシボソガラス	*Corvus corone*	●	●			●	●		●		●							
19			ハシブトガラス	*Corvus macrorhynchos*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
20		シジュウカラ科	シジュウカラ	*Parus minor*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
21		ツバメ科	ツバメ	*Hirundo rustica*	●				●				●								
22			イワツバメ	*Delichon dasypus*	●																
23		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	*Hypsipetes amaurotis*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
24		ウグイス科	ウグイス	*Cettia diphone*	重要種保護の観点から重要種は非掲載													○			
25		エナガ科	エナガ	*Aegithalos caudatus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載													・			
26		メジロ科	メジロ	*Zosterops japonicus*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
27		ムクドリ科	ムクドリ	*Spodiopsar cineraceus*	●	●	●		●	●	●	●	●	●							
28		ヒタキ科	シロハラ	*Turdus pallidus*		●		●		●											
29			アカハラ	*Turdus chrysolaus*				●		●											
30			ツグミ	*Turdus naumanni*		●				●		●		●							
31			ルリビタキ	*Tarsiger cyanurus*						●											
32			ジョウビタキ	*Phoenicurus auroreus*						●		●									
33		スズメ科	スズメ	*Passer montanus*	●	●	●		●	●	●	●	●	●							
34		セキレイ科	キセキレイ	*Motacilla cinerea*		●		●													
35			ハクセキレイ	*Motacilla alba*	●	●			●	●		●		●							
36		アトリ科	アトリ	*Fringilla montifringilla*		●		●		●		●		●							
37			カワラヒワ	*Chloris sinica*	●	●	●			●			●	●							
38			シメ	*Coccothraustes coccothraustes*		●		●													
39			イカル	*Eophona personata*	重要種保護の観点から重要種は非掲載													NT			
40		ホオジロ科	アオジ	*Emberiza spodocephala*		●		●		●											
41	インコ目	インコ科	ホンセイインコ	*Psittacula krameri*	●	●					●	●									
合計	10目	23科	41種												0種	1種	1種	8種	0種	0種	0種

注1. 分類、配列等は、原則として「日本鳥類目録改定第7版」（平成24年、日本鳥学会）に準拠した。

注2. 重要種選定基準
1.「文化財保護法」(昭和25年5月30日公布、同日施行)に基づく天然記念物・特別天然記念物
天然：天然記念物
2.「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日公布、平成5年4月1日施行)における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
国内：国内希少野生動植物種
3.「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト2015の公表について」(平成27年、環境省)における選定種
NT：準絶滅危惧
4.「レッドデータブック東京2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」(平成25年、東京都)における選定種
CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧II類、NT：準絶滅危惧　・：非分布　○：ランク外（※ランク外は重要種として取り扱わない）
5.その他学術上重要な種(有識者による指摘種等)

注3. 特定外来生物選定基準
「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年法律第78号　2004年6月2日公布）による指定種

注4. 生態系被害防止外来種選定基準
「報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト-」(2015年3月、環境省)

(調査方法別)

No	目名	科名	種名	学名	都立砧公園				等々力渓谷公園				給田四丁目緑地とその周辺				烏山川緑道				大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			
					繁殖期		越冬期		繁殖期		越冬期		繁殖期		越冬期		繁殖期		越冬期		繁殖期		越冬期	
					ライン	任意	ライン	任意	ライン	任意	ライン	任意	ライン	任意	ライン	任意	ライン	任意	ライン	任意	ライン	任意	ライン	任意
1	カモ目	カモ科	カルガモ	*Anas zonorhyncha*				●		●	8													
2	ハト目	ハト科	ドバト	*Columba livia* var. *domestica*				●			2		53	●	4	●	2	●	2	●			1	
3			キジバト	*Streptopelia orientalis*		●	28	●	1	●	19		3	●	1	●	1	●	7	●	1			●
4	カツオドリ目	ウ科	カワウ	*Phalacrocorax carbo*		●	1										3							●
5	ペリカン目	サギ科	アオサギ	*Ardea cinerea*				●																
6			コサギ	*Egretta garzetta*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																			
7	アマツバメ目	アマツバメ科	ヒメアマツバメ	*Apus nipalensis*		●																		
8	タカ目	タカ科	トビ	*Milvus migrans*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																			
9			ツミ	*Accipiter gularis*										●										
10			オオタカ	*Accipiter gentilis*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																			
11	ブッポウソウ目	カワセミ科	カワセミ	*Alcedo atthis*		●																		
12	キツツキ目	キツツキ科	コゲラ	*Dendrocopos kizuki*	2	●	4	●	1	●	3	●	1		●									●
13			アカゲラ	*Dendrocopos major*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																			
14			アオゲラ	*Picus awokera*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																			
15	スズメ目	モズ科	モズ	*Lanius bucephalus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																			
16		カラス科	カケス	*Garrulus glandarius*			1																	
17			オナガ	*Cyanopica cyanus*		●	1			●	10			●										
18			ハシボソガラス	*Corvus corone*	5	●	6	●						●	2					●				●
19			ハシブトガラス	*Corvus macrorhynchos*	11	●	8	●	3	●	1	●	3	●	6	●	1	●	1	●	1	●	1	●
20		シジュウカラ科	シジュウカラ	*Parus minor*	15	●	23	●	11	●	7	●	3	●	4	●	2	●	2	●	2	●	1	●
21		ツバメ科	ツバメ	*Hirundo rustica*	11	●								●								●		
22			イワツバメ	*Delichon dasypus*		●																		
23		ヒヨドリ科	ヒヨドリ	*Hypsipetes amaurotis*	3	●	15	●	1	●	12	●		●	8	●	6	●	7	●	1	●	15	●
24		ウグイス科	ウグイス	*Cettia diphone*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																			
25		エナガ科	エナガ	*Aegithalos caudatus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																			
26		メジロ科	メジロ	*Zosterops japonicus*	5	●	15	●	1	●	8	●		●	20	●	7	●	9	●	4	●	5	●
27		ムクドリ科	ムクドリ	*Spodiopsar cineraceus*	2	●	4	●	2	●			21	●	6	●	6	●	1	●	10	●	3	●
28		ヒタキ科	シロハラ	*Turdus pallidus*			1	●			4	●				●								
29			アカハラ	*Turdus chrysolaus*								●				●								
30			ツグミ	*Turdus naumanni*			4	●								●			2	●				●
31			ルリビタキ	*Tarsiger cyanurus*												●								
32			ジョウビタキ	*Phoenicurus auroreus*												●				●				
33		スズメ科	スズメ	*Passer montanus*		●		●		●			23	●	18	●	14	●	20	●	31	●	39	●
34		セキレイ科	キセキレイ	*Motacilla cinerea*			1				1	●												
35			ハクセキレイ	*Motacilla alba*		●	7	●						●	1	●				●				●
36		アトリ科	アトリ	*Fringilla montifringilla*			309	●			18	●				●				●				●
37			カワラヒワ	*Chloris sinica*	2	●	6	●	1	●					1	●					1	●		●
38			シメ	*Coccothraustes coccothraustes*			15	●				●												
39			イカル	*Eophona personata*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																			
40		ホオジロ科	アオジ	*Emberiza spodocephala*			2	●			2	●				●								
41	インコ目	インコ科	ホンセイインコ	*Psittacula krameri*	2	●	3	●					1	●		●	40	●		●				
合計	10目	23科	41種																					

注1. 分類、配列等は、原則として「日本鳥類目録改定第7版」（平成24年、日本鳥学会）に準拠した。

6.昆虫類確認種リスト

No	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
							春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	1	2	3	4	5		
1	節足動物	昆虫	トンボ	イトトンボ	アジアイトトンボ	*Ischnura asiatica*		●						●													
2					アオモンイトトンボ	*Ischnura senegalensis*		●																			
3				モノサシトンボ	モノサシトンボ	*Copera annulata*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		DD		
4				アオイトトンボ	オオアオイトトンボ	*Lestes temporalis*			●																		
5				サナエトンボ	ウチワヤンマ	*Ictinogomphus clavatus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		○		
6				オニヤンマ	オニヤンマ	*Anotogaster sieboldii*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		NT		
7				ヤンマ	マルタンヤンマ	*Anaciaeschna martini*		●																			
8					クロスジギンヤンマ	*Anax nigrofasciatus*	●			●																	
9					ギンヤンマ	*Anax parthenope*		●																			
10				トンボ	ショウジョウトンボ	*Crocothemis servilia*											●										
11					シオカラトンボ	*Orthetrum albistylum*	●	●																			
12					オオシオカラトンボ	*Orthetrum triangulare*					●						●										
13					ウスバキトンボ	*Pantala flavescens*		●						●			●			●							
14					コシアキトンボ	*Pseudothemis zonata*		●																			
15					マユタテアカネ	*Sympetrum eroticum*					●	●															
16					アキアカネ	*Sympetrum frequens*			●			●			●		●	●			●						
17					リスアカネ	*Sympetrum risi*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		NT		
18		カワゲラ	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ属	*Nemoura* sp.					●																	
19		ゴキブリ	ゴキブリ	クロゴキブリ	*Periplaneta fuliginosa*				●		●																
20				チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ	*Blattella nipponica*								●	●	●	●	●									
21		カマキリ	カマキリ	ハラビロカマキリ	*Hierodula patellifera*				●									●			●						
22					コカマキリ	*Statilia maculata*						●			●												
23					オオカマキリ	*Tenodera aridifolia*			●					●			●										
24		バッタ	ケラ	ケラ		*Gryllotalpa orientalis*			●																		
25			コオロギ		ミツカドコオロギ	*Loxoblemmus doenitzi*			●						●			●			●						
26					モリオカメコオロギ	*Loxoblemmus sylvestris*			●			●															
–					オカメコオロギ属	*Loxoblemmus* sp.		●			●						●			●							
27					マダラスズ	*Dianemobius nigrofasciatus*									●			●									
28					エンマコオロギ	*Teleogryllus emma*			●						●												
29				クサヒバリ	クサヒバリ	*Svistella bifasciata*		●			●																
30				マツムシ	アオマツムシ	*Truljalia hibinonis*		●	●			●															
31				カネタタキ	カネタタキ	*Ornebius kanetataki*		●	●			●			●		●	●			●						
32				キリギリス	ヒメクダマキモドキ	*Phaulula gracilis*			●																		
33					ヒガシキリギリス	*Gampsocleis mikado*	●																				
34					ヒメギス	*Eobiana engelhardti*	●																				
35					ササキリ	*Conocephalus melas*		●	●																		
36					クビキリギス	*Euconocephalus varius*										●											
37				オンブバッタ	オンブバッタ	*Atractomorpha lata*		●	●			●		●	●		●	●		●							
38				バッタ	ショウリョウバッタ	*Acrida cinerea*		●	●					●			●										
39					ショウリョウバッタモドキ	*Gonista bicolor*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		VU		
40					クルマバッタモドキ	*Oedaleus infernalis*		●																			
41					イボバッタ	*Trilophidia japonica*												●									
42					ツチイナゴ	*Patanga japonica*	●																				
43					コバネイナゴ	*Oxya yezoensis*			●																		
44				ヒシバッタ	ハラヒシバッタ	*Tetrix japonica*	●											●									
45					ヤセヒシバッタ	*Tetrix macilenta*		●																			
–					Tetrix属	*Tetrix* sp.								●													
46		ナナフシ	ナナフシ	ナナフシモドキ	*Baculum irregulariterdentatum*	●																					
47		ハサミムシ	ハサミムシ	ハマベハサミムシ	*Anisolabis maritima*											●										
48					キアシハサミムシ	*Euborellia plebeja*											●										
49					ヒゲジロハサミムシ	*Gonolabis marginalis*		●	●		●					●	●	●		●	●						
50		カメムシ	ヒシウンカ	オビカワウンカ	*Andes harimaensis*				●																	
51			ウンカ		ヒメトビウンカ	*Laodelphax striatella*		●													●						
52					トビイロウンカ	*Nilaparvata lugens*		●																			
53					セジロウンカ	*Sogatella furcifera*		●						●													
54				テングスケバ	テングスケバ	*Dictyophara patruelis*											●	●		●							
55				グンバイウンカ	ミドリグンバイウンカ	*Kallitaxilla sinica*		●									●	●		●							
56				アオバハゴロモ	アオバハゴロモ	*Geisha distinctissima*		●	●		●	●		●	●		●	●			●						
57				ハゴロモ	ベッコウハゴロモ	*Orosanga japonicus*		●						●													
58					アミガサハゴロモ	*Pochazia albomaculata*								●	●												
59				セミ	クマゼミ	*Cryptotympana facialis*		●			●																
60					アブラゼミ	*Graptopsaltria nigrofuscata*		●			●			●			●				●						
61					ツクツクボウシ	*Meimuna opalifera*		●			●																
62					ミンミンゼミ	*Oncotympana maculaticollis*		●			●			●			●				●						
63					ニイニイゼミ	*Platypleura kaempferi*		●			●			●			●										
64					ヒグラシ	*Tanna japonensis*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		NT		
65				アワフキムシ	シロオビアワフキ	*Aphrophora intermedia*								●													
66				ツノゼミ	マルツノゼミ	*Gargara genistae*	●			●																	
67				ヨコバイ	ミミズク	*Ledra auditura*								●													
68					アオズキンヨコバイ	*Batracomorphus mundus*															●						
69					オサヨコバイ	*Tartessus ferrugineus*					●																
70					クロスジホソサジヨコバイ	*Sophonus orientalis*											●				●						
71					Pagaronia属	*Pagaronia* sp.					●			●			●			●	●						
72					ツマグロオオヨコバイ	*Bothrogonia ferruginea*	●		●			●		●			●			●							
73					オオヨコバイ	*Cicadella viridis*		●													●						
74					マエジロオオヨコバイ	*Kolla atramentaria*	●																				
75					オビヒメヨコバイ	*Naratettix zonatus*																					
76					ベニヒメヨコバイ	*Davus takagii*		●																			
77					アカシヒメヨコバイ	*Paracyba akashiensis*			●																		
78					マダラヒメヨコバイ	*Platytettix pulchrus*		●																			
79					クズヒメヨコバイ	*Tautoneura japonica*			●																		
80					イナズマヒメヨコバイ	*Ziczacella hirayamella*												●									
81					ヒシモンヨコバイ	*Hishimonus sellatus*															●						
82					マダラヨコバイ属	*Maiestas* sp.											●				●						
83					ミスジトガリヨコバイ	*Japananus hyalinus*												●			●						
84					ヒトツメヨコバイ	*Phlogotettix cyclops*			●																		
85					オオトガリヨコバイ	*Doratulina grandis*												●									
86					タケナガヨコバイ	*Bambusana bambusae*			●												●						
87					コチャイロヨコバイ	*Matsumurella kogotensis*		●																			
88					リンゴマダラヨコバイ	*Orientus ishidae*		●																			
–					ヨコバイ科	Cicadellidae	●			●											●						
89			キジラミ	クワキジラミ		*Anomoneura mori*									●		●	●			●						
90					ムツボシキジラミ	*Cyamophila hexastigma*			●																		
91					ベニキジラミ	*Psylla coccinea*										●											
92					グミキジラミ	*Psylla elaeagni*				●																	
93					ヤツデキジラミ	*Psylla fatsiae*										●	●			●							
94					サツマキジラミ	*Psylla satsumensis*				●						●											
–					キジラミ科	Psyllidae	●									●				●							
95			アメンボ	オオアメンボ		*Aquarius elongatus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		CR		
96					アメンボ	*Aquarius paludum*	●	●	●		●																
97					ヒメアメンボ	*Gerris latiabdominis*	●	●																			
98			カスミカメムシ	ズアカシダカスミカメ		*Monalocoris filicis*															●						
99					ハキメンガタカスミカメ	*Eurystylus lutens*		●							●	●	●				●	●					
100					フタモンアカカスミカメ	*Apolygus hilaris*	●																				
–					ツヤマルカスミカメ属	*Apolygus* sp.										●				●							
101					ナガミドリカスミカメ属	*Lygocoris* sp.	●											●									
102					アカスジカスミカメ	*Stenotus rubrovittatus*											●										
103					イネホソミドリカスミカメ	*Trigonotylus caelestialium*		●									●			●	●						
104					ヒョウタンカスミカメ	*Pilophorus setulosus*		●									●										
105					クビワヨモギカスミカメ	*Plagiognathus collaris*			●																		
106					カシワトビカスミカメ	*Psallus tonnaichanus*	●																				
–					カスミカメムシ科	Miridae	●			●						●											
107				マキバサシガメ	ハネナガマキバサシガメ	*Nabis stenoferus*								●			●				●						
108				ハナカメムシ	ヒメハナカメムシ属	*Orius* sp.			●							●											
109				グンバイムシ	ウチワグンバイ	*Cantacader lethierryi*															●						
110					ヤブガラシグンバイ	*Cysteochila consueta*		●																			
111					コアカソグンバイ	*Cysteochila fieberi*																					
112					タブグンバイ	*Stephanitis aperta*			●																		
113					ナシグンバイ	*Stephanitis nashi*	●									●	●	●			●						
114					ツツジグンバイ	*Stephanitis pyrioides*										●											
115					トサカグンバイ	*Stephanitis takeyai*	●								●												
–					Stephanitis属	*Stephanitis* sp.	●																				
116				サシガメ	ヨコツナサシガメ	*Agriosphodrus dohrni*	●																				
117					シマサシガメ	*Sphedanolestes impressicollis*	●																				
118				イトカメムシ	ヒメイトカメムシ	*Metacanthus pulchellus*								●													
119					イトカメムシ	*Yemma exilis*			●								●	●									
120				ナガカメムシ	ヒメシュウシナガカメムシ	*Tropidothorax belogolowi*	●	●																			
121					ヒメナガカメムシ	*Nysius plebeius*								●	●		●				●						
122					オオメカメムシ	*Piocoris varius*		●	●																		
123					ヒゲナガカメムシ	*Pachygrontha antennata*	●	●				●		●			●				●						
124					ヨツボシヒョウタンナガカメムシ	*Paraeucosmetus pallicornis*					●			●			●										
125					オオモンシロナガカメムシ	*Metochus abbreviatus*		●																			
126					スコットヒョウタンナガカメムシ	*Pamerana scotti*										●		●			●						
127					サビヒョウタンナガカメムシ	*Pamerarma rustica*															●						
128					イチコチビナガカメムシ	*Stigmatonotum geniculatum*																					
129					コバネヒョウタンナガカメムシ	*Togo hemipterus*			●																		
130				メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ	*Chauliops fallax*	●	●	●																		
131				オオホシカメムシ	オオホシカメムシ	*Physopelta gutta*								●	●												
132				ホソヘリカメムシ	ニセヒメクモヘリカメムシ	*Paraplesius vulgaris*											●										
133					ホソヘリカメムシ	*Riptortus clavatus*			●									●									
134				ヘリカメムシ	ホオズキカメムシ	*Acanthocoris sordidus*								●	●												
135					オオクモヘリカメムシ	*Anacanthocoris striicornis*			●																		
136					ホソハリカメムシ	*Cletus punctiger*								●	●												
137					ハリカメムシ	*Cletus rusticus*										●											
138					ホシハラビロヘリカメムシ	*Homoeocerus unipunctatus*	●	●	●																		
139					ツマキヘリカメムシ	*Hygia opaca*	●	●																			
140					ミナミトゲヘリカメムシ	*Paradasynus spinosus*			●						●						●						
141					キバラヘリカメムシ	*Plinachtus bicoloripes*														●							
142				ヒメヘリカメムシ	スカシヒメヘリカメムシ	*Liorhyssus hyalinus*									●		●				●						
143					アカヒメヘリカメムシ	*Rhopalus maculatus*									●	●					●						
144				クヌギカメムシ	ヘラクヌギカメムシ	*Urostylis annulicornis*										●	●										
145					クヌギカメムシ	*Urostylis westwoodi*			●								●										
–					クヌギカメムシ属	*Urostylis* sp.	●											●									
146				マルカメムシ	マルカメムシ	*Megacopta punctatissima*	●	●	●			●	●	●	●		●	●									
147				ツチカメムシ	ヒメツチカメムシ	*Geotomus pygmaeus*	●																				
148					ツチカメムシ	*Macroscytus japonensis*		●	●												●						
149					ミツボシツチカメムシ	*Adomerus triguttulus*		●																			
150				キンカメムシ	アカスジキンカメムシ	*Poecilocoris lewisi*			●		●	●		●													
151				カメムシ	ウズラカメムシ	*Aelia fieberi*								●		●	●										
152					シロヘリカメムシ	*Aenalia lewisi*	●																				
153					ウシカメムシ	*Alcimocoris japonensis*									●												
154					キマダラカメムシ	*Erthesina fullo*								●	●						●						
155					ナカメ	*Eurydema rugosum*	●																				
156					ツヤアオカメムシ	*Glaucias subpunctatus*	●		●																		
157					クサギカメムシ	*Halyomorpha halys*			●				●	●	●	●					●						
158					ミヤマカメムシ	*Hermolaus amurensis*						●															
159					ナカボシカメムシ	*Menida musiva*								●													
160					ミナミアオカメムシ	*Nezara viridula*			●																		
161					チャバネアオカメムシ	*Plautia crossota*	●	●	●			●	●		●	●		●	●		●						
162				ツノカメムシ	ウトハサミツノカメムシ	*Acanthosoma crassicauda*						●															
163					セアカツノカメムシ	*Acanthosoma denticaudum*			●																		
164					エサキモンキツノカメムシ	*Sastragala esakii*	●					●															
165		アミメカゲロウ	ヒメカゲロウ	ホソバヒメカゲロウ	*Micromus multipunctatus*	●						●			●											
166					チャバネヒメカゲロウ	*Micromus numerosus*	●																				
167					Sympherobius属	*Sympherobius* sp.							●														
168			クサカゲロウ	ヨツボシクサカゲロウ	*Chrysopa septempunctata*									●	●	●			●							
169					ヤマトクサカゲロウ	*Chrysoperla carnea*								●			●				●						
170					カオマダラクサカゲロウ	*Mallada boninensis*			●			●			●			●			●	●					
171					フタモンクサカゲロウ	*Dichochrysa formosana*							●														
172					ヨツボシアカマダラクサカゲロウ	*Dichochrysa parabora*				●																	
173					アミメクサカゲロウ	*Nacaura matsumurae*						●															
174		コウチュウ	ハンミョウ	トウキョウヒメハンミョウ	*Cicindela kaleea*			●			●			●			●			●						
175			オサムシ	アオオサムシ	*Carabus insulicola*			●																		
176					コガシラナガゴミムシ	*Pterostichus microcephalus*			●																		
177					ハラアカモリヒラタゴミムシ	*Colpodes japonicus*					●																
178					セアカヒラタゴミムシ	*Dolichus halensis*								●				●									
179					マルガタツヤヒラタゴミムシ	*Synuchus arcuaticollis*	●																				
180					マルガタゴミムシ	*Amara chalcites*								●					●								
181					ニセマルガタゴミムシ	*Amara congrua*		●											●								
182					ナガマルガタゴミムシ	*Amara macronota*			●																		
183					ケウスゴモクムシ	*Harpalus griseus*												●									

No	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
							春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	1	2	3	4	5		
184					ウスアカクロゴモクムシ	*Harpalus sinicus*		●																				
185					オオイクビツヤゴモクムシ	*Trichotichnus nipponicus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		NT			
186					イツホシマメゴモクムシ	*Stenolophus quinquepustulatus*								●														
187					ヒメキベリアオゴミムシ	*Chlaenius inops*				●																		
188					ジュウジアトキリゴミムシ	*Lebia retrofasciata*				●																		
189					コルリアトキリゴミムシ	*Lebia viridis*												●										
190					ヒラタアトキリゴミムシ	*Parena cavipennis*															●							
191				ガムシ	ケシカムシ属	*Cercyon* sp.		●			●																	
192				エンマムシ	コエンマムシ	*Margarinotus niponicus*														●								
193				チビシデムシ	チビシデムシ属	*Catops* spp.							●															
194				シデムシ	オオヒラタシデムシ	*Eusilpha japonica*	●	●																				
195				ハネカクシ	セスジハネカクシ	*Anotylus cognatus*										●												
196					ツマグロアカバハネカクシ	*Hesperus tiro*					●																	
197					クロサビイロハネカクシ	*Ocypus lewisius*				●																		
198					コガシラハネカクシ属	*Philonthus* sp.		●									●											
–					ハネカクシ科	Staphylinidae		●		●			●	●			●	●	●	●								
199				コケムシ	コケムシ科	Scydmaenidae				●																		
200				キムネマルハナノミ	キムネマルハナノミ	*Sacodes protecta*	●																					
201				コクワガタ	コクワガタ	*Dorcus rectus*		●																				
202				センチコガネ	ムネアカセンチコガネ	*Bolbocerosoma nigroplagiatum*		●																				
203					センチコガネ	*Geotrupes laevistriatus*	●	●	●			●																
204				コガネムシ	クロマルエンマコガネ	*Onthophagus ater*				●																		
205					コブマルエンマコガネ	*Onthophagus atripennis*		●			●									●								
206					ツヤエンマコガネ	*Onthophagus nitidus*										●												
207					ナガチャコガネ	*Heptophylla picea*		●			●					●				●								
208					コクロコガネ	*Holotrichia picea*	●																					
209					コフキコガネ	*Melolontha japonica*		●			●						●			●								
210					アシナガコガネ	*Hoplia communis*	●																					
211					アカビロウドコガネ	*Maladera castanea*														●								
212					ビロウドコガネ	*Maladera japonica*														●								
213					マルガタビロウドコガネ	*Maladera secreta*														●								
214					アオドウガネ	*Anomala albopilosa*		●			●			●			●			●								
215					サクラコガネ	*Anomala daimiana*					●																	
216					ヒラタアオコガネ	*Anomala octiescostata*										●												
217					ハンノヒメコガネ	*Anomala multistriata*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		DD			
218					セマダラコガネ	*Blitopertha orientalis*											●			●								
219					マメコガネ	*Popillia japonica*		●						●														
220					ヒラタハナムグリ	*Nipponovalgus angusticollis*	●			●			●			●												
221					コアオハナムグリ	*Oxycetonia jucunda*	●																					
222					シロテンハナムグリ	*Protaetia orientalis*		●									●			●								
223					カナブン	*Rhomborrhina japonica*								●														
224					クロカナブン	*Rhomborrhina polita*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		EN			
225					カブトムシ	*Trypoxylus dichotomus*		●						●														
226				ヒラタドロムシ	チビヒゲナガハナノミ	*Ectopria opaca*				●																		
227				タマムシ	ヤマトタマムシ	*Chrysochroa fulgidissima*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		NT			
228					ヒシモンナガタマムシ	*Agrilus discalis*	●								●													
229					ムネアカナガタマムシ	*Agrilus imitans*		●																				
230					ナミガタチビタマムシ	*Trachys griseofasciata*	●																					
231					マメチビタマムシ	*Trachys reitteri*						●																
232				コメツキムシ	サビキコリ	*Agrypnus binodulus*							●	●		●	●			●								
233					チャイロコメツキ	*Haterumelater bicarinatus*		●			●																	
234					ニセクチブトコメツキ	*Lanecarus palustris*								●														
235					ヒゲナガコメツキ	*Neotrichophorus junior*	●												●									
236					クロツヤクシコメツキ	*Melanotus annosus*	●												●									
237					クシコメツキ	*Melanotus legatus*	●	●											●									
238					オオクロクシコメツキ	*Melanotus restrictus*							●															
239					コハナコメツキ	*Paracardiophorus pullatus*		●																				
240					アカアシハナコメツキ	*Platynychus adjutor*													●									
241				ジョウカイボン	オカベセボシジョウカイ	*Lycocerus okabei*							●			●												
242					アオジョウカイ	*Themus cyanipennis*				●																		
243				カツオブシムシ	ヒメカツオブシムシ	*Attagenus japonicus*										●												
244					ヒメマルカツオブシムシ	*Anthrenus verbasci*							●			●			●									
245				シバンムシ	ツツガタシバンムシ	*Gastrallus affinis*								●														
246				コクヌスト	ハロルドヒメコクヌスト	*Ancyrona haroldi*		●																				
247				ケシキスイ	モンチビヒラタケシキスイ	*Haptoncus ocularis*				●																		
248					アカマダラケシキスイ	*Lasiodactylus pictus*										●	●											
249					マルキマダラケシキスイ	*Stelidota multiguttata*		●																				
–					ケシキスイ科	*Nitidulidae*				●						●		●										
250				キスイムシ	クロモンキスイ	*Cryptophagus decoratus*				●									●									
251					ウスイロキスイ	*Cryptophagus dilutus*							●															
252				オオキノコムシ	アカハバビロオオキノコ	*Neotriplax lewisii*			●																			
253				テントウムシ	クロツヤテントウ	*Serangium japonicum*								●	●	●			●	●	●	●						
254					ハレヤヒメテントウ	*Pseudoscymnus hareja*	●																					
255					オオタヒメテントウ	*Scymnus ohtai*							●															
256					オニヒメテントウ	*Scymnus giganteus*											●											
257					クロヒメテントウ	*Scymnus japonicus*												●		●	●							
258					コクロヒメテントウ	*Scymnus posticalis*										●	●		●		●							
259					ヒメアカホシテントウ	*Chilocorus kuwanae*		●				●								●								
260					ヨツボシテントウ	*Phymatosternus lewisii*									●													
261					クロテントウ	*Telsimia nigra*										●				●	●							
262					シロジュウシホシテントウ	*Calvia quatuordecimguttata*				●																		
263					ムーアシロホシテントウ	*Calvia muiri*	●	●	●	●		●	●	●		●	●	●	●	●	●							
264					シロジュウゴホシテントウ	*Calvia quindecimguttata*		●																				
265					ナナホシテントウ	*Coccinella septempunctata*	●		●				●			●			●									
266					ナミテントウ	*Harmonia axyridis*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●								
267					キイロテントウ	*Illeis koebelei*	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
268					ダンダラテントウ	*Menochilus sexmaculatus*									●	●			●	●								
269					ヒメカメノコテントウ	*Propylea japonica*	●		●											●								
270					クモガタテントウ	*Psyllobora vigintimaculata*										●					●							
271					モンクチビルテントウ	*Platynaspidius maculosus*													●									
272				ホソカタムシ	ツヤケシヒメホソカタムシ	*Microprius opacus*		●		●																		
273				カミキリモドキ	スジカミキリモドキ	*Chrysanthia viatica*										●												
274				アリモドキ	コクビボソムシ	*Macratria fluviatilis*					●																	
275					ホソクビアリモドキ	*Formicomus braminus*	●																					
276				ハナノミダマシ	クロフナガタハナノミ	*Anaspis marseuli*	●			●						●												
–					ハナノミダマシ科	*Scraptiidae*													●									
277				ゴミムシダマシ	ヒゴキノコゴミムシダマシ	*Platydema higonium*				●																		
278					ハネナシセスジキマワリ	*Strongylium marseuli*					●																	
279					ヒゲブトゴミムシダマシ	*Luprops orientalis*						●				●												
280				カミキリムシ	ヨツスジトラカミキリ	*Chlorophorus quinquefasciatus*		●																				
281					ヒメクロトラカミキリ	*Rhaphuma diminuta*							●															
282					クワカミキリ	*Apriona japonica*					●																	
283					ルリカミキリ	*Bacchisa fortunei*							●															
284				ハムシ	ヤマイモハムシ	*Lema honorata*		●						●														
285					バラルリツツハムシ	*Cryptocephalus approximatus*							●															
286					カシワツツハムシ	*Cryptocephalus scitulus*														●								
287					チャイロサルハムシ	*Basilepta balyi*							●															
288					アオバネサルハムシ	*Basilepta fulvipes*								●			●			●								
289					マダラアラゲサルハムシ	*Demotina fasciculata*						●																
290					カサハラハムシ	*Demotina modesta*							●															
291					コフキサルハムシ	*Lypesthes ator*	●																					
292					ムネアカキバネサルハムシ	*Pagria consimile*	●	●																				
293					マルキバネサルハムシ	*Pagria ussuriensis*	●																					
294					ドウガネサルハムシ	*Scelodonta lewisii*	●	●					●															
295					ヨモギハムシ	*Chrysolina aurichalcea*									●													
296					ヤツボシハムシ	*Gonioctena nigroplagiata*	●	●																				
297					ヤナギルリハムシ	*Plagiodera versicolora*							●															
298					ウリハムシ	*Aulacophora femoralis*	●	●	●																			
299					クロウリハムシ	*Aulacophora nigripennis*	●		●			●	●		●	●				●								
300					クワハムシ	*Fleutiauxia armata*	●																					
301					イタドリハムシ	*Gallerucida bifasciata*	●																					
302					クロウスバハムシ	*Luperus moorii*	●																					
303					サンゴジュハムシ	*Pyrrhalta humeralis*			●																			
304					ニレハムシ	*Pyrrhalta maculicollis*							●				●											
305					ツブノミハムシ	*Aphthona perminuta*													●									
306					サメハダツブノミハムシ	*Aphthona strigosa*	●																					
307					ヒメテントウノミハムシ	*Argopistes tsekooni*			●			●				●												
308					ヒサゴトビハムシ	*Chaetocnema ingenua*											●											
309					クロボシトビハムシ	*Longitarsus bimaculatus*		●																				
310					オオバコトビハムシ	*Longitarsus scutellaris*		●									●											
311					コマルノミハムシ	*Nonarthra tibialis*						●		●	●	●	●	●		●	●							
312					ナトビハムシ	*Psylliodes punctifrons*			●			●					●	●			●							
313				ヒゲナガゾウムシ	スネアカヒゲナガゾウムシ	*Autotropis distinguenda*			●																			
314				オトシブミ	クロケシツブチョッキリ	*Auletobius uniformis*											●											
315					ハイイロチョッキリ	*Cyllorhynchites ursulus*											●											
316				ゾウムシ	ヒゲボソゾウムシ属	*Phyllobius* sp.	●																					
317					サビクチブトゾウムシ	*Canoixus japonicus*								●														
318					ケブカクチブトゾウムシ	*Myllocerus fumosus*										●												
319					カシワクチブトゾウムシ	*Myllocerus griseus*	●					●			●													
320					Naupactus cervinus	*Naupactus cervinus*												●										
321					ニセチビヒョウタンゾウムシ	*Myosides pyrus*													●									
322					ヒレルクチブトゾウムシ	*Oedophrys hilleri*		●									●	●		●								
323					ケシツチゾウムシ	*Trachyphloeosoma setosum*										●			●									
324					スグリゾウムシ	*Pseudocneorhinus bifasciatus*		●					●	●	●		●											
325					サビヒョウタンゾウムシ	*Sceptrius griseus*							●															
326					コフキゾウムシ	*Eugnathus distinctus*	●		●																			
327					ケチビコフキゾウムシ	*Sitona hispidulus*		●																				
328					チビコフキゾウムシ	*Sitona japonicus*											●											
329					アルファルファタコゾウムシ	*Hypera postica*	●	●	●									●										
330					ヤサイゾウムシ	*Listroderes costirostris*			●																			
331					オジロアシナガゾウムシ	*Mesalcidodes trifidus*	●																					
332					イヌビワシギゾウムシ	*Curculio funebris*		●																				
333					アカアシクチブトサルゾウムシ	*Rhinoncus cribricollis*										●												
334					ツツジトゲムネサルゾウムシ	*Mecysmoderes fulvus*									●													
–					ゾウムシ科	Curculionidae										●												
335				キクイムシ	キクイムシ科	Scolytidae		●																				
336		ハチ		ミフシハバチ	ルリチュウレンジ	*Arge similis*						●		●	●		●	●	●	●								
337				ハバチ	ハグロハバチ	*Allantus luctifer*														●								
338					セグロカブラハバチ	*Athalia infumata*													●									
339					ニホンカブラハバチ	*Athalia japonica*										●												
340					カブラハバチ	*Athalia rosae ruficornis*		●											●									
–					ハバチ科	Tenthredinidae				●										●								
341				コマユバチ	コマユバチ科	Braconidae				●			●															
342				ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae	●			●			●															
343				アリバチ	ルイスヒトホシアリバチ	*Smicromyrme lewisi*		●																				
344				コツチバチ	Tiphia属	*Tiphia* sp.	●		●				●		●													
345				ツチバチ	コモンツチバチ	*Scolia decorata*											●			●								
346					キオビツチバチ	*Scolia oculata*		●																				
347					ヒメハラナガツチバチ	*Campsomeriella annulata*		●						●	●					●								
348					キイロハラナガツチバチ	*Campsomeris mojiensis*														●								
349					キンケハラナガツチバチ	*Campsomeris prismatica*									●				●				●					
350					ハラナガツチバチ	*Campsomeris schulthessi*									●								●					
351				アリ	オオハリアリ	*Pachycondyla chinensis*							●	●	●													
352					アシナガアリ	*Aphaenogaster famelica*					●																	
353					テラニシシリアゲアリ	*Crematogaster brunnea*				●																		
354					ハリブトシリアゲアリ	*Crematogaster matsumurai*		●			●		●			●	●	●	●	●								
355					キイロシリアゲアリ	*Crematogaster osakensis*	●	●		●		●	●	●	●						●								
356					ムネボソアリ	*Temnothorax congruus*	●	●	●				●							●								
357					クロナガアリ	*Messor aciculatus*									●													
358					キイロヒメアリ	*Monomorium triviale*	●																					
359					アズマオオズアリ	*Pheidole fervida*	●	●	●	●	●	●		●														
360					アミメアリ	*Pristomyrmex pungens*	●	●		●		●	●	●		●	●	●	●	●								
361					ウロコアリ	*Strumigenys lewisi*					●								●		●							
362					トビイロシワアリ	*Tetramorium tsushimae*		●			●		●	●	●	●	●	●	●	●	●							
363					ルリアリ	*Ochetellus glaber*											●											
364					クロオオアリ	*Camponotus japonicus*	●				●			●		●												
365					ヨツボシオオアリ	*Camponotus quadrinotatus*										●												
366					ウメマツオオアリ	*Camponotus tokioensis*	●	●		●		●	●		●	●	●	●		●	●							
367					クロヤマアリ	*Formica japonica*	●	●					●	●	●	●	●	●	●	●	●							
368					アメイロケアリ	*Lasius umbratus*						●									●							
369					クロクサアリ	*Lasius nipponensis*						●																

No	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
							春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	1	2	3	4	5		
370					クサアリモドキ	*Lasius spathepus*									●				●									
371					トビイロケアリ	*Lasius japonicus*	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
372					アメイロアリ	*Paratrechina flavipes*	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●							
373					サクラアリ	*Paratrechina sakurae*	●		●				●	●	●		●	●			●							
374					サムライアリ	*Polyergus samurai*								●														
375				ベッコウバチ	オオモンクロベッコウ	*Anoplius samariensis*					●																	
376				ドロバチ	オオフタオビドロバチ	*Anterhynchium flavomarginatum*											●											
377					ミカドトックリバチ	*Eumenes micado*								●														
378					スズバチ	*Oreumenes decoratus*		●																				
379					オオハムシドロバチ	*Symmorphus captivus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																	DD					
380				スズメバチ	セグロアシナガバチ	*Polistes jadwigae*		●						●														
381					キボシアシナガバチ	*Polistes mandarinus*				●																		
382					キアシナガバチ	*Polistes rothneyi*	●																					
383					コアシナガバチ	*Polistes snelleni*												●										
384					コガタスズメバチ	*Vespa analis*	●	●						●	●	●				●								
385					オオスズメバチ	*Vespa mandarinia*	●		●						●													
386					クロスズメバチ	*Vespula flaviceps*			●																			
387				アナバチ	ヒメギングチバチ属	*Crossocerus* sp.						●																
388					ニッポンギングチバチ	*Rhopalum nipponicum*											●											
389				ムカシハナバチ	メンハナバチ属	*Hylaeus* sp.							●			●												
390				コハナバチ	アカガネコハナバチ	*Halictus aerarius*		●						●	●		●											
391					Lasioglossum属	*Lasioglossum* spp.					●		●		●		●		●	●	●							
392				ヒメハナバチ	ヒメハナバチ属	*Andrena* sp.							●															
393				ハキリバチ	オオハキリバチ	*Chalicodoma sculpturalis*					●																	
394					ツルガハキリバチ	*Megachile tsurugensis*		●																				
395				コシブトハナバチ	キマダラハナバチ属	*Nomada* sp.																						
396					シロスジヒゲナガハナバチ	*Eucera spurcatipes*	●																					
397					キオビツヤハナバチ	*Ceratina flavipes*							●															
398					クマバチ	*Xylocopa appendiculata*	●	●	●				●	●			●	●	●	●								
399				ミツバチ	コマルハナバチ	*Bombus ardens*										●			●									
400					ニホンミツバチ	*Apis cerana*	●	●			●																	
401					セイヨウミツバチ	*Apis mellifera*	●	●	●						●		●	●	●	●	●							
402		ハエ		ガガンボダマシ	ガガンボダマシ属	*Trichocera* sp.													●									
403				ガガンボ	Nephrotoma属	*Nephrotoma* sp.	●	●	●						●	●	●		●									
404					ヤチガガンボ	*Tipula serricauda*							●			●												
405					キリウジガガンボ	*Tipula aino*					●																	
–					ガガンボ属	*Tipula* sp.												●										
406					ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.				●		●																
407					ナミガタガガンボ	*Limonia undulata*						●						●										
408					モロフィルス属	*Molophilus* sp.				●																		
–					ガガンボ科	Tipulidae	●	●		●	●																	
409				チョウバエ	チョウバエ科	Psychodidae			●	●	●								●									
410				カ	ヤブカ属	*Aedes* sp.	●				●					●			●	●								
411					Culex属	*Culex* sp.						●						●			●							
412				ユスリカバエ	ユスリカバエ科	Taumaleidae															●							
413				ブユ	アシマダラブユ属	*Simulium* sp.															●							
414				ヌカカ	ヌカカ科	Ceratopogonidae			●			●							●		●							
415				ユスリカ	ウスイロカユスリカ	*Procladius choreus*							●															
416					Ablabesmyia属	*Ablabesmyia* sp.					●																	
417					クロハダカユスリカ	*Cardiocladius fuscus*							●															
418					フタモンツヤユスリカ	*Cricotopus bimaculatus*	●			●																		
419					ナカオビツヤユスリカ	*Cricotopus triannulatus*													●									
420					ミツオビツヤユスリカ	*Cricotopus trifasciatus*								●														
–					ツヤユスリカ属	*Cricotopus* sp.							●			●												
421					ヤマトユスリカ	*Chironomus nipponensis*													●									
422					セスジユスリカ	*Chironomus yoshimatsui*					●	●		●	●		●	●			●							
423					ヤマトハモンユスリカ	*Polypedilum japonicum*						●																
–					ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	●			●																		
424					ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.						●																
–					ユスリカ科	Chironomidae	●	●		●	●		●		●	●		●			●							
425				タマバエ	タマバエ科	Cecidomyiidae	●	●	●	●		●	●					●										
426				キノコバエ	キノコバエ科	Mycetophilidae				●		●	●					●										
427				クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科	Sciaridae	●		●	●	●	●	●	●					●		●							
428				ミズアブ	Actina属	*Actina* sp.	●																					
429					ルリミズアブ	*Sargus nipponensis*			●																			
430					アメリカミズアブ	*Hermetia illucens*										●												
431				ツリアブ	クロバネツリアブ	*Ligyra tantalus*		●									●											
432				ムシヒキアブ	ハラボソムシヒキ	*Dioctria nakanensis*										●												
433					アオメアブ	*Cophinopoda chinensis*								●														
434					シオヤアブ	*Promachus yesonicus*		●									●											
435					マガリケムシヒキ	*Neoitamus angusticornis*	●			●																		
436					シロズヒメムシヒキ	*Philonicus albiceps*		●						●			●											
437				オドリバエ	オドリバエ科	Empididae	●																					
438				アシナガバエ	アシナガバエ科	Dolichopodidae										●												
439				ノミバエ	ノミバエ科	Phoridae	●	●	●		●	●							●									
440				ハナアブ	クロヒラタアブ	*Betasyrphus serarius*	●																					
441					ツマキオオヒラタアブ	*Dideoides coquilletti*			●																			
442					ホソヒラタアブ	*Episyrphus balteatus*			●			●	●		●				●									
443					ナミホシヒラタアブ	*Eupeodes frequens*						●																
444					ホソヒメヒラタアブ	*Sphaerophoria macrogaster*			●						●	●			●	●								
445					キイロナミホシヒラタアブ	*Syrphus vitripennis*										●												
446					ツマグロコシボソハナアブ	*Allobaccha apicalis*	●																					
447					ホシツヤヒラタアブ	*Melanostoma scalare*										●												
448					Eumerus属	*Eumerus* sp.							●			●												
449					キヨシハナアブ	*Eristalinus quinquestriatus*			●						●			●										
450					アシブトハナアブ	*Helophilus virgatus*	●														●							
451					オオハナアブ	*Phytomia zonata*			●																			
452				ミバエ	カボチャミバエ	*Paradacus depressus*							●								●							
453					イヌビワハマダラミバエ	*Ihekaze diversa*				●																		
454				ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	*Sepedon aenescens*								●	●						●							
455				ツヤホソバエ	ヒトテンツヤホソバエ	*Sepsis monostigma*						●					●											
456				シマバエ	ヤブクロシマバエ	*Minettia longipennis*	●																					
–					シマバエ科	Lauxaniidae				●			●			●			●									
457				ハモグリバエ	ハモグリバエ科	Agromyzidae				●																		
458				キモグリバエ	キモグリバエ科	Chloropidae	●		●				●	●					●									
459				ミギワバエ	トビクチミギワバエ	*Brachydeutera longipes*									●						●							
460					ミナミカマバエ	*Ochthera circularis*			●																			
–					ミギワバエ科	Ephydridae				●				●														
461				ショウジョウバエ	ショウジョウバエ属	*Drosophila* spp.	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●							
–					ショウジョウバエ科	Drosophilidae						●								●	●							
462				ハヤトビバエ	ハヤトビバエ科	Sphaeroceridae								●				●										
463				フンバエ	ヒメフンバエ	*Scathophaga stercoraria*			●																			
464				ハナバエ	ハナバエ科	Anthomyiidae	●						●			●			●									
465				イエバエ	イエバエ科	Muscidae	●	●		●		●	●	●		●												
466				クロバエ	ツマグロキンバエ	*Stomorhina obsoleta*		●							●			●										
–					クロバエ科	Calliphoridae		●					●			●												
467					ニクバエ属	*Sarcophaga* spp.							●			●	●		●									
468		トビケラ		ヒメトビケラ	ヒメトビケラ属	*Hydroptila* sp.				●	●																	
469				クダトビケラ	クダトビケラ属	*Psychomyia* sp.						●																
–					クダトビケラ科	Psychomyiidae				●	●																	
470				イワトビケラ	イワトビケラ科	Polycentropodidae					●																	
471				シマトビケラ	コガタシマトビケラ属	*Cheumatopsyche* sp.				●		●																
472					ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*				●		●																
473				ヒゲナガトビケラ	アオヒゲナガトビケラ	*Mystacides azurea*				●	●	●																
474		チョウ		ハマキガ	コホソスジハマキ	*Argyrotaenia angustilineata*	●																					
475					ハラブトヒメハマキ	*Cryptasphasma angulicostana*						●																	
476					スギヒメハマキ	*Epiblema sugii*		●																				
477					クリオビキヒメハマキ	*Olethreutes obovata*					●																	
478					スネブトヒメハマキ	*Phaecadophora fimbriata*						●																
479				ヒロズコガ	マダラマルハヒロズコガ	*Hypophrictis conspersa*		●						●														
480					アトキヒロズコガ	*Monopis flavidorsalis*							●															
481					ウスモンツマオレガ	*Erechthias phenoschista*		●																				
482				スガ	コナガ	*Plutella xylostella*								●														
483				ハマキモドキガ	ゴボウハマキモドキ	*Tebenna micalis*												●										
484				カザリバガ	カザリバガ属	*Cosmopterix* sp.	●																					
485					ベニモントガリホソガ	*Labdia semicoocinea*		●																				
486				ヒゲナガキバガ	フタテンヒロバキバガ	*Scythropiodes malivora*											●											
487				キバガ	ツツジキバガ	*Anacampsis lignaria*								●														
488				マダラガ	タケノホソクロバ	*Artona martini*				●						●		●										
489					フトウスカシクロバ	*Illiberis tenuis*													●									
490				メイガ	ツトガ	*Ancylolomia japonica*															●							
491					シロスジツトガ	*Crambus argyrophorus*				●									●									
492					オオキノメイガ	*Botyodes principalis*			●																			
493					キアヤヒメノメイガ	*Diasemia accalis*												●										
494					ワタノメイガ	*Haritalodes derogata*										●												
495					キバラノメイガ	*Omiodes noctescens*	●																					
496					オナモミノメイガ	*Ostrinia orientalis*															●							
497					マエアカスカシノメイガ	*Palpita nigropunctalis*	●									●		●										
498					シロオビノメイガ	*Spoladea recurvalis*			●																			
499					クロモンキノメイガ	*Udea testacea*												●										
500					ウスベニトガリメイガ	*Endotricha olivacealis*	●																					
501				セセリチョウ	イチモンジセセリ	*Parnara guttata*	●		●							●	●		●									
502					チャバネセセリ	*Pelopidas mathias*			●					●	●			●										
503				アゲハチョウ	ジャコウアゲハ	*Byasa alcinous*								●							●							
504					アオスジアゲハ	*Graphium sarpedon*	●	●	●	●	●		●	●		●	●		●	●								
505					キアゲハ	*Papilio machaon*		●						●														
506					ナガサキアゲハ	*Papilio memnon*		●		●	●			●	●													
507					クロアゲハ	*Papilio protenor*	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●								
508					ナミアゲハ	*Papilio xuthus*		●						●		●	●		●	●								
509				シロチョウ	モンキチョウ	*Colias erate*								●			●											
510					キタキチョウ	*Eurema mandarina*			●		●	●		●	●		●	●		●	●							
511					スジグロシロチョウ	*Pieris melete*						●																
512					モンシロチョウ	*Pieris rapae*	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●			●							
513				シジミチョウ	ルリシジミ	*Celastrina argiolus*			●					●	●													
514					ウラギンシジミ	*Curetis acuta*		●	●			●			●						●							
515					ツバメシジミ	*Everes argiades*										●												
516					ウラナミシジミ	*Lampides boeticus*			●						●			●			●							
517					ベニシジミ	*Lycaena phlaeas*								●	●													
518					ムラサキシジミ	*Narathura japonica*		●							●						●							
519					ヤマトシジミ	*Zizeeria maha*	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●							
520				タテハチョウ	ツマグロヒョウモン	*Argyreus hyperbius*	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●							
521					ヒメアカタテハ	*Cynthia cardui*									●													
522					アカボシゴマダラ	*Hestina assimilis*	●	●		●			●	●		●												国外/総合_重点/I
523					ゴマダラチョウ	*Hestina japonica*	●																					
524					ルリタテハ	*Kaniska canace*		●							●													
525					イチモンジチョウ	*Ladoga camilla*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																	DD					
526					コミスジ	*Neptis sappho*	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●										
527					キタテハ	*Polygonia c-aureum*			●						●						●							
528					アカタテハ	*Vanessa indica*						●																
529				ジャノメチョウ	クロヒカゲ	*Lethe diana*		●																				
530					ヒカゲチョウ	*Lethe sicelis*								●														
531					ヒメジャノメ	*Mycalesis gotama*	●									●												
532					サトキマダラヒカゲ	*Neope goschkevitschii*	●							●		●												
533					ヒメウラナミジャノメ	*Ypthima argus*	●									●												
534				カギバガ	フタテンシロカギバ	*Ditrigona virgo*				●																		
535					スカシカギバ	*Macrauzata maxima*									●													
536				シャクガ	ウスキクロテンヒメシャク	*Scopula ignobilis*												●										
537					ウスベニスジヒメシャク	*Timandra dichela*		●																				
538					シロシタヒイロナミシャク	*Heterothera postalbida*			●																			
539					オオネグロウスベニナミシャク	*Photoscotosia lucicolens*													●									
540				スズメガ	オオスカシバ	*Cephonodes hylas*															●							
541					ホシホウジャク	*Macroglossum pyrrhosticta*			●												●							
542					ホシヒメホウジャク	*Neogurelca himachala*			●																			
543				シャチホコガ	シャチホコガ	*Stauropus fagi*															●							
544				ヒトリガ	スジベニコケガ	*Barsine striata*	●																					
545				ヤガ	クロクモヤガ	*Hermonassa cecilia*									●													
546					クロシタキヨトウ	*Mythimna placida*	●																					
547					マメチャイロキヨトウ	*Mythimna stolida*										●												
548					ヒメサビスジヨトウ	*Athetis stellata*													●									
549					マダラツマキリヨトウ	*Callopistria repleta*										●												
550					カマフリンガ	*Macrochthonia fervens*							●															

No	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
							春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	1	2	3	4	5		
551					イチジクキンウワバ	*Chrysodeixis eriosoma*	●																					
552					ムクゲコノハ	*Lagoptera juno*						●																
553					オオウンモンクチバ	*Mocis undata*		●																				
554					フタキボシアツバ	*Gynaephila maculifera*		●			●																	
555					アカエグリバ	*Oraesia excavata*						●																
556					テンクロアツバ	*Rivula sericealis*										●												
557					クロスジヒメアツバ	*Schrankia costaestrigalis*		●	●																			
558					タイワンキシタアツバ	*Hypena trigonalis*	●																					
559					トビスジアツバ	*Herminia tarsicrinalis*	●																					
560					ソトウスグロアツバ	*Hydrillodes lentalis*														●								
561				トラガ	トビイロトラガ	*Sarbanissa subflava*				●																		
合計	1門	1綱	14目	165科	561種																	0種	0種	1種	11種	0種	0種	1種

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産野生生物目録 無脊椎動物編Ⅱ」(平成7年、環境庁)に準拠した。
注2. 重要種選定基準
1.「文化財保護法」(昭和25年5月30日公布、同日施行)に基づく天然記念物・特別天然記念物
2.「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日公布、平成5年4月1日施行)における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
3.「環境省報道発表資料 環境省レッドリスト2015の公表について」(平成27年、環境省)における選定種
DD:情報不足
4.「レッドデータブック東京2013」～東京の保護上重要な野生生物種(本土部)解説版～」(平成25年、東京都)における選定種
CR:絶滅危惧IA類、EN:絶滅危惧IB類、VU:絶滅危惧Ⅱ類、NT:準絶滅危惧、DD:情報不足、○:ランク外(※ランク外は重要種として取り扱わない)
5.その他学術上重要な種(有識者による指摘種等)
注3. 特定外来生物選定基準
「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004年法律第78号 2004年6月2日公布)による指定種
注4. 生態系被害防止外来種選定基準
「報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト-」(2015年3月、環境省)
国外:国外由来の外来種
総合 重点:総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)のうち、重点対策外来種
Ⅰ:(選定理由)生態系被害が大きいもの。

(任意採集法による確認種)

No	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
							春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	1	2	3	4	5		
1	節足動物	昆虫	トンボ	イトトンボ	アジアイトトンボ	*Ischnura asiatica*		●						●													
2					アオモンイトトンボ	*Ischnura senegalensis*		●																			
3				モノサシトンボ	モノサシトンボ	*Copera annulata*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		DD		
4				アオイトトンボ	オオアオイトトンボ	*Lestes temporalis*			●																		
5				サナエトンボ	ウチワヤンマ	*Totinogomphus clavatus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		○		
6				オニヤンマ	オニヤンマ	*Anotogaster sieboldii*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		NT		
7				ヤンマ	マルタンヤンマ	*Anaciaeschna martini*		●																			
8					クロスジギンヤンマ	*Anax nigrofasciatus*	●			●																	
9					ギンヤンマ	*Anax parthenope*		●																			
10				トンボ	ショウジョウトンボ	*Crocothemis servilia*											●										
11					シオカラトンボ	*Orthetrum albistylum*	●	●																			
12					オオシオカラトンボ	*Orthetrum triangulare*					●						●										
13					ウスバキトンボ	*Pantala flavescens*		●						●			●			●							
14					コシアキトンボ	*Pseudothemis zonata*		●																			
15					マユタテアカネ	*Sympetrum eroticum*					●	●															
16					アキアカネ	*Sympetrum frequens*			●			●			●		●	●			●						
17					リスアカネ	*Sympetrum risi*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		NT		
18			ゴキブリ	ゴキブリ	クロゴキブリ	*Periplaneta fuliginosa*					●																
19			カマキリ	カマキリ	ハラビロカマキリ	*Hierodula patellifera*			●									●			●						
20					コカマキリ	*Statilia maculata*						●			●												
21					オオカマキリ	*Tenodera aridifolia*			●					●			●										
22			バッタ	ケラ	ケラ	*Gryllotalpa orientalis*			●																		
23				コオロギ	ミツカドコオロギ	*Loxoblemmus doenitzi*			●						●			●			●						
24					モリオカメコオロギ	*Loxoblemmus sylvestris*			●			●															
－					オカメコオロギ属	*Loxoblemmus* sp.		●			●										●							
25					マダラスズ	*Dianemobius nigrofasciatus*									●			●									
26					エンマコオロギ	*Teleogryllus emma*			●						●												
27				クサヒバリ	クサヒバリ	*Svistella bifasciata*		●			●																
28				マツムシ	アオマツムシ	*Truljalia hibinonis*		●	●			●															
29				カネタタキ	カネタタキ	*Ornebius kanetataki*		●	●			●			●		●	●			●						
30				キリギリス	ヒメクダマキモドキ	*Phaulula gracilis*			●																		
31					ヒガシキリギリス	*Gampsocleis mikado*	●																				
32					ヒメギス	*Eobiana engelhardti*	●																				
33					ササキリ	*Conocephalus melas*		●	●																		
34				オンブバッタ	オンブバッタ	*Atractomorpha lata*		●	●			●		●	●		●	●		●							
35				バッタ	ショウリョウバッタ	*Acrida cinerea*		●	●					●			●										
36					ショウリョウバッタモドキ	*Gonista bicolor*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		VU		
37					クルマバッタモドキ	*Oedaleus infernalis*		●																			
38					イボバッタ	*Trilophidia japonica*												●									
39					ツチイナゴ	*Patanga japonica*	●																				
40					コバネイナゴ	*Oxya yezoensis*			●																		
41				ヒシバッタ	ハラヒシバッタ	*Tetrix japonica*	●											●									
42					ヤセヒシバッタ	*Tetrix macilenta*		●																			
－					Tetrix属	*Tetrix* sp.								●													
43			ナナフシ	ナナフシ	ナナフシモドキ	*Baculum irregulariterdentatum*	●																				
44			ハサミムシ	ハサミムシ	ヒゲジロハサミムシ	*Gonolabis marginalis*			●		●					●		●		●	●						
45			カメムシ	ヒシウンカ	オビカワウンカ	*Andes harimaensis*				●																	
46				ウンカ	ヒメトビウンカ	*Laodelphax striatella*		●													●						
47					トビイロウンカ	*Nilaparvata lugens*		●																			
48					セジロウンカ	*Sogatella furcifera*		●																			
49				テングスケバ	テングスケバ	*Dictyophara patruelis*											●	●		●							
50				グンバイウンカ	ミドリグンバイウンカ	*Kallitaxilla sinica*		●									●	●		●							
51				アオバハゴロモ	アオバハゴロモ	*Geisha distinctissima*		●	●		●	●		●	●		●	●			●						
52				ハゴロモ	ベッコウハゴロモ	*Orosanga japonicus*		●						●													
53					アミガサハゴロモ	*Pochazia albomaculata*								●	●												
54				セミ	クマゼミ	*Cryptotympana facialis*		●			●																
55					アブラゼミ	*Graptopsaltria nigrofuscata*		●			●			●			●				●						
56					ツクツクボウシ	*Meimuna opalifera*		●			●																
57					ミンミンゼミ	*Oncotympana maculaticollis*		●			●			●			●				●						
58					ニイニイゼミ	*Platypleura kaempferi*		●			●			●			●										
59					ヒグラシ	*Tanna japonensis*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		NT		
60				アワフキムシ	シロオビアワフキ	*Aphrophora intermedia*								●													
61				ツノゼミ	マルツノゼミ	*Gargara genistae*	●			●																	
62				ヨコバイ	ミミズク	*Ledra auditura*								●													
63					アオズキンヨコバイ	*Batracomorphus mundus*															●						
64					オサヨコバイ	*Tartessus ferrugineus*					●																
65					クロスジホソサジヨコバイ	*Saphonus orientalis*											●				●						
66					Pagaronia属	*Pagaronia* sp.					●			●			●			●	●						
67					ツマグロオオヨコバイ	*Bothrogonia ferruginea*	●		●			●		●	●		●	●		●	●						
68					オオヨコバイ	*Cicadella viridis*		●													●						
69					マエジロオオヨコバイ	*Kolla atramentaria*	●																				
70					オビヒメヨコバイ	*Naratettix zonatus*															●						
71					イナズマヒメヨコバイ	*Ziczacella hirayamella*												●									
72					ヒシモンヨコバイ	*Hishimonus sellatus*															●						
73					マダラヨコバイ属	*Maiestas* sp.											●				●						
74					ミスジトガリヨコバイ	*Japananus hyalinus*												●			●						
75					ヒトツメヨコバイ	*Phlogotettix cyclops*			●																		
76					オオトガリヨコバイ	*Doratulina grandis*												●									
77					リンゴマダラヨコバイ	*Orientus ishidae*		●																			
－					ヨコバイ科	Cicadellidae															●						
78				キジラミ	クワキジラミ	*Anomoneura mori*									●		●	●		●	●						
79					ムツボシキジラミ	*Cyamophila hexastigma*			●																		
80					ベニキジラミ	*Psylla coccinea*										●											
81					グミキジラミ	*Psylla elaeagni*				●																	
82					ヤツデキジラミ	*Psylla fatsiae*										●	●			●							
83					サツマキジラミ	*Psylla satsumensis*				●						●											
－					キジラミ科	Psyllidae	●							●		●				●							
84				アメンボ	オオアメンボ	*Aquarius elongatus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		CR		
85					アメンボ	*Aquarius paludum*	●	●	●		●																
86					ヒメアメンボ	*Gerris latiabdominis*	●	●																			
87				カスミカメムシ	ズアカシダカスミカメ	*Monalocoris filicis*															●						
88					ハギメンガタカスミカメ	*Eurystylus lutens*		●							●	●	●				●	●					
89					フタモンアカカスミカメ	*Apolygus hilaris*	●																				
－					ツヤマルカスミカメ属	*Apolygus* sp.										●				●							
90					ナガミドリカスミカメ属	*Lygocoris* sp.	●											●									
91					アカスジカスミカメ	*Stenotus rubrovittatus*											●										
92					イネホソミドリカスミカメ	*Trigonotylus caelestialium*		●									●			●	●						
93					ヒョウタンカスミカメ	*Pilophorus setulosus*		●									●										
94					クビワヨモギカスミカメ	*Plagiognathus collaris*			●																		
95					カシワトビカスミカメ	*Psallus tonnaicharus*	●																				
－					カスミカメムシ科	Miridae	●			●						●											
96				マキバサシガメ	ハネナガマキバサシガメ	*Nabis stenoferus*								●			●				●						
97				ハナカメムシ	ヒメハナカメムシ属	*Orius* sp.			●							●											
98				グンバイムシ	ヤブガラシグンバイ	*Cysteochila consueta*		●																			
99					コアカソグンバイ	*Cysteochila fieberi*							●														
100					タブグンバイ	*Stephanitis aperta*			●																		
101					ナシグンバイ	*Stephanitis nashi*	●									●	●	●			●						
102					ツツジグンバイ	*Stephanitis pyrioides*										●											
103					トサカグンバイ	*Stephanitis takeyai*	●								●												
－					Stephanitis属	*Stephanitis* sp.	●						●														
104				サシガメ	ヨコツナサシガメ	*Agriosphodrus dohrni*	●																				
105					シマサシガメ	*Sphedanolestes impressicollis*	●						●														
106				イトカメムシ	ヒメイトカメムシ	*Metacanthus pulchellus*								●													
107					イトカメムシ	*Yemma exilis*			●								●	●									
108				ナガカメムシ	ヒメジュウジナガカメムシ	*Tropidothorax belogolowi*	●	●																			
109					ヒメナガカメムシ	*Nysius plebeius*								●	●		●				●						
110					オオメカメムシ	*Piocoris varius*		●	●																		
111					ヒゲナガカメムシ	*Pachygrontha antennata*	●	●					●	●			●										
112					ヨツボシヒョウタンナガカメムシ	*Paraeucosmetus pallicornis*						●		●			●										
113					スコットヒョウタンナガカメムシ	*Pamerana scotti*											●				●						
114					コバネヒョウタンナガカメムシ	*Togo hemipterus*			●																		
115				メダカナガカメムシ	メダカナガカメムシ	*Chauliops fallax*	●	●	●					●													
116				オオホシカメムシ	オオホシカメムシ	*Physopelta gutta*								●	●												
117				ホソヘリカメムシ	ニセヒメクモヘリカメムシ	*Paraplesius vulgaris*											●										
118					ホソヘリカメムシ	*Riptortus clavatus*			●									●									
119				ヘリカメムシ	ホオズキカメムシ	*Acanthocoris sordidus*							●	●													
120					オオクモヘリカメムシ	*Anacanthocoris striicornis*			●																		
121					ホソハリカメムシ	*Cletus punctiger*							●	●													
122					ハリカメムシ	*Cletus rusticus*										●											
123					ホシハラビロヘリカメムシ	*Homoeocerus unipunctatus*	●	●	●																		
124					ツマキヘリカメムシ	*Hygia opaca*	●	●																			
125					ミナミトゲヘリカメムシ	*Paradasynus spinosus*			●						●						●						
126					キバラヘリカメムシ	*Plinachtus bicoloripes*														●							
127				ヒメヘリカメムシ	スカシヒメヘリカメムシ	*Liorhyssus hyalinus*									●		●				●						
128					アカヒメヘリカメムシ	*Rhopalus maculatus*									●	●					●						
129				クヌギカメムシ	ヘラクヌギカメムシ	*Urostylis annulicornis*										●	●										
130					クヌギカメムシ	*Urostylis westwoodi*			●								●										
－					クヌギカメムシ属	*Urostylis* sp.	●											●									
131				マルカメムシ	マルカメムシ	*Megacopta punctatissima*	●	●	●			●	●	●	●		●	●									
132				ツチカメムシ	ヒメツチカメムシ	*Geotomus pygmaeus*	●																				
133					ツチカメムシ	*Macroscytus japonensis*			●												●						
134					ミツボシツチカメムシ	*Adomerus triguttulus*		●																			
135				キンカメムシ	アカスジキンカメムシ	*Poecilocoris lewisi*			●		●	●		●													
136				カメムシ	ウズラカメムシ	*Aelia fieberi*								●		●	●										
137					シロヘリカメムシ	*Aenalia lewisi*	●																				
138					ウシカメムシ	*Alcimocoris japonensis*									●												
139					キマダラカメムシ	*Erthesina fullo*								●	●						●						
140					ナガメ	*Eurydema rugosum*	●																				
141					ツヤアオカメムシ	*Glaucias subpunctatus*	●		●																		
142					クサギカメムシ	*Halyomorpha halys*			●				●	●	●	●					●						
143					ミヤマカメムシ	*Hermolaus amurensis*						●															
144					ナカボシカメムシ	*Menida musiva*								●				●									
145					ミナミアオカメムシ	*Nezara viridula*			●																		
146					チャバネアオカメムシ	*Plautia crossota*	●	●	●			●	●		●	●		●	●		●						
147				ツノカメムシ	フトハサミツノカメムシ	*Acanthosoma crassicauda*						●															
148					セアカツノカメムシ	*Acanthosoma denticaudum*			●																		
149					エサキモンキツノカメムシ	*Sastragala esakii*	●					●															
150			アミメカゲロウ	ヒメカゲロウ	ホソバヒメカゲロウ	*Micromus multipunctatus*	●						●			●											
151					チャバネヒメカゲロウ	*Micromus numerosus*	●																				
152					Sympherobius属	*Sympherobius* sp.							●														
153				クサカゲロウ	ヨツボシクサカゲロウ	*Chrysopa septempunctata*								●			●			●							
154					ヤマトクサカゲロウ	*Chrysoperla carnea*								●			●				●						
155					カオマダラクサカゲロウ	*Mallada boninensis*			●			●			●			●			●	●					
156					フタモンクサカゲロウ	*Dichochrysa formosana*							●														
157					ヨツボシアカマダラクサカゲロウ	*Dichochrysa parabora*				●																	
158					アミメクサカゲロウ	*Nacaura matsumurae*						●															
159			コウチュウ	ハンミョウ	トウキョウヒメハンミョウ	*Cicindela kaleea*		●			●			●			●				●						
160				オサムシ	コガシラナガゴミムシ	*Pterostichus microcephalus*			●																		
161					ハラアカモリヒラタゴミムシ	*Colpodes japonicus*					●																
162					ニセマルガタゴミムシ	*Amara congrua*		●												●							
163					ナガマルガタゴミムシ	*Amara macronota*			●																		
164					ケウスゴモクムシ	*Harpalus griseus*												●									
165					ウスアカクロゴモクムシ	*Harpalus sinicus*		●																			
166					オオイクビツヤゴモクムシ	*Trichotichnus nipponicus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		NT		
167					ジュウジアトキリゴミムシ	*Lebia retrofasciata*				●																	
168					コルリアトキリゴミムシ	*Lebia viridis*												●									
169					ヒラタアトキリゴミムシ	*Parena cavipennis*															●						
170				シデムシ	オオヒラタシデムシ	*Eusilpha japonica*	●	●																			
171				ハネカクシ	セスジハネカクシ	*Anotylus cognatus*										●											
172					コガシラハネカクシ属	*Philonthus* sp.		●																			
173				マルハナノミ	キムネマルハナノミ	*Sacodes protecta*	●																				
174				クワガタムシ	コクワガタ	*Dorcus rectus*		●																			
175				センチコガネ	センチコガネ	*Geotrupes laevistriatus*	●		●																		
176				コガネムシ	コフキコガネ	*Melolontha japonica*		●			●						●				●						
177					アシナガコガネ	*Hoplia communis*	●																				
178					アオドウガネ	*Anomala albopilosa*		●			●			●			●				●						
179					サクラコガネ	*Anomala daimiana*					●																
180					ヒラタアオコガネ	*Anomala octiescostata*										●											
181					ハンノヒメコガネ	*Anomala multistriata*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		DD		
182					セマダラコガネ	*Blitopertha orientalis*											●										
183					マメコガネ	*Popillia japonica*		●						●													

No	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
							春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	1	2	3	4	5		
184					ヒラタハナムグリ	*Nipponovalgus angusticollis*	●			●			●			●												
185					コアオハナムグリ	*Oxycetonia jucunda*	●																					
186					シロテンハナムグリ	*Protaetia orientalis*		●									●			●								
187					カナブン	*Rhomborrhina japonica*								●														
188					クロカナブン	*Rhomborrhina polita*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		EN			
189					カブトムシ	*Trypoxylus dichotomus*		●						●														
190				ヒラタドロムシ	チビヒゲナガハナノミ	*Ectopria opaca*				●																		
191				タマムシ	ヤマトタマムシ	*Chrysochroa fulgidissima*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		NT			
192					ヒシモンナガタマムシ	*Agrilus discalis*	●								●													
193					ムネアカナガタマムシ	*Agrilus imitans*		●																				
194					ナミガタチビタマムシ	*Trachys griseofasciata*	●																					
195					マメチビタマムシ	*Trachys reitteri*						●																
196				コメツキムシ	サビキコリ	*Agrypnus binodulus*							●				●											
197					ニセクチブトコメツキ	*Lanecarus palustris*								●														
198					クロツヤケシコメツキ	*Melanotus annosus*	●												●									
199					クシコメツキ	*Melanotus legatus*	●																					
200					オオクロクシコメツキ	*Melanotus restrictus*							●															
201					コハナコメツキ	*Paracardiophorus pullatus*		●																				
202					アカアシハナコメツキ	*Platynychus adjutor*													●									
203				ジョウカイボン	オカベセボシジョウカイ	*Lycocerus okabei*							●			●												
204					アオジョウカイ	*Themus cyanipennis*				●																		
205				カツオブシムシ	ヒメカツオブシムシ	*Attagenus japonicus*										●												
206					ヒメマルカツオブシムシ	*Anthrenus verbasci*							●			●			●									
207				シバンムシ	ツツガタシバンムシ	*Gastrallus affinis*								●														
208				コクヌスト	ハロルドヒメコクヌスト	*Ancyrona haroldi*		●																				
209				ケシキスイ	ケシキスイ科	Nitidulidae				●						●												
210				キスイムシ	クロモンキスイ	*Cryptophagus decoratus*				●																		
211					ウスイロキスイ	*Cryptophagus dilutus*							●															
212				オオキノコムシ	アカハバビロオオキノコ	*Neotriplax lewisii*			●																			
213				テントウムシ	クロツヤテントウ	*Serangium japonicum*								●	●	●		●	●	●	●							
214					ハレヤヒメテントウ	*Pseudoscymnus hareja*	●																					
215					オオタヒメテントウ	*Scymnus ohtai*							●															
216					オニヒメテントウ	*Scymnus giganteus*											●											
217					クロヒメテントウ	*Scymnus japonicus*												●		●	●							
218					コクロヒメテントウ	*Scymnus posticalis*										●	●		●		●							
219					ヒメアカホシテントウ	*Chilocorus kuwanae*		●				●								●								
220					ヨツボシテントウ	*Phymatosternus lewisii*									●													
221					クロテントウ	*Telsimia nigra*										●				●	●							
222					シロジュウシホシテントウ	*Calvia quatuordecimguttata*				●																		
223					ムーアシロホシテントウ	*Calvia muiri*	●	●	●	●		●	●	●		●	●	●	●	●	●							
224					シロジュウゴホシテントウ	*Calvia quindecimguttata*		●																				
225					ナナホシテントウ	*Coccinella septempunctata*	●		●				●			●		●										
226					ナミテントウ	*Harmonia axyridis*	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		●								
227					キイロテントウ	*Illeis koebelei*	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●							
228					ダンダラテントウ	*Menochilus sexmaculatus*									●	●		●		●								
229					ヒメカメノコテントウ	*Propylea japonica*	●		●										●									
230					クモガタテントウ	*Psyllobora vigintimaculata*										●		●		●	●							
231					モンクチビルテントウ	*Platynaspidius maculosus*												●										
232				カミキリモドキ	スジカミキリモドキ	*Chrysanthia viatica*										●												
233				アリモドキ	ホソクビアリモドキ	*Formicomus braminus*	●																					
234				ハナノミダマシ	クロフナガタハナノミ	*Anaspis marseuli*	●			●						●												
–					ハナノミダマシ科	Scraptiidae													●									
235				ゴミムシダマシ	ヒゲブトゴミムシダマシ	*Luprops orientalis*						●				●												
236				カミキリムシ	ヨツスジトラカミキリ	*Chlorophorus quinquefasciatus*		●																				
237					ヒメクロトラカミキリ	*Rhaphuma diminuta*							●															
238					クワカミキリ	*Apriona japonica*					●																	
239					ルリカミキリ	*Bacchisa fortunei*							●															
240				ハムシ	ヤマイモハムシ	*Lema honorata*		●						●														
241					パラルリツツハムシ	*Cryptocephalus approximatus*							●															
242					カシワツツハムシ	*Cryptocephalus scitulus*														●								
243					チャイロサルハムシ	*Basilepta balyi*							●															
244					アオバネサルハムシ	*Basilepta fulvipes*								●			●			●								
245					マダラアラゲサルハムシ	*Demotina fasciculata*						●																
246					カサハラハムシ	*Demotina modesta*							●															
247					コフキサルハムシ	*Lypesthes ater*	●																					
248					ムネアカキバネサルハムシ	*Pagria consimile*		●																				
249					マルキバネサルハムシ	*Pagria ussuriensis*	●																					
250					ドウガネサルハムシ	*Scelodonta lewisii*	●	●					●						●									
251					ヨモギハムシ	*Chrysolina aurichalcea*									●													
252					ヤツボシハムシ	*Gonioctena nigroplagiata*	●	●																				
253					ヤナギルリハムシ	*Plagiodera versicolora*							●															
254					ウリハムシ	*Aulacophora femoralis*	●	●	●												●							
255					クロウリハムシ	*Aulacophora nigripennis*	●		●			●	●		●	●			●									
256					クワハムシ	*Fleutiauxia armata*	●																					
257					イタドリハムシ	*Gallerucida bifasciata*	●																					
258					クロウスバハムシ	*Luperus moorii*	●																					
259					サンゴジュハムシ	*Pyrrhalta humeralis*			●																			
260					ニレハムシ	*Pyrrhalta maculicollis*							●				●											
261					サメハダツブノミハムシ	*Aphthona strigosa*	●																					
262					ヒメテントウノミハムシ	*Argopistes tsekooni*			●			●					●											
263					ヒサゴトビハムシ	*Chaetocnema ingenua*											●											
264					クロボシトビハムシ	*Longitarsus bimaculatus*		●									●											
265					オオバコトビハムシ	*Longitarsus scutellaris*		●									●											
266					コマルノミハムシ	*Nonarthra tibialis*						●		●	●	●	●	●		●	●							
267					ナトビハムシ	*Psylliodes punctifrons*			●			●					●	●			●							
268				ヒゲナガゾウムシ	スネアカヒゲナガゾウムシ	*Autotropis distinguenda*			●																			
269				オトシブミ	クロケシツブチョッキリ	*Auletobius uniformis*											●											
270					ハイイロチョッキリ	*Cyllorhynchites ursulus*											●											
271				ゾウムシ	ヒゲボソゾウムシ属	*Phyllobius* sp.	●																					
272					サビクチブトゾウムシ	*Canoixus japonicus*								●														
273					ケブカクチブトゾウムシ	*Myllocerus fumosus*												●										
274					カシワクチブトゾウムシ	*Myllocerus griseus*	●					●					●											
275					Naupactus cervinus	*Naupactus cervinus*														●								
276					ヒレルクチブトゾウムシ	*Dodophrys hilleri*		●									●		●		●							
277					スグリゾウムシ	*Pseudocneorhinus bifasciatus*		●					●	●	●		●											
278					コフキゾウムシ	*Eugnathus distinctus*	●		●																			
279					ケチビコフキゾウムシ	*Sitona hispidulus*		●																				
280					チビコフキゾウムシ	*Sitona japonicus*											●											
281					アルファルファタコゾウムシ	*Hypera postica*	●	●	●									●										
282					オジロアシナガゾウムシ	*Mesalcidodes trifidus*	●																					
283					イヌビワシギゾウムシ	*Curculio funebris*		●																				
284					アカアシクチブトサルゾウムシ	*Rhinoncus cribricollis*										●												
285					ツツジトゲムネサルゾウムシ	*Mecysmoderes fulvus*									●													
–					ゾウムシ科	Curculionidae									●													
286		ハチ		ミフシハバチ	ルリチュウレンジ	*Arge similis*						●		●	●		●	●	●	●	●							
287				ハバチ	ハグロハバチ	*Allantus luctifer*														●								
288					セグロカブラハバチ	*Athalia infumata*													●									
289					ニホンカブラハバチ	*Athalia japonica*										●												
290					カブラハバチ	*Athalia rosae ruficornis*		●											●									
–					ハバチ科	Tenthredinidae				●									●									
291				コマユバチ	コマユバチ科	Braconidae				●			●															
292				ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae	●			●																		
293				アリバチ	ルイスヒトホシアリバチ	*Smicromyrme lewisi*		●																				
294				コツチバチ	Tiphia属	*Tiphia* sp.	●		●				●		●													
295				ツチバチ	コモンツチバチ	*Scolia decorata*											●			●								
296					キオビツチバチ	*Scolia oculata*		●																				
297					ヒメハラナガツチバチ	*Campsomeriella annulata*		●						●	●				●									
298					キイロハラナガツチバチ	*Campsomeris mojiensis*													●									
299					キンケハラナガツチバチ	*Campsomeris prismatica*											●				●							
300					ハラナガツチバチ	*Campsomeris schulthessi*									●						●							
301				アリ	テラニシシリアゲアリ	*Crematogaster brunnea*				●																		
302					ハリブトシリアゲアリ	*Crematogaster matsumurai*		●			●		●				●		●	●	●							
303					ムネボソアリ	*Temnothorax congruus*	●	●	●				●															
304					キイロヒメアリ	*Monomorium triviale*	●																					
305					アミメアリ	*Pristomyrmex pungens*		●				●	●			●				●								
306					トビイロシワアリ	*Tetramorium tsushimae*					●																	
307					クロオオアリ	*Camponotus japonicus*	●				●			●			●											
308					ヨツボシオオアリ	*Camponotus quadrinotatus*											●											
309					ウメマツオオアリ	*Camponotus tokioensis*	●	●		●		●	●		●	●	●	●	●	●	●							
310					クロヤマアリ	*Formica japonica*		●						●	●	●	●	●	●	●	●							
311					アメイロケアリ	*Lasius umbratus*						●																
312					クロクサアリ	*Lasius nipponensis*						●																
313					クサアリモドキ	*Lasius spathopus*									●				●									
314					トビイロケアリ	*Lasius japonicus*	●	●	●	●		●	●		●	●		●	●	●	●							
315					アメイロアリ	*Paratrechina flavipes*		●			●									●								
316				ベッコウバチ	オオモンクロベッコウ	*Anoplius samariensis*					●																	
317				ドロバチ	オオフタオビドロバチ	*Anterhynchium flavomarginatum*											●											
318					ミカドトックリバチ	*Eumenes micado*								●														
319					スズバチ	*Oreumenes decoratus*		●																				
320					オオハムシドロバチ	*Symmorphus captivus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		DD			
321				スズメバチ	セグロアシナガバチ	*Polistes jadwigae*		●						●														
322					キボシアシナガバチ	*Polistes mandarinus*				●																		
323					キアシナガバチ	*Polistes rothneyi*	●																					
324					コアシナガバチ	*Polistes snelleni*												●										
325					コガタスズメバチ	*Vespa analis*	●	●						●	●	●				●								
326					オオスズメバチ	*Vespa mandarinia*	●		●						●													
327					クロスズメバチ	*Vespula flaviceps*			●																			
328				アナバチ	ヒメギンケチバチ属	*Crossocerus* sp.						●									●							
329					ニッポンギンケチバチ	*Rhopalum nipponicum*											●											
330				ムカシハナバチ	メンハナバチ属	*Hylaeus* sp.							●			●												
331				コハナバチ	アカガネコハナバチ	*Halictus aerarius*		●						●	●		●											
332					Lasioglossum属	*Lasioglossum* spp.					●		●		●		●		●	●	●							
333				ヒメハナバチ	ヒメハナバチ属	*Andrena* sp.							●															
334				ハキリバチ	オオハキリバチ	*Chalicodoma sculpturalis*					●																	
335					ツルガハキリバチ	*Megachile tsurugensis*		●																				
336				コシブトハナバチ	キマダラハナバチ属	*Nomada* sp.														●								
337					シロスジヒゲナガハナバチ	*Eucera spurcatipes*	●																					
338					キオビツヤハナバチ	*Ceratina flavipes*							●															
339					クマバチ	*Xylocopa appendiculata*	●	●	●				●	●			●	●	●	●								
340				ミツバチ	コマルハナバチ	*Bombus ardens*										●			●									
341					ニホンミツバチ	*Apis cerana*	●	●			●																	
342					セイヨウミツバチ	*Apis mellifera*	●	●	●						●		●	●	●	●	●							
343		ハエ		ガガンボ	Nephrotoma属	*Nephrotoma* sp.	●	●	●						●	●	●		●									
344					ヤチガガンボ	*Tipula serricauda*										●												
345					キリウジガガンボ	*Tipula aino*					●																	
–					ガガンボ属	*Tipula* sp.												●										
346					ナミガタガガンボ	*Limonia undulata*						●																
–					ガガンボ科	Tipulidae	●			●																		
347				カ	ヤブカ属	*Aedes* sp.	●				●						●			●	●							
348					Culex属	*Culex* sp.						●																
349				ヌカカ	ヌカカ科	*Ceratopogonidae*														●								
350				ユスリカ	ナカオビツヤユスリカ	*Cricotopus triannulatus*														●								
351					ミツオビツヤユスリカ	*Cricotopus trifasciatus*								●														
–					ツヤユスリカ属	*Cricotopus* sp.							●			●												
352					セスジユスリカ	*Chironomus yoshimatsui*											●				●							
–					ユスリカ科	Chironomidae	●			●			●			●												
353				キノコバエ	キノコバエ科	Mycetophilidae							●															
354				クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科	Sciaridae	●						●						●									
355				ミズアブ	Actina属	*Actina* sp.	●																					
356					ルリミズアブ	*Sargus niphonensis*			●																			
357				ツリアブ	クロバネツリアブ	*Ligyra tantalus*		●									●											
358				ムシヒキアブ	ハラボソムシヒキ	*Dioctria nakanensis*										●												
359					アオメアブ	*Cophinopoda chinensis*								●														
360					シオヤアブ	*Promachus yesonicus*		●									●											
361					マガリケムシヒキ	*Neoitamus angusticornis*	●			●																		
362					シロズヒメムシヒキ	*Philonicus albiceps*		●									●											
363				オドリバエ	オドリバエ科	Empididae	●																					
364				アシナガバエ	アシナガバエ科	Dolichopodidae										●												
365				ハナアブ	クロヒラタアブ	*Betasyrphus serarius*	●																					
366					ツマキオオヒラタアブ	*Dideoides coquilletti*			●																			
367					ホソヒラタアブ	*Episyrphus balteatus*			●			●	●		●					●									

No	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
							春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季	1	2	3	4	5		
368					ナミホシヒラタアブ	*Eupeodes frequens*						●																
369					ホソヒメヒラタアブ	*Sphaerophoria macrogaster*			●						●	●		●	●									
370					キイロナミホシヒラタアブ	*Syrphus vitripennis*										●												
371					ツマグロコシボソハナアブ	*Allobaccha apicalis*	●																					
372					ホシツヤヒラタアブ	*Melanostoma scalare*										●												
373					Eumerus属	*Eumerus* sp.							●			●												
374					キコシハナアブ	*Eristalinus quinquestriatus*			●						●				●									
375					アシブトハナアブ	*Helophilus virgatus*	●														●							
376					オオハナアブ	*Phytremia zonata*			●																			
377				ミバエ	カボチャミバエ	*Paradacus depressus*							●								●							
378					イヌビワハマダラミバエ	*Ihekaze diversa*				●																		
379				ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	*Sepedon aenescens*								●	●						●							
380				ツヤホソバエ	ヒトテンツヤホソバエ	*Sepsis monostigma*						●				●				●								
381				シマバエ	ヤブクロシマバエ	*Minettia longipennis*	●																					
–					シマバエ科	Lauxaniidae				●			●			●				●								
382				ハモグリバエ	ハモグリバエ科	Agromyzidae				●																		
383				キモグリバエ	キモグリバエ科	Chloropidae	●													●								
384				ミギワバエ	ミナミカマバエ	*Ochthera circularis*			●																			
385				ショウジョウバエ	ショウジョウバエ属	*Drosophila* sp.	●														●							
386				フンバエ	ヒメフンバエ	*Scathophaga stercoraria*			●																			
387				ハナバエ	ハナバエ科	Anthomyiidae	●						●			●				●								
388				イエバエ	イエバエ科	Muscidae	●			●			●			●												
389				クロバエ	ツマグロキンバエ	*Stomorhina obsoleta*		●							●			●										
–					クロバエ科	Calliphoridae							●			●												
390				ニクバエ	ニクバエ属	*Sarcophaga* spp.										●	●			●								
391			トビケラ	シマトビケラ	ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*						●																
392				ヒゲナガトビケラ	アオヒゲナガトビケラ	*Mystacides azurea*					●	●																
393			チョウ	ハマキガ	ハラブトヒメハマキ	*Cryptasphasma angulicostana*						●																
394					スネブトヒメハマキ	*Phaecadophora fimbriata*						●																
395				ハマキモドキガ	ヨボウハマキモドキ	*Tebenna micalis*												●										
396				カザリバガ	カザリバガ属	*Cosmopterix* sp.	●																					
397				ヒゲナガキバガ	フタテンヒロバキバガ	*Scythropiodes malivora*											●											
398				マダラガ	タケノホソクロバ	*Artona martini*				●						●		●										
399					ブドウスカシクロバ	*Illiberis tenuis*													●									
400				メイガ	ツトガ	*Ancylolomia japonica*														●								
401					シロスジツトガ	*Crambus argyrophorus*				●									●									
402					オオキノメイガ	*Botyodes principalis*			●																			
403					キアヤヒメノメイガ	*Diasemia accalis*												●										
404					キバラノメイガ	*Omiodes noctescens*	●																					
405					オナモミノメイガ	*Ostrinia orientalis*														●								
406					マエアカスカシノメイガ	*Palpita nigropunctalis*										●												
407					シロオビノメイガ	*Spoladea recurvalis*			●																			
408					ウスベニトガリメイガ	*Endotricha olivacealis*	●																					
409				セセリチョウ	イチモンジセセリ	*Parnara guttata*	●		●							●	●		●									
410					チャバネセセリ	*Pelopidas mathias*			●					●	●			●										
411				アゲハチョウ	ジャコウアゲハ	*Byasa alcinous*								●						●								
412					アオスジアゲハ	*Graphium sarpedon*	●	●	●	●	●		●	●		●	●		●	●								
413					キアゲハ	*Papilio machaon*		●						●														
414					ナガサキアゲハ	*Papilio memnon*		●		●	●			●	●													
415					クロアゲハ	*Papilio protenor*	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●								
416					ナミアゲハ	*Papilio xuthus*		●						●		●	●		●	●								
417				シロチョウ	モンキチョウ	*Colias erate*								●			●											
418					キタキチョウ	*Eurema mandarina*			●		●	●		●	●		●	●		●	●							
419					スジグロシロチョウ	*Pieris melete*						●																
420					モンシロチョウ	*Pieris rapae*	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●			●							
421				シジミチョウ	ルリシジミ	*Celastrina argiolus*			●					●	●													
422					ウラギンシジミ	*Curetis acuta*		●	●			●			●						●							
423					ツバメシジミ	*Everes argiades*										●												
424					ウラナミシジミ	*Lampides boeticus*			●						●			●			●							
425					ベニシジミ	*Lycaena phlaeas*								●	●													
426					ムラサキシジミ	*Narathura japonica*		●							●						●							
427					ヤマトシジミ	*Zizeeria maha*	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●							
428				タテハチョウ	ツマグロヒョウモン	*Argyreus hyperbius*	●	●	●				●	●	●	●	●	●	●	●	●							
429					ヒメアカタテハ	*Cynthia cardui*									●													
430					アカボシゴマダラ	*Hestina assimilis*	●	●		●			●	●		●												国外/総合_重点/Ⅰ
431					ゴマダラチョウ	*Hestina japonica*	●																					
432					ルリタテハ	*Kaniska canace*		●							●													
433					イチモンジチョウ	*Ladoga camilla*	重要種保護の観点から重要種は非掲載																		DD			
434					コミスジ	*Neptis sappho*	●	●	●	●		●	●	●	●		●	●										
435					キタテハ	*Polygonia c-aureum*			●						●						●							
436					アカタテハ	*Vanessa indica*						●																
437				ジャノメチョウ	クロヒカゲ	*Lethe diana*		●																				
438					ヒカゲチョウ	*Lethe sicelis*								●														
439					ヒメジャノメ	*Mycalesis gotama*	●									●												
440					サトキマダラヒカゲ	*Neope goschkevitschii*	●							●		●												
441					ヒメウラナミジャノメ	*Ypthima argus*	●									●												
442				カギバガ	フタテンシロカギバ	*Ditrigona virgo*				●																		
443					スカシカギバ	*Macrauzata maxima*									●													
444				シャクガ	ウスベニスジヒメシャク	*Timandra dichela*		●																				
445					シロシタトビイロナミシャク	*Heterothera postalbida*			●																			
446					オオネグロウスベニナミシャク	*Photoscotosia lucicolens*													●									
447				スズメガ	オオスカシバ	*Cephonodes hylas*														●								
448					ホシホウジャク	*Macroglossum pyrrhosticta*			●											●								
449					ホシヒメホウジャク	*Neogurelca himachala*			●																			
450				シャチホコガ	シャチホコガ	*Stauropus fagi*															●							
451				ヒトリガ	スジベニコケガ	*Barsine striata*	●																					
452				ヤガ	クロシタキヨトウ	*Mythimna placida*	●																					
453					ヒメサビスジヨトウ	*Athetis stellata*													●									
454					カマフリンガ	*Macrochthonia fervens*							●															
455					ムクゲコノハ	*Lagoptera juno*						●																
456					オオウンモンクチバ	*Mocis undata*		●																				
457					アカエグリバ	*Oraesia excavata*						●																
458					タイワンキシタアツバ	*Hypena trigonalis*	●																					
459				トラガ	トビイロトラガ	*Sarbanissa subflava*				●																		
合計	1門		1綱	13目	144科	459種																0種	0種	1種	11種	0種	1種	1種

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産野生生物目録　無脊椎動物編Ⅱ」（平成7年、環境庁）に準拠した。
注2. 重要種選定基準
1.「文化財保護法」（昭和25年5月30日公布、同日施行）に基づく天然記念物・特別天然記念物
2.「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（平成4年6月5日公布、平成5年4月1日施行）における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
3.「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト2015の公表について」（平成27年、環境省）における選定種
DD：情報不足
4.「レッドデータブック東京2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」（平成25年、東京都）における選定種
CR：絶滅危惧IA類、EN：絶滅危惧IB類、VU：絶滅危惧Ⅱ類、NT：準絶滅危惧、DD：情報不足、○：ランク外（※ランク外は重要種として取り扱わない）
5.その他学術上重要な種（有識者による指摘種等）
注3. 特定外来生物選定基準
「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年法律第78号　2004年6月2日公布）による指定種
注4. 生態系被害防止外来種選定基準
「報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト-」（2015年3月、環境省）
国外：国外由来の外来種
総合_重点：総合的に対策が必要な外来種（総合対策外来種）のうち、重点対策外来種
Ⅰ：（選定理由）生態系被害が大きいもの。

(ピットフォールトラップ法による確認種)

No	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
							5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	1	2	3	4	5		
1	節足動物	昆虫	ゴキブリ	ゴキブリ	クロゴキブリ	*Periplaneta fuliginosa*			1																		
2				チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ	*Blattella nipponica*								1	1	8	5	112									
3			バッタ	コオロギ	モリオカメコオロギ	*Loxoblemmus sylvestris*			1																		
–					オカメコオロギ属	*Loxoblemmus* sp.		2									7			23							
4				ヒシバッタ	Tetrix属	*Tetrix* sp.								1													
5			ハサミムシ	ハサミムシ	ハマベハサミムシ	*Anisolabis maritima*											1										
6					キアシハサミムシ	*Euborellia plebeja*											6										
7					ヒゲジロハサミムシ	*Gonolabis marginalis*		8									1	1		4							
8			カメムシ	ナガカメムシ	ヨツボシヒョウタンナガカメムシ	*Paraeucosmetus pallicornis*								1													
9					オオモンシロナガカメムシ	*Metochus abbreviatus*		4																			
10					サビヒョウタンナガカメムシ	*Pamerarma rustica*															1						
11					イチゴチビナガカメムシ	*Stigmatonotum geniculatum*							1														
12				ツチカメムシ	ツチカメムシ	*Macroscytus japonensis*		3																			
13			コウチュウ	ハンミョウ	トウキョウヒメハンミョウ	*Cicindela kaleea*								15			17										
14				オサムシ	アオオサムシ	*Carabus insulicola*		2																			
15					セアカヒラタゴミムシ	*Dolichus halensis*								6				2									
16					マルガタツヤヒラタゴミムシ	*Synuchus arcuaticollis*	1																				
17					マルガタゴミムシ	*Amara chalcites*								1					1								
18				エンマムシ	コエンマムシ	*Margarinotus niponicus*														1							
19				シデムシ	オオヒラタシデムシ	*Eusilpha japonica*		12																			
20				ハネカクシ	クロサビイロハネカクシ	*Ocypus lewisius*				1																	
–					ハネカクシ科	Staphylinidae		4		1			1	2			5	1	1	17							
21				センチコガネ	センチコガネ	*Geotrupes laevistriatus*		2	1			4															
22				コガネムシ	コブマルエンマコガネ	*Onthophagus atripennis*		1			2									4							
23					ツヤエンマコガネ	*Onthophagus nitidus*										1											
24					セマダラコガネ	*Blitopertha orientalis*														1							
25				コメツキムシ	サビキコリ	*Agrypnus binodulus*							1	1		1	1			1							
26				ケシキスイ	モンチビヒラタケシキスイ	*Haptoncus ocularis*				3																	
27					アカマダラケシキスイ	*Lasiodactylus pictus*										2	1										
28					マルキマダラケシキスイ	*Stelidota multiguttata*		3																			
–					ケシキスイ科	Nitidulidae												1									
29				ハムシ	ツブノミハムシ	*Aphthona perminuta*													1								
30				ゾウムシ	ニセチビヒョウタンゾウムシ	*Myosides pyrus*													2								
31					ケシツチゾウムシ	*Trachyphloeosoma setosum*										1			2								
32					サビヒョウタンゾウムシ	*Scepticus griseus*							1														
33			ハチ	アリ	オオハリアリ	*Pachycondyla chinensis*							1	3	1												
34					アシナガアリ	*Aphaenogaster famelica*					2																
35					キイロシリアゲアリ	*Crematogaster osakensis*	1			2		4	62		108						14						
36					クロナガアリ	*Messor aciculatus*									2												
37					アズマオオズアリ	*Pheidole fervida*	385	497	440	5	136	6		1													
38					アミメアリ	*Pristomyrmex pungens*	89	2		17			215	1		56	218	2	43	21							
39					ウロコアリ	*Strumigenys lewisi*					1								1		1						
40					トビイロシワアリ	*Tetramorium tsushimae*		1					296	17	38	4	51	585	537	166	840						
41					ルリアリ	*Uchetellus glaber*											1										
42					ヨツボシオオアリ	*Camponotus quadrinotatus*														1							
43					クロヤマアリ	*Formica japonica*	3	3					1	1		1			5	37	7						
44					アメイロケアリ	*Lasius umbratus*															1						
45					トビイロケアリ	*Lasius japonicus*	6	149		1			41	33	1	31	97	152		1							
46					アメイロアリ	*Paratrechina flavipes*	109	1369	568	67	1145	74		4	4	161	1424	617	254	793	521						
47					サクラアリ	*Paratrechina sakurae*	4						24	2	17		75	48			4						
48					サムライアリ	*Polyergus samurai*								1													
49			ハエ	ガガンボ	ナミガタガガンボ	*Limonia undulata*												1									
–					ガガンボ科	Tipulidae		2											1								
50				チョウバエ	チョウバエ科	Psychodidae													1								
51				カ	ヤブカ属	*Aedes* sp.														1							
52					Culex属	*Culex* sp.												1			1						
53				ヌカカ	ヌカカ科	Ceratopogonidae													1								
54				ユスリカ	セスジユスリカ	*Chironomus yoshimatsui*												1									
–					ユスリカ科	Chironomidae									9			1			1						
55				タマバエ	タマバエ科	Cecidomyiidae												1									
56				キノコバエ	キノコバエ科	Mycetophilidae												2									
57				クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科	Sciaridae	2				1		1	1					3								
58				ノミバエ	ノミバエ科	Phoridae	2	1	1		1	1							2								
59				ハナアブ	キイロナミホシヒラタアブ	*Syrphus vitripennis*										1											
60				キモグリバエ	キモグリバエ科	Chloropidae							1	1													
61				ショウジョウバエ	ショウジョウバエ属	*Drosophila* spp.	6	82	13	2	10	8	1		6	3	3	8	3		3						
–					ショウジョウバエ科	Drosophilidae														6	1						
62				ハヤトビバエ	ハヤトビバエ科	Sphaeroceridae								1				1									
63				イエバエ	イエバエ科	Muscidae		4				3		2		1											
64				ニクバエ	ニクバエ属	*Sarcophaga* sp.							1														
65			チョウ	ヤガ	ソトウスグロアツバ	*Hydrillodes lentalis*														2							
合計	1門	1綱	8目	35科	65種		11種	20種	7種	8種	8種	7種	15種	21種	10種	13種	16種	17種	15種	16種	11種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
							608個体	2151個体	1025個体	99個体	1298個体	100個体	648個体	96個体	187個体	271個体	1913個体	1537個体	857個体	1079個体	1395個体							
							25種			15種			28種			28種			31種									
							3784個体			1497個体			931個体			3721個体			3331個体									

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産野生生物目録　無脊椎動物編Ⅱ」（平成7年、環境庁）に準拠した。
注2. 重要種選定基準
1.「文化財保護法」(昭和25年5月30日公布、同日施行)に基づく天然記念物・特別天然記念物
2.「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日公布、平成5年4月1日施行)における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
3.「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト2015の公表について」(平成27年、環境省)における選定種
4.「レッドデータブック東京2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」(平成25年、東京都)における選定種
5.その他学術上重要な種(有識者による指摘種等)
注3. 特定外来生物選定基準
「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年法律第78号　2004年6月2日公布）による指定種
注4. 生態系被害防止外来種選定基準
「報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト-」(2015年3月、環境省)

(ライトトラップ法及び夜間灯火採集(烏山川緑道のみ)による確認種)

No	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	都立砧公園			等々力渓谷公園			給田四丁目緑地とその周辺			烏山川緑道			大原一丁目柳澤の杜市民緑地とその周辺			重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
							5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	5月	7月	10月	1	2	3	4	5		
1	節足動物	昆虫	カワゲラ	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ属	*Nemoura* sp.				1																	
2			パッタ	キリギリス	クビキリギス	*Euconocephalus varius*										●											
3			カメムシ	ウンカ	セジロウンカ	*Sogatella furcifera*		1						1													
4				セミ	ニイニイゼミ	*Platypleura kaempferi*								1													
5				ヨコバイ	ツマグロオオヨコバイ	*Bothrogonia ferruginea*										●											
6					ベニヒメヨコバイ	*Duyus takagii*		1																			
7					アカシヒメヨコバイ	*Paracyba akashiensis*			1																		
8					マダラヒメヨコバイ	*Platytettix pulchrus*		1																			
9					クズヒメヨコバイ	*Tautoneura japonica*			2																		
10					タケナガヨコバイ	*Bambusana bambusae*			1												1						
11					コチャイロヨコバイ	*Matsumurella kogotensis*		1																			
–					ヨコバイ科	Cicadellidae	1			1																	
12				グンバイムシ	ウチワグンバイ	*Cantacader lethierryi*														1							
13					ヤブガラシグンバイ	*Cysteochila consueta*															1						
14				カメムシ	ミナミアオカメムシ	*Nezara viridula*			1																		
15					チャバネアオカメムシ	*Plautia crossota*										●											
16			アミメカゲロウ	ヒメカゲロウ	ホソバヒメカゲロウ	*Micromus multipunctatus*	1																				
17				クサカゲロウ	ヨツボシクサカゲロウ	*Chrysopa septempunctata*										●											
18			コウチュウ	ハンミョウ	トウキョウヒメハンミョウ	*Cicindela kaleea*								3													
19				オサムシ	イツホシマメゴモクムシ	*Stenolophus quinquepustulatus*								3													
20					ヒメキベリアオゴミムシ	*Chlaenius inops*				1																	
21				ガムシ	ケシガムシ属	*Cercyon* sp.		1			1																
22				チビシデムシ	チビシデムシ属	*Catops* spp.							2														
23				ハネカクシ	ツマグロアカバハネカクシ	*Hesperus tiro*					1																
24					コガシラハネカクシ属	*Philonthus* sp.											●										
25				コケムシ	コケムシ科	Scydmaenidae				1																	
26				センチコガネ	ムネアカセンチコガネ	*Bolbocerosoma nigroplagiatum*		1																			
27				コガネムシ	クロマルエンマコガネ	*Onthophagus ater*				1																	
28					コブマルエンマコガネ	*Onthophagus atripennis*					1																
29					ナガチャコガネ	*Heptophylla picea*		1			3					●					1						
30					コクロコガネ	*Holotrichia picea*	4																				
31					コフキコガネ	*Melolontha japonica*											●				3						
32					アカビロウドコガネ	*Maladera castanea*															1						
33					ビロウドコガネ	*Maladera japonica*															1						
34					マルガタビロウドコガネ	*Maladera secreta*															1						
35					アオドウガネ	*Anomala albopilosa*		1						1			●				20						
36					ヒラタハナムグリ	*Nipponovalgus angusticollis*	1																				
37				コメツキムシ	チャイロコメツキ	*Haterumelater bicarinatus*		1			1																
38					ヒゲナガコメツキ	*Neotrichophorus junior*	2												1								
39					クシコメツキ	*Melanotus legatus*	13	1											2								
40				ジョウカイボン	オカベセボシジョウカイ	*Lycocerus okabei*										●											
41				カツオブシムシ	ヒメマルカツオブシムシ	*Anthrenus verbasci*							1														
42				ケシキスイ	モンチビヒラタケシキスイ	*Haptoncus ocularis*				2																	
43				キスイムシ	クロモンキスイ	*Cryptophagus decoratus*													2								
44				テントウムシ	ナミテントウ	*Harmonia axyridis*	1																				
45				ホソカタムシ	ツヤケシヒメホソカタムシ	*Micrioprius opacus*		1		1																	
46				アリモドキ	コクビボソムシ	*Macratria fluviatilis*					1																
47				ゴミムシダマシ	ヒゴキノコゴミムシダマシ	*Platydema higonium*				1																	
48					ハネナシセスジキマワリ	*Strongylium marseuli*					1																
49				ハムシ	ムネアカキバネサルハムシ	*Pagria consimile*	1																				
50				ゾウムシ	ヤサイゾウムシ	*Listroderes costirostris*			1																		
51				キクイムシ	キクイムシ科	Scolytidae		3																			
52			ハチ	ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae							1														
53				アリ	キイロシリアゲアリ	*Crematogaster osakensis*		1						1							1						
54					アミメアリ	*Pristomyrmex pungens*		1		2																	
55					トビイロシワアリ	*Tetramorium tsushimae*							1								1						
56					トビイロケアリ	*Lasius japonicus*	2	1																			
57					アメイロアリ	*Paratrechina flavipes*	1		1												1						
58					サクラアリ	*Paratrechina sakurae*			2																		
59			ハエ	ガガンボダマシ	ガガンボダマシ属	*Trichocera* sp.													1								
60				ガガンボ	ヤチガガンボ	*Tipula serricauda*							2														
61					ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.				4		2															
62					モロフィルス属	*Molophilus* sp.				1																	
–					ガガンボ科	Tipulidae				1	2																
63				チョウバエ	チョウバエ科	Psychodidae			3	2	1																
64				ユスリカバエ	ユスリカバエ科	Taumaleidae															2						
65				ブユ	アシマダラブユ属	*Simulium* sp.															1						
66				ヌカカ	ヌカカ科	Ceratopogonidae			5			2									2						
67				ユスリカ	ウスイロカユスリカ	*Procladius choreus*							1														
68					Ablabesmyia属	*Ablabesmyia* sp.					1																
69					クロハダカユスリカ	*Cardiocladius fuscus*							1														
70					フタモンツヤユスリカ	*Cricotopus bimaculatus*	1			1																	
–					ツヤユスリカ属	*Cricotopus* sp.										●											
71					ヤマトユスリカ	*Chironomus nipponensis*													1								
72					セスジユスリカ	*Chironomus yoshimatsui*					1	2		1	1												
73					ヤマトハモンユスリカ	*Polypedilum japonicum*						1															
–					ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.	1			1																	
74					ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.						7															
–					ユスリカ科	Chironomidae	10	1		21	3		4														
75				タマバエ	タマバエ科	Cecidomyiidae	2	1	5	1		2	1														
76				キノコバエ	キノコバエ科	Mycetophilidae				1		1															
77				クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科	Sciaridae	5		6	1		6	1								1						
78				ミズアブ	アメリカミズアブ	*Hermetia illucens*										●											
79				ムシヒキアブ	シロズヒメムシヒキ	*Philonicus albiceps*								1													
80				ノミバエ	ノミバエ科	Phoridae	1	2	12		1	6															
81				キモグリバエ	キモグリバエ科	Chloropidae	1		2																		
82				ミギワバエ	トビクチミギワバエ	*Brachydeutera longipes*									1						11						
–					ミギワバエ科	Ephydridae				1				1													
83				ショウジョウバエ	ショウジョウバエ科	Drosophilidae						5															
84				クロバエ	クロバエ科	Calliphoridae		1																			
85			トビケラ	ヒメトビケラ	ヒメトビケラ属	*Hydroptila* sp.				2	1																
86				クダトビケラ	クダトビケラ属	*Psychomyia* sp.						1															
					クダトビケラ科	Psychomyiidae				9	2																
87				イワトビケラ	イワトビケラ科	Polycentropodidae					1																
88				シマトビケラ	コガタシマトビケラ属	*Cheumatopsyche* sp.				10		1															
89					ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*				1		4															
90				ヒゲナガトビケラ	アオヒゲナガトビケラ	*Mystacides azurea*				1	1																
91			チョウ	ハマキガ	コボソスジハマキ	*Argyrotaenia angustilineata*	1																				
92					スギヒメハマキ	*Epiblema sugii*		1																			
93					クリオビキヒメハマキ	*Olethreutes obovata*					1																
94				ヒロズコガ	マダラマルハヒロズコガ	*Hypophrictis conspersa*		4						1													
95					アトキヒロズコガ	*Monopis flavidorsalis*							1														
96					ウスモンツマオレガ	*Erechthias sphenoschista*		1																			
97				スガ	コナガ	*Plutella xylostella*								1													
98				カザリバガ	ベニモントガリホソガ	*Labdia semicoccinea*		2																			
99				キバガ	ツツジキバガ	*Anacampsis lignaria*								1													
100				メイガ	シロスジツトガ	*Crambus argyrophorus*													1								
101					ワタノメイガ	*Haritalodes derogata*										●											
102					マエアカスカシノメイガ	*Palpita nigropunctalis*	1										●										
103					クロモンキノメイガ	*Udea testacea*											●										
104				シャクガ	ウスキクロテンヒメシャク	*Scopula ignobilis*											●										
105				ヤガ	クロクモヤガ	*Hermonassa cecilia*									1												
106					マメチャイロキヨトウ	*Mythimna stolida*										●											
107					マダラツマキリヨトウ	*Callopistria repleta*										●											
108					イチジクキンウワバ	*Chrysodeixis eriosoma*	1																				
109					フタキボシアツバ	*Gynaephila maculifera*		1			1																
110					テンクロアツバ	*Rivula sericealis*										●											
111					クロスジヒメアツバ	*Schrankia costaestrigalis*		1	3																		
112					トビスジアツバ	*Herminia tarsicrinalis*	1																				
合計	1門	1綱	9目	61科	112種		20種 52個体	25種 32個体	14種 45個体	23種 69個体	18種 25個体	13種 40個体	10種 16個体	12種 16個体	3種 3個体	12種 –	3種 –	3種 –	6種 8個体	10種 34個体	8種 20個体	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
							47種 129個体			39種 134個体			23種 35個体			18種 –			24種 62個体								

注1. 分類、配列等は、原則として「日本産野生生物目録　無脊椎動物編Ⅱ」(平成7年、環境庁)に準拠した。
注2. 重要種選定基準
1.「文化財保護法」(昭和25年5月30日公布、同日施行)に基づく天然記念物・特別天然記念物
2.「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日公布、平成5年4月1日施行)における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
3.「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト2015の公表について」(平成27年、環境省)における選定種
4.「レッドデータブック東京2013」～東京の保護上重要な野生生物種(本土部)解説版～」(平成25年、東京都)における選定種
5. その他学術上重要な種(有識者による指摘種等)
注3. 特定外来生物選定基準
「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」(2004年法律第78号　2004年6月2日公布)による指定種
注4. 生態系被害防止外来種選定基準
「報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト-」(2015年3月，環境省)

7.魚類確認種リスト

No	目名	科名	種名	学名	都立砧公園				等々力渓谷公園		重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
					春季		秋季										
					河川	池	河川	池	春季	秋季	1	2	3	4	5		
1	コイ	コイ	キンギョ	*Carassius auratus*						●							
2			コイ（飼育品種）	*Cyprinus carpio*					●								
3			モツゴ	*Pseudorasbora parva*		●		●	●	●							
4		ドジョウ	ドジョウ	*Misgurnus anguillicaudatus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載								DD				
5	スズキ	ハゼ	スミウキゴリ	*Gymnogobius petschiliensis*			●		●	●							
6			ヨシノボリ属	*Rhinogobius* sp.		●		●	●	●							
合計	2目	3科	6種								0種	0種	1種	0種	0種	0種	0種

注1. 分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物種リスト」（平成27年、河川環境データベース）に準拠した。
注2. 重要種選定基準
1.「文化財保護法」(昭和25年5月30日公布、同日施行)に基づく天然記念物・特別天然記念物
2.「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日公布、平成5年4月1日施行)における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
3.「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト2015の公表について」(平成27年、環境省)における選定種
DD：情報不足
4.「レッドデータブック東京2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」(平成25年、東京都)における選定種
5.その他学術上重要な種(有識者による指摘種等)
注3. 特定外来生物選定基準
「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」（2004年法律第78号　2004年6月2日公布）による指定種
注4. 生態系被害防止外来種選定基準
「報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト-」(2015年3月、環境省)

8.底生動物確認種リスト

No	門名	綱名	目名	科名	種名	学名	都立砧公園				等々力渓谷公園		重要種					特定外来生物	生態系被害防止外来種リスト
							河川		池		春季	秋季	1	2	3	4	5		
							春	秋	春	秋									
1	扁形動物	渦虫	三岐腸	サンカクアタマウズムシ	アメリカツノウズムシ	*Girardia dorotocephala*		●				●							
–					サンカクアタマウズムシ科	Dugesiidae	●				●								
2	軟体動物	腹足	盤足	カワニナ	カワニナ	*Semisulcospira libertina*					●	●							
3			基眼	モノアラガイ	ヒメモノアラガイ	*Fossaria ollula*					●								
4					ハブタエモノアラガイ	*Pseudosuccinea columella*			●										国外/総合対策/Ⅳ
5				サカマキガイ	サカマキガイ	*Physa acuta*			●										
6				ヒラマキガイ	ヒロマキミズマイマイ	*Menetus dilatatus*		●											
7	環形動物	ミミズ	イトミミズ	ミズミミズ	エラミミズ	*Branchiura sowerbyi*	●		●										
8					ナミミズミミズ	*Nais communis*						●							
–					ミズミミズ科	Naididae	●	●	●	●	●	●							
9			ツリミミズ	フトミミズ	フトミミズ科	Megascolecidae		●				●							
10		ヒル	吻無蛭	イシビル	シマイシビル	*Dina lineata*					●								
11					ビロウドイシビル	*Erpobdella testacea*	●	●											
12	節足動物	軟甲	ヨコエビ	マミズヨコエビ	フロリダマミズヨコエビ	*Crangonyx floridanus*	●	●			●	●							国外/総合対策/Ⅳ
13			ワラジムシ	ミズムシ（甲）	ミズムシ	*Asellus hilgendorfi*	●	●			●	●							
14			エビ	ヌマエビ	ミナミヌマエビ	*Neocaridina denticulata*			●			●							
15				アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	*Procambarus clarkii*	●	●	●	●									国外/総合対策_緊急/Ⅰ
16		昆虫	カゲロウ（蜉蝣）	コカゲロウ	シロハラコカゲロウ	*Baetis thermicus*	●	●			●								
17					ウスイロフトヒゲコカゲロウ	*Labiobaetis atrebatinus orientalis*	●	●				●							
18			トンボ（蜻蛉）	オニヤンマ	オニヤンマ	*Anotogaster sieboldii*	重要種保護の観点から重要種は非掲載									NT			
19				エゾトンボ	コヤマトンボ	*Macromia amphigena amphigena*	重要種保護の観点から重要種は非掲載									DD			
20			カメムシ（半翅）	アメンボ	オオアメンボ	*Aquarius elongatus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載									CR			
21					アメンボ	*Aquarius paludum paludum*						●							
22					シマアメンボ	*Metrocoris histrio*	重要種保護の観点から重要種は非掲載									NT			
–					アメンボ科	Gerridae						●							
23			ヘビトンボ	ヘビトンボ	ヤマトクロスジヘビトンボ	*Parachauliodes japonicus*	重要種保護の観点から重要種は非掲載									CR			
24			トビケラ（毛翅）	シマトビケラ	コガタシマトビケラ	*Cheumatopsyche brevilineata*	●	●											
25					ナミコガタシマトビケラ	*Cheumatopsyche infascia*	●												
26					ウルマーシマトビケラ	*Hydropsyche orientalis*	●	●				●							
27			ハエ（双翅）	ガガンボ	ウスバガガンボ属	*Antocha* sp.					●								
28					ガガンボ属	*Tipula* sp.	●	●			●								
29				ユスリカ	ケブカエリユスリカ属	*Brillia* sp.	●				●								
30					ユスリカ属	*Chironomus* sp.	●		●	●	●								
31					トラフユスリカ属	*Conchapelopia* sp.	●	●				●							
32					ツヤユスリカ属	*Cricotopus* sp.	●												
33					カマガタユスリカ属	*Cryptochironomus* sp.		●				●							
34					セボリユスリカ属	*Glyptotendipes* sp.				●									
35					エリユスリカ属	*Orthocladius* spp.		●			●	●							
36					ハモンユスリカ属	*Polypedilum* sp.		●			●	●							
37					カモヤマユスリカ	*Potthastia longimanus*		●											
38					ナガレユスリカ属	*Rheotanytarsus* sp.		●											
39					アシマダラユスリカ属	*Stictochironomus* sp.					●								
40					ヒゲユスリカ属	*Tanytarsus* sp.					●								
–					ユスリカ科	Chironomidae		●				●							
41				ブユ	アシマダラブユ属	*Simulium* sp.	●	●											
42			コウチュウ（鞘翅）	ゲンゴロウ	マメゲンゴロウ	*Agabus japonicus*			●										
43				コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ	*Noterus japonicus*			●										
合計	4門	6綱	16目	23科	43種								0種	0種	0種	5種	0種	0種	3種

注1. 分類、配列等は、原則として「河川水辺の国勢調査のための生物種リスト」（平成28年、河川環境データベース）に準拠した。
注2. 重要種選定基準
1.「文化財保護法」(昭和25年5月30日公布、同日施行)に基づく天然記念物・特別天然記念物
2.「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成4年6月5日公布、平成5年4月1日施行)における国際希少野生動植物種・国内希少野生動植物種
3.「環境省報道発表資料　環境省レッドリスト2015の公表について」(平成27年、環境省)における選定種
4.「レッドデータブック東京2013」～東京の保護上重要な野生生物種（本土部）解説版～」(平成25年、東京都)における選定種
CR：絶滅危惧IA類　NT：準絶滅危惧　DD：情報不足　留：留意種
5.その他学術上重要な種(有識者による指摘種等)
注3. 外来種選定基準
1.「我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト<動物>」(環境省、2014)の掲載種
国外：国外由来の外来種
総合対策：総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)
総合対策_緊急：総合的に対策が必要な外来種(総合対策外来種)のうち、緊急対策外来種
Ⅰ：(選定理由)生態系被害が大きいもの
Ⅳ：(選定理由)知見が十分でないものの、近縁種や同様の生態を持つ種が明らかに侵略的であるとの情報があるもの、又は、近年の国内への侵入や分布の拡大が注目されている等の理由により、知見の集積が必要とされているもの。
注4. 生態系被害防止外来種選定基準
「報道発表資料-我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト-」(2015年3月、環境省)

9.重要種確認地点

重要種保護の観点から非掲載

10.**特定外来生物確認地点**

図 10-1　植物特定外来生物確認地点（春季）

図 10-2　植物特定外来生物確認地点（夏季）

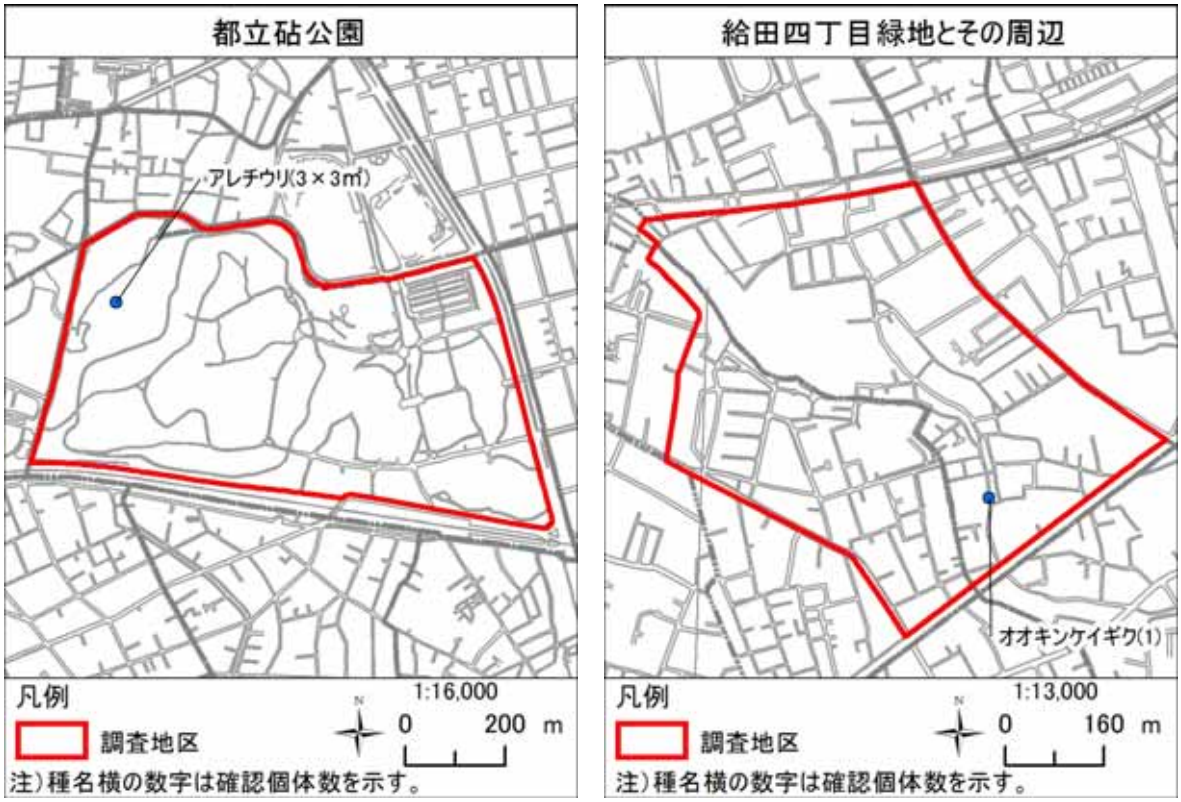


図 10-3　植物特定外来生物確認地点（秋季）

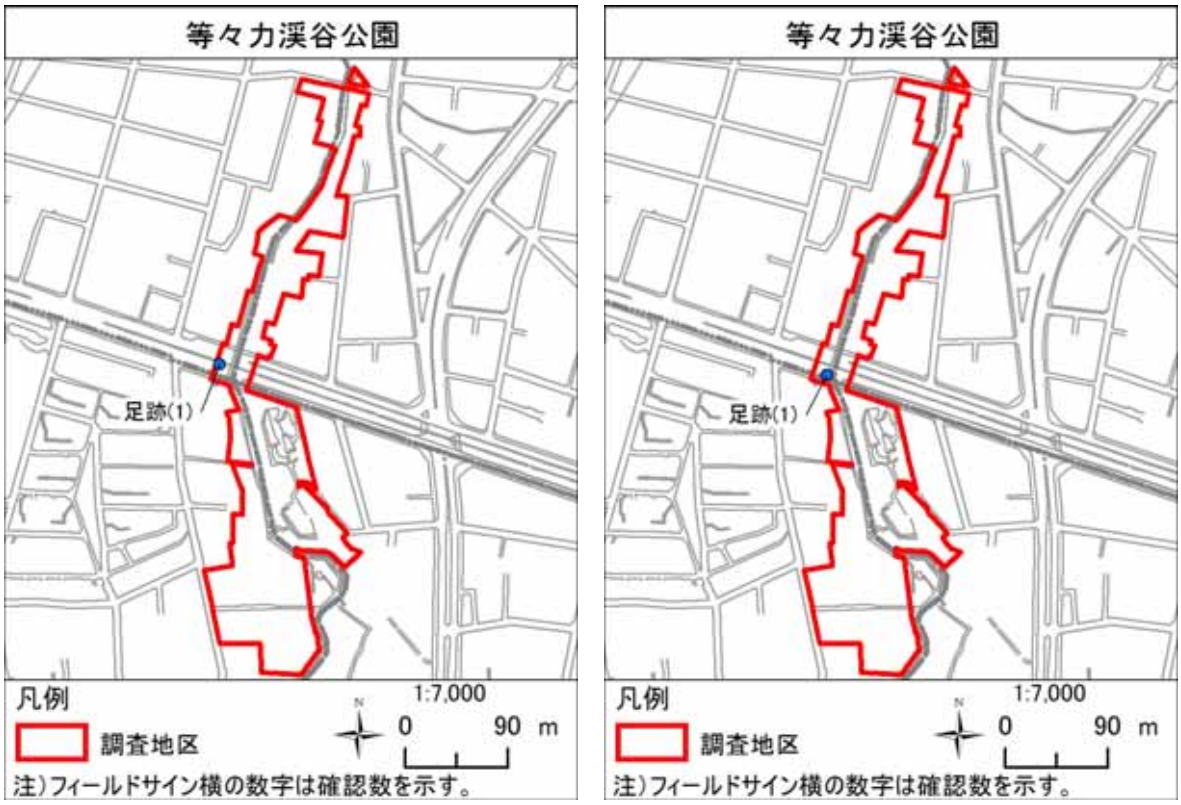


図 10-4　哺乳類特定外来生物確認地点（左：春季、右：秋季）

注）哺乳類の特定外来生物はアライグマのみの確認であった。